

0600迄 (2180件)

401年-02:00|ブルガリア/イタリア| |||西ゴート王アリックが西ローマ帝国へ侵入開始
401年 00:00|ガナ| |||西アフリカのゲハル川流域で鉄器文化が普及
401年1月30日-08:00|中国| ||吐谷渾・烏コ提1年|<即位>吐谷渾第7代君主「烏コ提(大孩)」視連の次男(~405年)
401年1月30日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・永樂11年|広開土王は兵を送って宿軍を攻撃、燕平州刺史慕容歸は城を棄てて逃げ新城(撫順)・遼東城(遼陽)を占領
401年1月30日-08:00|中国| ||南凉・建和2年|南凉の秃髮利鹿孤は河西王を称した
401年3月1日-08:00|中国| ||後凉・咸寧3年2月|<死去>後凉第3代皇帝「靈帝(呂纂)」呂超の兄である呂隆に酔わされて呂超に刺殺された
401年3月1日-08:00|中国| ||後凉・神鼎1年2月|<即位>後凉第4代天王「後主(呂隆)」(~403年8月)神鼎と改元(-403年8月)
401年5月29日-08:00|中国| ||後秦・弘始3年5月|後秦は隴西公碩徳を遣わして呂隆の軍大いに破る
401年6月27日-08:00|中国| ||北凉・永安1年6月|<死去>北凉第1代建康公「段業」蒙遜に斬り殺される
401年6月27日-08:00|中国| ||北凉・永安1年6月|<即位>北凉第2代皇帝「太祖武宣王(沮渠蒙遜)」(~433年4月)、永安と改元(-412年10月)
401年7月27日-08:00|中国| ||後燕・長樂3年7月|<死去>後燕第4代天王「中宗昭武帝(慕容盛)」近衛軍に殺害される
401年7月27日-08:00|中国| ||後燕・長樂3年7月|<即位>後燕第5代天王「昭文帝(慕容熙)」(~407年7月)
401年9月13日-08:00|中国| ||後燕・光始1年8月20日|<死去>後燕第4代皇帝「中宗昭武帝(慕容盛)」
401年9月14日-08:00|中国| ||後燕・光始1年8月21日|<即位>後燕「昭文帝(熙)」慕容垂の末子(~04070914死去)
401年9月24日-08:00|中国| ||後燕・光始1年閏8月|後燕の慕容熙が光始と改元(-406年12月)
401年10月23日-08:00|中国| ||後秦・弘始3年9月|後秦の姚碩徳は涼の都姑臧を攻撃し服属させた
401年10月23日-08:00|中国| ||後凉・神鼎1年9月|後凉は後秦に降伏し服属/後凉の呂隆は後秦より建康公に任じられる
401年10月23日-08:00|中国| ||西凉・庚子2年9月|北凉の支配下にあった酒泉、涼寧が西凉に帰順
401年12月19日-01:00|パチン| |||<死去>第39代ローマ教皇「アタシウス1世」
401年12月22日-01:00|パチン| |||<就任>第40代ローマ教皇「インケンティウス1世」(~04170312死去)
402年-02:00|ブルガリア/イタリア| |||ローマ軍が西ゴートをホレンティアの会戦で破る
402年-08:00|中国| |||<即位>柔然第1代可汗「丘豆伐可汗(社崙)」(~410年5月)
402年2月18日-08:00|中国/モンゴル| ||柔然・社崙1年|<即位>柔然可汗国「丘豆伐可汗(社崙)」(~410年5月死去)、興安嶺から洮川流域に至る地方を支配する
402年2月18日-08:00|中国| ||東晋・元興1年|東晋の安帝司馬徳宗が元興に改元
402年2月18日-08:00|中国| ||北魏・天興5年;柔然・社崙1年|北魏の拓跋珪は、材官將軍和突へ黜弗、素古延の諸部(後秦の属国)を攻撃させ撃破/柔然の社崙は後秦と親睦していたので、黜弗、素古延へ救援軍を送ったが、和突はこれを迎撃撃破
402年2月18日-08:00|中国| ||南凉・建和3年;後凉・神鼎2年1月|南凉の秃髮「ㇿㇿ檀は、城を落とし、後凉の昌松太守孟緯を捕らえた
402年3月20日-09:00|韓国| ||新羅・奈勿47年2月|<死去>新羅王「奈勿尼師今王」
402年3月20日-09:00|韓国| ||新羅・実聖1年2月|<即位>新羅王「實聖麻立干」(~417年)
402年3月20日-09:00|韓国/日本| ||新羅・実聖1年2月|新羅、倭国と国交を結び、奈勿王の王子・末斯欣を人質にした
402年4月18日-08:00|中国| ||南凉・建和3年3月|<死去>南凉第2代武威王「康王(秃髮利鹿孤)」病死
402年4月18日-08:00|中国| ||南凉・弘昌1年3月|<即位>南凉第3代皇帝「景王(秃髮「ㇿㇿ檀)」利鹿孤の弟(~414年7月)涼王と称する/404年~408年の間、後秦に服属、楽都に遷都/弘昌(-404年2月)と改元
402年4月20日-08:00|中国| ||東晋・大亨1年3月|癸酉、桓玄が司馬元顕らを斬首/大亨と改元
402年4月21日-08:00|中国| ||東晋・隆安6年3月4日|壬申、元興元年より隆安6年に戻される/桓玄、京師建康に入り、丞相となって全権を握る
402年6月16日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・永樂12年;後燕・光始2年5月|高句麗が後燕を攻める
402年6月16日-08:00|中国| ||北魏・天興5年;後秦・弘始4年5月|「柴壁の戦い」後秦の姚興は弟の姚平を派遣して北魏が支配する平陽を攻撃/北魏は拓跋珪が親征し平陽南部の柴壁で姚平を包囲、姚平軍は全滅
402年9月13日-08:00|中国| ||後秦・弘始4年;後凉・神鼎2年8月|後凉の呂隆、後秦の姚興に降る;後凉滅ぶ
403年-01:00|イタリア| |||ローマ軍はホレンティアの戦いで西ゴート軍を破る
403年3月9日-09:00|韓国/日本| ||百済・阿莘王12年2月|倭国の使者、百済に至る。百済王、手厚く迎える(
403年8月-08:00|中国| |||<降伏>後凉第4代皇帝「後主(呂隆)」姑臧城を後秦に明け渡し長安に遷り、後凉は滅んだ
403年8月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・阿莘王12年;新羅・実聖2年7月|百済が新羅の国境を侵犯
403年9月2日-08:00|中国| ||北凉・永安3年;後秦・弘始5年8月|呂隆は、蒙遜を攻撃するよう齊難へ勧めた/蒙遜は、藏莫孩に迎撃させ、後秦軍の前軍を撃破
403年11月30日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂13年;後燕・光始3年11月|高句麗が軍団を出して燕を侵す
404年1月1日-08:00|中国| ||東晋・永始1年12月3日|<即位>楚第1代皇帝「武悼帝(桓玄)」(~永始2年5月26日(404年6月19日))、建始の元号を立てるが、すぐに永始に改元
404年1月1日-08:00|中国| ||東晋・永始1年12月3日|<廃位>東晋第10代皇帝「安帝(司馬徳宗)」

0600迄(2180件)

404年1月28日-09:00|朝鮮/日本| ||高句麗・永樂14年|倭国が帯方界に出兵し、高句麗が倭の船団を撃破
404年1月28日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||後燕・光始4年;高句麗・永樂14年1月|燕王熙が遼東城を攻撃し陥落させた
404年6月19日-08:00|中国| ||東晉・永始2年5月26日|<死去>楚第1代皇帝「武悼帝(桓玄)」劉裕らが挙兵し討たれる
404年6月19日-08:00|中国| ||東晉・永始2年5月26日|<即位>楚第2代皇帝「桓謙」(~405年)
404年6月19日-08:00|中国| ||東晉・永始2年5月26日|<復位>東晉第10代皇帝「安帝(司馬德宗)」(~419年1月28日)
404年6月24日-08:00|中国| ||東晉・天康1年閏5月|年号が元興に戻された/後、桓謙が天康(-405年)と改元
404年8月22日-08:00|中国| ||南涼・弘始6年7月|<降伏>南涼第3代皇帝「景王(禿髮ツヨク檀)」、後秦の姚興に服す/
南涼は形式的には一時滅亡
404年11月18日-08:00|中国| ||北魏・天賜1年10月|北魏の道武帝が天賜(-409年10月)と改元
404年12月18日-08:00|中国/朝鮮| ||後燕・光始4年;高句麗・永樂14年11月|高句麗、後燕に侵入
405年2月15日-08:00|中国| ||東晉・義熙1年|<即位>東晉の益州刺史のシヨ縦が毛ワを殺し、成都に拠って、成都王を称した/後秦に遣使して藩属(蜀の建国) (~413年)
405年2月15日-08:00|中国| ||東晉・義熙1年|東晉、安帝司馬德宗が義熙(-418年)と改元
405年2月15日-09:00|朝鮮/中国| ||後燕・光始5年1月|後燕、高句麗を伐ち、遼東城を攻める
405年2月15日-08:00|中国| ||後秦・弘始7年1月|西秦の乞伏乾帰、南涼・吐谷渾を討つ
405年2月15日-08:00|中国| ||西涼・建初1年1月|西涼第1代皇帝「太祖武昭王(李暠)」、都を酒泉に遷した/建初(-417年2月)と改元
405年5月15日-09:00|韓国/日本| ||新羅・実聖4年4月|倭兵が新羅に侵入して来て、明活城を攻撃したが帰った/
王が待ち伏せし再度戦って彼らを破る
405年6月13日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||百濟・阿ソ王14年5月|倭国に使者を派遣
405年10月9日-09:00|韓国| ||百濟・阿ソ王14年9月|<死去>百濟王「阿ソ王」
405年10月9日-09:00|韓国| ||百濟・腆支王1年9月|<即位>百濟王「腆支王」(~420年)
405年10月9日-08:00|中国| ||西涼・建初1年;北涼・永安5年9月|西涼、分離し酒泉へ遷都
405年11月17日-08:00|中国| ||南燕・太上1年10月10日|<死去>南燕初代皇帝「世宗献武帝(慕容徳)」/享年70
405年11月18日-08:00|中国| ||南燕・太上1年10月11日|<即位>南燕第2代皇帝「北海王(慕容超)」慕容徳の甥(~4100325死去)、「太上」と改元(-410年2月)
406年-04:00|ジョージア| ||<即位>イェリア王「ファラヌス4世」アム・キヲ3世の息子(~409年)
406年-01:00|フランス/ドイツ| ||ゲルマン諸族がライン川を越え、ガリアへ侵入
406年-01:00|ハンガリー| ||フン族がゴート族を駆逐し、ドナウ川中流域のパンノニア平原を支配下に入れる
406年2月4日-08:00|中国| ||吐谷渾・樹洛干1年|<即位>吐谷渾第8代可汗「樹洛干」(~417年)第6代可汗「視罷」の長子
406年2月4日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・永樂16年;後燕・光始6年1月|戊申、慕容熙は、高句麗を襲撃/燕軍は、高句麗の木底城を攻撃したが、勝てずに引き返した
406年3月6日-09:00|韓国/中国| ||百濟・阿ソ王15年;東晉・義熙2年2月|百濟が使臣を東晉に遣わし朝貢
406年9月29日-08:00|中国| ||南燕・太上2年9月|南燕の慕容法は慕容鍾や段宏と共に造反/慕容超は慕容鎮を派遣し青州を落とした/慕容立は呂城を抜き、段宏は魏へ出奔
406年9月29日-08:00|中国| ||北涼・永安6年;西涼・建初2年9月|北涼の沮洳蒙遜が酒泉攻撃の為、安珍まで進軍し、西涼の李暠は、これと戦って敗れた
406年11月27日-08:00|中国| ||南涼・弘始8年11月|南涼の禿髮ツヨク檀は楽都から姑臧へ遷都
406年12月31日-01:00|フランス| ||ヴァンダル族がライン川国境を越えガリアに移住
407年-01:00|ドイツ| ||<死去>ブルグント王「ゲビツカ」
407年-01:00|フランス| ||<即位>ヴァンダル王国国王「Gunderic」(~428年)
407年-01:00|ドイツ| ||<即位>ブルグント王「グントマル1世」ゲビツカの息子(~411年)、「ギセルハル」ゲビツカの息子(~411年)、「ケンダハル」ゲビツカの息子(~436年)
407年1月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂17年|高句麗王、歩騎5万を百濟に派遣合戦して大勝し、甲冑1万領及び多数の武器・武具を獲得
407年1月25日-08:00|中国| ||後燕・建始1年1月|後燕の慕容熙が建始と改元(-7月)
407年4月10日-09:00|韓国| ||新羅・実聖6年閏2月17日|<死去>伽耶王「伊尸品王(明王)」
407年4月10日-09:00|韓国| ||新羅・実聖6年閏2月17日|<即位>伽耶王「坐知王(神王)」(~4210512死去)
407年4月23日-09:00|韓国/日本| ||新羅・実聖6年3月|倭人が新羅東部の辺境に侵入
407年4月23日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・永樂17年3月|使者を北燕に遣わし、かつ宗族に叙する。北燕王の雲は侍御史の李拔を遣わしてこれに報いる
407年7月21日-09:00|日本/韓国| ||新羅・実聖6年6月|倭人がまた新羅南部の辺境を侵犯して、100人を掠奪
407年7月21日-08:00|中国| ||夏・龍昇1年6月|<即位>夏第1代天王「世祖武烈帝(赫連勃勃)」旧鉄弗部や鮮卑諸部を糾合し後秦から自立(⇒418年皇帝と称する~425年9月18日)龍昇(-413年2月)と改元/後秦はオーストリアから陝西北部までの領土を失った
407年8月19日-08:00|中国| ||北燕・正始1年7月|<即位>北燕第1代天王「惠懿帝(高雲)」(~409年10月)(北燕の建国)正始(-409年10月)と改元
407年9月14日-01:00|イタリヤ| ||<死去>キリスト教の聖職者、神学者、説教者、ヨハネス・クリュストモス
407年9月14日-08:00|中国| ||後燕・建始1年7月27日|<死去>後燕「昭文帝(熙)」

0600迄 (2180件)

407年9月18日-08:00|中国| ||北凉・永安7年;南凉・建和8年8月|南凉の秃髮ツヨク檀は自ら全軍を率いて北凉に攻め込んだが北凉の沮渠蒙遜に大敗(均石の戦い)日勒郡・西郡を失った
407年11月16日-08:00|中国| ||夏・龍昇1年;後秦・弘始9年10月|夏の赫連勃勃が鮮卑の薛千等三部を破った/更に、秦の三城以北の諸堡を攻撃し、秦将の楊丕や姚石生等を斬った
407年12月16日-08:00|中国| ||夏・龍昇1年;南凉・建和8年11月|夏の赫連勃勃が南凉の広武郡へ攻め込み略奪して撤退/南凉の秃髮ツヨク檀は夏軍を追撃して陽武で戦った(陽武下峽の戦い)が勃勃の反撃にあつて全軍覆滅
408年2月13日-09:00|韓国| ||百済・腆支王4年|百済の佐平制始まる
408年4月12日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・永樂18年3月|高句麗、北燕に遣使し、宗族に叙せらる
408年5月1日-02:00|ギリシャ/シリア・アラブ/トルコ| ||<死去>ローマ帝国東方担当皇帝(テオドシウス朝)「アルカゲイウス」自然死
408年5月1日-02:00|ギリシャ/シリア・アラブ/トルコ| ||<即位>ローマ帝国東方担当皇帝「テオドシウス2世」カリグラヌス(能書家)「アルカゲイウス」の息子(~04500728自然死)
408年6月10日-08:00|中国| ||南凉・弘始10年;後秦・弘始10年5月|後秦の姚興は南凉に遠征軍を差し向け、南凉の秃髮ツヨク檀は姑臧に籠城し二度にわたって後秦軍を退けた
408年8月8日-08:00|中国| ||夏・龍昇2年;後秦・弘始10年7月|後秦の姚興は夏を攻撃するが夏軍が大勝利
408年12月4日-08:00|中国| ||南凉・嘉平1年;後秦・弘始10年11月|南凉の君主秃髮ツヨク檀が後秦から離脱して南凉を再興/嘉平(-414年7月)と改元
409年-05:30|インド| ||グプタ朝のチャンドラガフタ2世が笏族を征服
409年-04:00|ジョージア| ||<即位>イバリア王「ミカルト4世」アスパキア73世の息子(~411年)
409年-03:00|イラク| ||ササン朝、キリスト教信仰を認める
409年-01:00|スペイン| ||<即位>スエビ王「Hermeric」スエビ族スペイン西部に移住(~438年退位~441年死去)
409年-01:00|ジブラルタル/チュニジア| ||ジブラルタルはヴァンダル王国の一部
409年1月2日-08:00|中国| ||後秦・弘始10年12月|乞伏乾帰の長子乞伏熾磐は、枹罕の彭溪念を攻撃したが敗北
409年2月1日-09:00|日本/韓国| ||百済・腆支王5年|倭国、百済に遣使して夜明珠を送る
409年2月1日-08:00|中国| ||後秦・弘始11年|彭溪念は、乞伏熾磐の留守を狙って攻撃/熾磐は姚懿へ無断で帰国して彭溪念を攻撃撃破/熾磐は枹罕を占領
409年3月3日-08:00|中国| ||南燕・太上5年2月|南燕の将慕容興宗、斛穀提、公孫暉等が宿豫を攻撃し、これを抜いた/慕容超は、更に、公孫暉へ済南を攻撃させ公孫暉は、男女千人を略奪して帰った
409年5月1日-08:00|中国| ||後秦・弘始11年4月|西秦の乞伏乾帰は度堅山へ遷都
409年7月28日-08:00|中国| ||西秦・更始1年7月|西秦の乞伏乾帰が苑川に逃げ帰り後秦から自立、再び秦王を称した/更始(-412年8月)と改元
409年9月25日-08:00|中国| ||夏・龍昇3年;後秦・弘始11年9月|姚興は劉勃勃と戦ったが、後秦軍は大敗、夏軍も退却/劉勃勃は、再び後秦を攻撃し、黃石固、我羅城を抜いた
409年10月-01:00|スペイン| ||ゲルマン系のヴァンダル族とスエビ族がイスパニアへ侵入
409年10月25日-08:00|中国| ||北燕・正始3年10月|<死去>北燕初代天王「惠懿帝(高雲)」寵臣の離班や桃仁に殺害された
409年10月25日-08:00|中国| ||北燕・太平1年10月|<即位>北燕第2代天王「太祖文成帝(馮跋)」(~430年)帳下督の李桑が離班を斬り、張泰が桃仁を斬った/太平(~430年12月)と改元
409年11月6日-08:00|中国| ||北魏・永興1年10月13日|<死去>北魏皇帝「太祖道武帝(拓跋珪)」次子の拓跋紹に殺害される
409年11月10日-08:00|中国| ||北魏・永興1年10月17日|<即位>北魏第2代皇帝「太宗明元帝(拓跋嗣)」(~4231224死去)、永興(-413年12月)と改元
410年-07:00|カボジャ| ||<即位>扶南王「カンデインヤ2世」(~434年)
410年-01:00|イタリア/ギリシア| ||ローマ皇帝ホリウスがブリタニア放棄を宣言
410年2月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂20年|高句麗、東夫余を破る
410年2月20日-08:00|中国| ||西秦・更始2年|<復位>西秦「高祖武元王(乾帰)」国仁の弟⇒乾帰の長子「太祖文昭王(熾磐)」(~428年)
410年2月20日-08:00|中国| ||東晉・義熙6年|蜀のシヨウ縦がシヨウ道福に荊州を攻めさせたが敗走
410年2月20日-08:00|中国| ||北凉・永安10年;南凉・嘉平3年1月|右衛將軍の折掘奇鎮が、石驢山に據って造反/南凉の秃髮ツヨク檀は楽都へ遷都/秃髮ツヨク檀等が城を出ると、侯甚等が城門を閉ざして造反、侯讚は蒙遜へ降伏
410年2月20日-08:00|中国| ||北凉・永安10年;南凉・嘉平3年1月|南凉の秃髮ツヨク檀は自ら蒙遜を攻撃/窮泉にて戦い、秃髮ツヨク檀は大敗/蒙遜は進軍し姑臧を包囲、夷・夏の一万余戸が蒙遜へ降伏
410年3月21日-08:00|中国| ||南燕・太上6年2月|<死去>南燕第2代皇帝「北海王(慕容超)」劉裕に捕縛され南燕はわずか2代12年で滅亡
410年3月25日-08:00|中国| ||東晉・義熙6年;南燕・太上6年2月5日|丁亥、東晉の劉裕は総攻撃/南燕の慕容超は捕らえられ斬刑
410年4月20日-08:00|中国| ||西秦・更始2年;後秦・弘始12年3月|西秦王乞伏乾帰は、後秦の金城を攻撃し抜いた
410年4月20日-08:00|中国| ||北凉・永安10年;南凉・嘉平3年3月|南凉の秃髮ツヨク檀は北凉軍と戦った(窮泉の戦い)がまた大敗
410年4月20日-08:00|中国| ||南凉・嘉平3年3月|南凉の湟水地区で折掘奇鎮が反乱を起こし討伐軍はこれに大敗/ツヨク檀は姑臧から楽都へ都を還した
410年4月20日-08:00|中国| ||夏・龍昇4年;後秦・弘始12年3月|劉勃勃は胡金纂に平凉を攻撃させた/姚興は平凉救援に向かい、金纂を攻撃して殺した/勃勃は甥の左將軍羅提へ定陽を攻撃させ、羅提はこれを抜いた/勃勃自

身は、隴右を攻撃し清水まで攻略

- 410年6月18日-08:00|中国| ||柔然・斛律1年5月|<死去>柔然可汗国「丘豆伐可汗(社崙)」
- 410年6月18日-08:00|中国| ||柔然・斛律1年5月|<即位>柔然可汗国「藹苾蓋可汗(斛律)」社崙の弟(~414年5月)
- 410年6月18日-08:00|中国| ||東晉・義熙6年5月|盧循、東晉の劉毅を破り建康に迫る
- 410年7月18日-08:00|中国| ||西秦・更始2年6月|西秦王乞伏乾歸は越質屈機等十余部を討伐し、その衆二万五千が降伏
- 410年8月24日-01:00|イタリア| |||首長アリックの率いる西ゴート軍がローマのサリア門から市内に突入して大掠奪を行う(~27日)
- 410年8月30日-01:00|ドイツ/イタリア| |||<死去>西ゴート族国王「アリック1世」
- 410年8月30日-01:00|フランス/ポルトガル/スペイン| |||<即位>西ゴート族国王「アタウルフ」(~04150815死去)
- 410年9月15日-08:00|中国| ||西秦・更始2年8月|西秦は苑川に遷都
- 410年9月15日-08:00|中国| ||北涼・永安10年;西涼・建初6年8月|蒙遜が西涼を攻撃/馬廟にて、太子音の軍を破る
- 410年10月14日-08:00|中国| ||西秦・更始2年;後秦・弘始12年9月|西秦王乞伏乾歸は、後秦の略陽、南安、隴西の諸郡を攻撃、全て克った
- 411年-04:00|ジョージア| |||<即位>イバリア王「アチル」ミルダト4世の息子(~435年)
- 411年-01:00|フランス| |||ゲルマン民族の一派ブルグント族がブルグントに侵入してブルグント王国建国、ゲンダハル即位(~436年)
- 411年 06:00|ケニア| |||<即位>ティカル王「シワ・チャン・カウィル2世」(~456年)
- 411年1月11日-08:00|中国| ||東晉・義熙6年12月|盧循、劉裕に破れ、番ゲウに撤退
- 411年2月9日-08:00|中国| ||東晉・義熙7年|東晉の劉裕が広州の反乱軍を平定し、海上交易ルートを支配
- 411年2月9日-08:00|中国| ||夏・龍昇5年;後秦・弘始13年1月|後秦の姚萇は杏城を守っていたが、劉勃勃から迫られて、南方の大蘇へ逃げ斬られた/勃勃は、更に安定を攻撃し、後秦の尚書楊佛嵩は撃破され降伏/夏軍は更に東郷を攻撃し下した
- 411年2月9日-08:00|中国| ||西秦・更始3年;後秦・弘始13年1月|西北で西秦が造反/姚興は太常の索稜を太尉、領隴西内史として、西秦を招撫させた/西秦王乞伏乾歸は後秦王姚興に謝罪して降伏
- 411年2月9日-08:00|中国| ||北涼・永安11年;南涼・嘉平4年;吐谷渾・樹洛干7年1月|北涼は姑臧を攻め陥して河西を統一/南涼は南では吐谷渾の吐谷渾樹洛干に澆河郡(青海省貴徳県)を攻め陥された
- 411年9月4日-08:00|中国| ||西秦・更始3年;後秦・弘始13年8月|西秦王乞伏乾歸は、後秦の略陽太守姚龍を攻撃し克った
- 411年9月4日-08:00|中国| ||西秦・更始3年;南涼・嘉平4年8月|西秦王乞伏乾歸は、熾磐と中軍將軍審虔(乾歸の息子)へ、南涼討伐を命じた/南涼王禿髮紇檀は嶺南で迎撃させたが、敗北
- 411年9月4日-08:00|中国| ||西涼・建初7年;北涼・永安11年8月|蒙遜が西涼を攻撃、兵糧が尽きたので軍を撤退/李嵩は、太子の音に七千騎を与えて追撃させ蒙遜は大敗
- 411年12月2日-08:00|中国| ||西秦・更始3年;後秦・弘始13年11月|西秦王乾歸は、南平太守の王憬を攻撃しこれにも克った
- 411年12月31日-08:00|中国| ||西秦・更始3年12月|西きょうの彭利髪が枹罕を襲撃して攻略、大將軍、河州牧を自称/西秦王乞伏乾歸はこれを討伐したが勝てなかった
- 412年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Mahanama」Upatissal1世の兄弟(~434年)
- 412年 00:00|イギリス| |||<即位>ドレク王「Drest」(~452年)
- 412年1月30日-08:00|中国| ||西秦・更始4年1月|西秦王乞伏乾歸は再び西きょうの彭利髪を討伐、これを捕らえ斬った/きょうの部落一万三千戸を収める
- 412年2月28日-08:00|中国| ||西秦・更始4年2月|西秦王乞伏乾歸は談郊へ遷都
- 412年2月28日-08:00|中国| ||西秦・更始4年;吐谷渾・樹洛干8年2月|西秦王乞伏乾歸は吐谷渾の阿若干を攻撃し降伏させた
- 412年6月25日-08:00|中国| ||西秦・更始4年6月|<死去>西秦第2代皇帝「高祖武元王(乞伏乾歸)」乞伏公府に弑逆される
- 412年8月23日-08:00|中国| ||西秦・更始4年7月|乞伏智達等は、大夏の乞伏公府を攻撃し捕らえ処刑
- 412年9月22日-08:00|中国| ||西秦・永康1年8月|<即位>西秦第3代皇帝「太祖文昭王(乞伏熾磐)」(~428年5月)「大將軍、河南王」を自称、永康(-419年12月)と改元
- 412年11月20日-09:00|朝鮮| ||高句麗・永樂22年10月|<死去>高句麗王「広開土王」
- 412年11月20日-09:00|朝鮮| ||高句麗・永樂22年10月|<即位>高句麗王「長寿王」(~491年)
- 412年11月20日-08:00|中国| ||北涼・永安12年10月|北涼の蒙遜は、姑臧へ遷都
- 412年11月20日-08:00|中国| ||夏・龍昇6年;後秦・弘始14年10月|姚興は楊佛嵩を3州刺史に任命し嶺北の兵を与えて夏を攻撃させた/楊佛嵩は敗北し勃勃に捕らえられ自殺
- 412年12月19日-08:00|中国| ||北涼・玄始1年11月|北涼第2代皇帝「太祖武宣王(沮渠蒙遜)」が河西王と称し姑臧に都を置いた/玄始(-428年12月)と改元
- 413年-07:00|ベトナム| |||刺史杜憲度が侵略してきた苑胡達を殺す
- 413年-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ポーランド/ウクライナ/ロシア| |||<即位>フン族国王「オタル」(~430年)、「ルア」ブレダとアツティラの伯父(~434年春死去)共同統治
- 413年2月-07:00|ベトナム| |||<死去>チャンパ王「范胡達」
- 413年2月-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「范敵真」(~415年)

0600迄 (2180件)

413年2月17日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王2年|高句麗王璉(長寿王)、東晋に長史を遣わし、始めて表を奉じて朝貢/東晋・璉を使持節・都督營州諸軍事・征東將軍・高句麗王・樂浪公となす
413年2月17日-09:00|日本/中国| ||東晋・義熙9年|倭王讃が東晋に朝貢
413年2月17日-08:00|中国| ||東晋・義熙9年|東晋・劉裕の部将朱齡石の率いる軍勢により後蜀軍は敗北、成都も陥落/国王「シヨウ縦」は自殺し後蜀は滅亡
413年2月17日-08:00|中国| ||北凉・玄始2年;南凉・嘉平6年|南凉の秃髮「ヨウ檀」は蒙遜を攻撃し蒙遜は、これを若厚塢と若涼で連破/北凉軍は、そのまま進軍して楽都を包囲、南凉の湟河太守文支が郡ごと蒙遜へ降伏
413年2月17日-08:00|中国| ||東晋・義熙9年|劉裕が朱齡石を遣わして蜀を攻めたため、シヨウ縦は兵敗れて自殺
413年4月17日-08:00|中国| ||夏・鳳翔1年3月|夏の君主赫連勃勃が無定河上流北岸に統万城を築き都とし、鳳翔(-418年10月)と改元
413年4月17日-08:00|中国| ||東晋・義熙9年3月|東晋・義熙の土断(戸籍法)の施行
414年2月6日-08:00|中国| ||北魏・神瑞1年1月|北魏の明元帝が神瑞(-416年4月)と改元
414年5月5日-08:00|中国| ||南凉・嘉平7年4月|唾契汗、乙佛等の部族が、皆、南凉へ造反/南凉王秃髮「ヨウ檀」は乙佛を攻撃し、これを大いに破った
414年6月4日-08:00|中国| ||柔然・歩鹿真1年5月|<死去>柔然可汗国「藹苦蓋可汗(斛律)」
414年6月4日-08:00|中国| ||柔然・歩鹿真1年5月|<即位>柔然可汗国「郁久閼歩鹿真」社崙・斛律の長兄の子(同年殺される)⇒「牟汗「フー」升蓋可汗(大檀)」社崙の叔父(僕渾)の子(〜429.8)
414年6月4日-08:00|中国| ||西秦・永康3年;南凉・嘉平7年5月|西秦の乞伏熾磐は南凉が鮮卑族の反乱鎮圧に出撃した隙をつき楽都を陥落/南凉支配下の3郡も全て西秦に制圧される
414年6月4日-08:00|中国| ||後秦・弘始16年5月|妖賊の李弘と「てい」の仇常が貳城にて造反/姚興は輿に乗って親征し仇常を斬り李弘を捕まえて帰った
414年7月4日-08:00|中国| ||南凉・嘉平7年6月|<退位>南凉第3代皇帝「景王(秃髮「ヨウ檀」)」西秦に降伏し、南凉は滅亡
414年10月30日-08:00|中国| ||西秦・永康3年10月|河南王乞伏熾磐は、再び秦王と自称
414年12月28日-08:00|中国| ||北魏・神瑞1年12月|乞升蓋可汗は北魏へ侵入/魏王嗣はこれを攻撃し可汗は逃げる
415年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャンパ王「范文敵」(〜420年死去)
415年-05:30|インド| ||<即位>ヴァーカーカ朝(ヴァッサガ「ルマ」マハラジャ「名前不明」(〜450年)
415年-05:30|インド| ||<即位>カダンバ朝(ハナバ「シ」マハラジャ「Raghu」(〜435年)
415年-05:30|インド| ||<即位>グプタ朝「クマラグプタ1世」(〜455年)ナラナ寺院を建立
415年3月26日-08:00|中国| ||夏・鳳翔3年;後秦・弘始17年3月|夏の赫連勃勃は後秦の杏城を攻撃しこれを抜いた
415年3月26日-08:00|中国| ||北凉・玄始4年;西秦・永康4年3月|北凉の沮洳蒙遜が、西秦の廣武軍を攻撃し、これを抜いた/乞伏熾磐は、二人の將軍を派遣したが、蒙遜は、二軍とも撃破
415年6月23日-08:00|中国| ||西秦・永康4年;北凉・玄始4年5月|西秦の乞伏熾磐は北凉の皇河を襲撃、守将の沮洳漢平は司馬の隗仁を派遣して撃破/熾磐は再び攻撃し漢平を降伏させた/自身はそのまま進軍して乙佛窟乾を攻撃、三千余戸を降伏させて、帰国
415年8月15日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||<死去>西ゴート族国王「アタル」暗殺される
415年8月15日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||<即位>西ゴート族国王「シゲリック」(〜04150822暗殺された)
415年8月22日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||<死去>西ゴート族国王「シゲリック」暗殺された
415年8月22日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||<即位>西ゴート王国国王「ワリア」(〜418年死去)トゥールズ(トワ)を首都と定める/西ゴートがローマと同盟
415年9月20日-09:00|韓国/日本| ||新羅・実聖14年8月|新羅、風島において倭人と戦い勝った
415年10月19日-08:00|中国| ||夏・鳳翔3年;後秦・弘始17年9月|赫連勃勃は再び後秦を攻撃し平涼太守姚軍を捕らえ新平へ入った
416年3月15日-08:00|中国| ||後秦・永和1年2月|<死去>後秦第2代皇帝「高祖(姚興)」
416年3月15日-08:00|中国| ||後秦・永和1年2月|<即位>後秦第3代皇帝「後主(姚泓)」(〜417年)、永和と改元
416年5月13日-08:00|中国| ||北魏・泰常1年4月|北魏の明元帝が泰常(-423年12月)と改元
416年7月11日-08:00|中国| ||夏・鳳翔4年;後秦・永和1年6月|夏の赫連勃勃は上圭を攻略/夏軍は陰密まで侵攻/後秦の鎮北將軍姚恢は安定を棄て、安定は夏へ降伏/後秦は姚紹と征虜將軍尹昭等が反撃撃破
416年7月11日-08:00|中国| ||後秦・永和1年6月|「テ」王の楊盛が秦の祈山を攻撃してこれを抜き秦州へ迫った/秦の後將軍姚平が救援に駆けつけたので楊盛は退却/楊盛は、甥の楊倦に後秦を攻撃させたが後秦の斂曼鬼がこれを撃退
416年11月6日-08:00|中国| ||東晋・義熙12年;後秦・永和1年10月|東晋の劉裕、洛陽を攻略
417年1月4日-08:00|中国| ||後秦・永和1年12月|後秦の姚詧は挙兵して帝と称した/姚紹が姚詧を捕らえ孫暢を誅殺
417年2月3日-08:00|中国| ||吐谷渾・樹洛干12年|<死去>吐谷渾第8代君主「樹洛干」
417年2月3日-08:00|中国| ||後秦・永和2年1月|後秦の姚恢は、大都督・建義大將軍と自称、眉城を攻撃/姚恢軍は、鎮西將軍姚萇を撃破/姚恢は姚紹へ迫ったが背後を姚諧軍に襲撃されて大敗
417年3月4日-08:00|中国| ||西凉・建初13年2月|<死去>西凉第1代皇帝「太祖武昭王(李暠)」
417年3月4日-08:00|中国| ||西凉・嘉興1年2月|<即位>西凉第2代皇帝「後主(李歆)」(〜420年7月)/嘉興(-420年7月)と改元

0600迄 (2180件)

417年3月12日-01:00|パチカン| |||<死去>第40代ローマ教皇「インケティウス1世」
417年3月18日-01:00|パチカン| |||<就任>第41代ローマ教皇「ジムス」(~04181226死去)
417年4月3日-08:00|中国| ||東晋・義熙13年;後秦・永和2年3月|東晋の檀道濟軍は潼関へ到着/後秦の姚紹は討
って出たが、檀道濟と王鎮惡が奮戦して大勝利
417年5月2日-08:00|中国| ||東晋・義熙13年;後秦・永和2年4月|東晋の劉裕は後秦から洛陽を奪回
417年5月2日-08:00|中国| ||北凉・玄始6年;西凉・嘉興1年4月|北凉の沮渠蒙遜は西凉の李暠と解支潤にて戦い
大いに破った
417年6月1日-09:00|韓国| ||新羅・実聖16年5月|<死去>新羅王「実聖尼師今王」
417年6月1日-09:00|韓国| ||新羅・実聖16年5月|<即位>新羅王「訥祗麻立干」(~458年)
417年8月28日-08:00|中国| ||後秦・永和2年8月|<死去>後秦第3代皇帝「後主(姚泓)」東晋の劉裕の軍に長安に攻
め入れられ、捕らえられて建康で斬られた/後秦は滅んだ
417年8月29日-08:00|中国| ||東晋・義熙13年;後秦・永和2年8月2日|辛丑、東晋の劉裕は朱超石と徐猗之、薛彤に
、蒲阪を攻撃させた/後秦軍は、平原公姚璞と姚和都が迎撃/徐猗之は戦死/朱超石は潼関へ逃げ帰った
417年12月24日-08:00|中国| ||夏・鳳翔5年12月|夏軍は関中平野を獲得
418年-03:00|エチオピア/インド/スリランカ| |||エチオピアのアクスム王国がインドやセイロンと交易
418年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「ヤハラ3世バシム・アルヌマン」(~434年)
418年-01:00|フランス/ポルトガル/スペイン| |||<死去>西ゴート王国国王「ウリア」
418年-01:00|フランス/ポルトガル/スペイン| |||<即位>西ゴート王国国王「テオドリク1世」(~451年6月カラウスムの戦いで戦死)
418年2月21日-09:00|日本/中国| ||東晋・義熙14年|この年倭王讃、晋に遣使(「晋書」)
418年2月21日-08:00|中国| ||吐谷渾・阿柴1年|<即位>吐谷渾第9代君主「阿豺」第6代可汗「視罽」の次男(~424年)
418年2月21日-08:00|中国| ||東晋・義熙14年;夏・鳳翔6年1月|東晋の傅弘之は、赫連貴の軍を池陽にて大いに破
り、寡婦渡でも破り、夏軍は退却
418年6月20日-08:00|中国| ||北魏・泰常3年;北燕・太平10年5月|魏王嗣は征東將軍長孫道生等に北燕を襲撃さ
せた/長孫道生等は乙連城を抜き和龍へ進攻、燕の単于右輔古泥と戦い撃破/燕王馮跋は籠城し、魏郡はこれを
攻撃したが落とせず還った
418年11月14日-08:00|中国| ||夏・鳳翔6年;東晋・義熙14年10月|夏の君主赫連勃勃が東晋を破り長安など関中
諸城を占領/長安を南都とした
418年12月14日-08:00|中国| ||夏・昌武1年11月|夏の赫連勃勃は皇帝位に即き昌武(-419年1月)と改元
418年12月14日-08:00|中国| ||夏・昌武1年;東晋・義熙14年11月|青泥にて、晋軍は夏軍に大敗
418年12月26日-01:00|パチカン| |||<死去>第41代ローマ教皇「ジムス」
418年12月27日-01:00|パチカン| |||<就任>ローマ対立教皇「イウリウス」(~04190403)
418年12月28日-01:00|パチカン| |||<就任>第42代ローマ教皇「ボニファティウス1世」(~04220904死去)
419年1月28日-08:00|中国| ||東晋・義熙14年12月17日|<死去>東晋第10代皇帝「安帝(司馬徳宗)」劉裕に殺され
る
419年1月28日-08:00|中国| ||東晋・義熙14年12月17日|<即位>東晋第11代皇帝「恭帝(司馬徳文)」(~420年7月7日
)
419年2月11日-08:00|中国| ||東晋・元熙1年|東晋、恭帝司馬徳文が元熙(-420年)と改元
419年2月11日-08:00|中国| ||夏・昌武2年;東晋・元熙1年1月|夏将叱奴侯提が二万の軍勢で蒲阪の毛徳祖を攻撃
/毛徳祖は支えきれず全軍を挙げて彭城へ帰った
419年3月12日-08:00|中国| ||夏・真興1年2月|夏の君主赫連勃勃が真興(-425年7月)と改元
420年-09:00|日本| |||堺市の「ミナト」古墳群がこのころ築造
420年-07:00|ベトナム| |||<死去>チャンパ王「范文敵」
420年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「范陽邁1世」(~425年死去)
420年-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝第14代シャハンシャー「ヤズデギルト1世」
420年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ササン朝第15代シャハンシャー「シャプール4世」(~同年死去)⇒第16代シャハンシャー「コスロ」(~
同年死去)⇒第17代シャハンシャー「バハラム5世」(~438年死去)
420年1月31日-08:00|中国| ||西秦・建弘1年1月|西秦の乞伏熾磐が建弘(-428年5月)と改元
420年3月30日-09:00|韓国| ||百濟・腆支王16年3月|<死去>百濟王「腆支王」
420年3月30日-09:00|韓国| ||百濟・腆支王16年3月|<即位>百濟王「久尔辛王」(~427年)
420年7月7日-08:00|中国| ||劉宋・永初1年6月11日|<退位>東晋第11代皇帝「恭帝(司馬徳文)」東晋が滅亡
420年7月10日-08:00|中国| ||劉宋・永初1年6月14日|<即位>宋第1代皇帝「高祖武帝(劉裕)」(~422年6月26日)宋
が建国され、永初と改元
420年7月26日-08:00|中国| ||北凉・玄始9年;西凉・嘉興4年7月|<死去>西凉第2代皇帝「後主(李暠)」、北凉の沮渠
蒙遜に殺される/北凉は酒泉を獲得
420年7月26日-08:00|中国| ||西凉・嘉興4年7月|<即位>西凉第3代皇帝「冠軍侯(李恂)」(~421年3月)
420年9月30日-01:00|イタリア| |||初代キリスト教の教父の聖ヒエロニムス死去(誕生:340)
420年10月23日-08:00|中国| ||西秦・建弘1年;北凉・玄始9年9月|西秦の振武將軍王基等が、北凉の胡園戌を襲撃
し、二千余人を捕らえて帰った/北凉が二度に渡って侵略したが、どちらも撃退
420年10月23日-08:00|中国| ||西凉・永建1年9月|西凉宋承達は、李恂を冠軍將軍・涼州刺史に推戴し、永建(-421
年3月)と改元
421年2月8日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「コンスタンティウス3世」テオドシウス1世の娘婿で、アルカディウスとホノリウスの義弟、ホノ
リウスの共同皇帝(~9.2自然死)

0600迄 (2180件)

421年3月20日-09:00|日本/中国| ||劉宋・永初2年2月|倭王讃が宋に朝貢し、武帝に安東將軍倭国王の称号を授けられる

421年4月18日-08:00|中国| ||北凉・玄始10年;西凉・永建2年3月|<死去>西凉第3代皇帝「冠軍侯(李恂)」北凉軍の攻撃を受け敦煌に立て籠もって戦ったが敗れて自殺/西凉を滅ぼし北凉は河西全域を支配

421年5月12日-09:00|韓国| ||百濟・久尔辛2年3月25日|<死去>伽耶王「坐知王(神王)」

421年5月12日-09:00|韓国| ||百濟・久尔辛2年3月25日|<即位>伽耶王「吹希王(恵王)」(~451年)

421年8月14日-08:00|中国| ||西秦・建弘2年;北凉・玄始10年7月|北凉の沮渠蒙遜は西秦を攻撃/西秦の乞伏熾磐は迎撃、敵兵二千を殺して凱旋

421年9月2日-01:00|イタリア| ||<死去>ローマ帝国西方担当共同皇帝「コンスタンティウス3世」

421年11月11日-08:00|中国| ||北魏・泰常6年10月|魏の尚書滑稽が倉垣を攻撃し大勝利/陳留太守の敵凌は湟斤へ降伏/湟斤は、滑台へ猛攻を加え遂にこれを抜いた/湟斤は、更に進撃して擢廣を撃破、虎牢まで進み毛徳祖と戦ってこれを破った

422年-04:00|アルメニア| ||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「アルタクシアス4世」(~428年)

422年1月9日-08:00|中国| ||北魏・泰常6年12月|泰山、高平、金郷等の郡が、全て魏の手に落ちた

422年4月7日-08:00|中国| ||北魏・泰常7年3月|魏の湟斤は許昌の李元徳を攻撃し、李元徳は敗走し魏は許昌を占拠/毛徳祖は城を出て公孫表と戦ったが、湟斤軍が帰って来て公孫表と合流したので毛徳祖は大敗

422年6月26日-08:00|中国| ||劉宋・永初3年5月21日|<死去>宋第1代皇帝「高祖武帝(劉裕)」/59歳(誕生356年)

422年6月26日-08:00|中国| ||劉宋・永初3年5月21日|<即位>宋第2代皇帝「少帝(劉義符)」(~424年7月7日)

422年8月4日-08:00|中国| ||西秦・建弘3年;北凉・玄始11年7月|蒙遜は西秦を攻撃/西秦はこれを迎撃し沮沐成都を捕らえた

422年9月4日-01:00|パチン| ||<死去>第42代ローマ教皇「ホニファティウス1世」

422年9月10日-01:00|パチン| ||<就任>第43代ローマ教皇「クレティウス1世」(~04320727死去)

423年1月28日-08:00|中国| ||劉宋・景平1年|劉宋の少帝劉義符が景平と改元(-424年8月)

423年2月26日-08:00|中国| ||北魏・泰常8年2月|北魏、赤城・五原間に長城を築き、柔然に備える

423年3月28日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王12年;劉宋・景平1年3月|高句麗、宋に遣使

423年3月28日-08:00|中国| ||劉宋・景平1年;北魏・泰常8年3月|魏の叔孫建は東陽城へ迫ったが、宋の竺変、垣苗は総力を挙げてこれを守り、時には奇襲して敵を破った

423年6月17日-08:00|中国| ||北魏・泰常8年閏4月23日|己未、北魏、虎牢を攻略

423年8月15日-01:00|イタリア| ||<死去>ローマ帝国西方担当皇帝「ホリウス」自然死/38歳(誕生03840909)

423年8月27日-01:00|イタリア| ||<即位>ローマ皇帝「ヨハネス」ホリウス死後、テオドシウス朝を疎んだ元老院から推挙され(~425.5東方正帝テオドシウス2世が派遣したゲルマン人の将軍アスパルに敗れて処刑された)

423年12月19日-08:00|中国| ||北魏・泰常8年11月|魏の周幾が許昌を攻撃、許昌は潰れ、李元徳は項城へ逃げた/魏軍は汝陽も包囲、汝陽太守王公度は項城へ逃げた

423年12月24日-08:00|中国| ||北魏・泰常8年11月6日|<死去>北魏第2代皇帝「太宗明元帝(拓跋嗣)」

423年12月27日-08:00|中国| ||北魏・泰常8年11月9日|<即位>北魏第3代皇帝「世祖太武帝(拓跋燾)」(~04520311死去)

424年 00:00|イギリス| ||<即位>ケレディック王「ケレディック・アブ・ケネッタ」(~453年)

424年2月16日-09:00|韓国/中国| ||百濟・久尔辛5年;劉宋・景平2年|百濟、宋に遣使

424年2月16日-08:00|中国| ||北魏・始光1年1月|北魏の太武帝が始光(-428年1月)と改元

424年3月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・訥祗8年;高句麗・長寿王12年2月|新羅が高句麗に使臣を派遣し、国交を開かせた

424年7月7日-08:00|中国| ||劉宋・景平2年5月25日|<廃位>宋第2代皇帝「少帝(劉義符)」幽閉される(~6月24日司空徐羨之に暗殺される)

424年8月11日-08:00|中国| ||西秦・建弘5年;北凉・玄始13年7月|西秦の乞伏熾磐は北凉を襲撃/西秦軍は、河西の白草嶺、臨松郡を連破し、民二万余を強制連行して帰国

424年9月17日-08:00|中国| ||劉宋・元嘉1年8月9日|<即位>宋第3代皇帝「太祖文帝(劉義隆)」(~453年3月16日)元嘉(-453年)と改元

424年10月23日-01:00|イタリア| ||<即位>ローマ皇帝「ウァレンティヌス3世」コンスタンティウス3世の息子で、テオドシウス1世の孫(~04550316跡継ぎを持たないままに暗殺される)

425年-07:00|ベトナム| ||<死去>チャンパ王「范陽邁1世」

425年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャンパ王「范陽邁2世」(~446年, 敗戦逃亡)

425年-03:30|イラン/イラク| ||エフタル族がイランに侵入

425年1月6日-08:00|中国| ||北魏・始光1年;柔然・大檀11年12月|太武帝は柔然を攻撃させ、諸軍は大勝利

425年2月4日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王14年;北魏・始光2年|高句麗、北魏に遣使朝貢

425年2月4日-09:00|日本| ||北魏・始光2年|仁徳天皇陵作られる(大阪府)

425年2月4日-09:00|日本/中国| ||劉宋・元嘉2年|倭王讃、司馬曹達を派遣し宋に朝貢

425年2月27日-02:00|トルコ| ||東ローマ皇帝テオドシウス2世(24)が、コンスタンチノープルに大学が設置される

425年5月-01:00|イタリア| ||<死去>ローマ皇帝「ヨハネス」東方正帝テオドシウス2世が派遣したゲルマン人の将軍アスパルに敗れて処刑された

425年5月4日-08:00|中国| ||西秦・建弘6年4月|西秦の乞伏熾磐は臨松を襲撃/南凉の鎮南將軍沮沐白蹄を捕らえ、住民五千戸を枹干へ強制連行

425年7月2日-08:00|中国| ||仇池・楊玄1年6月|<死去>後仇池第2代皇帝「楊盛」

0600迄 (2180件)

425年7月2日-08:00|中国| ||仇池・楊玄1年6月|<即位>後仇池第3代皇帝「楊玄」(~429年死去)
425年7月31日-08:00|中国| ||西秦・建弘6年7月|西秦の乞伏熾磐は鎮南將軍の吉比に、黒水きょうの酋長丘擔を攻撃させ、大勝利
425年8月30日-08:00|中国| ||夏・承光1年;西秦・建弘6年8月|夏王の赫連勃勃は苑川を攻撃させ、安南を攻撃させた/西秦の乞伏熾磐は退却/葷伐は、安南を抜き、西秦の秦州刺史擢爽と南安太守李亮を捕らえた
425年8月30日-08:00|中国| ||西秦・建弘6年;北凉・玄始14年8月|西秦の乞伏熾磐は乞伏暮末に西安を攻撃させたが勝てず、番禾を攻撃/北凉王蒙遜は迎撃
425年9月18日-08:00|中国| ||夏・承光1年8月20日|<死去>夏第1代天王「世祖武烈帝(赫連勃勃)」
425年9月18日-08:00|中国| ||夏・承光1年8月20日|<即位>夏第2代皇帝「廢主(赫連昌)」(~428年)
425年10月28日-08:00|中国| ||北魏・始光2年;柔然・大檀12年10月|北魏の太武帝が柔然討伐を举行/柔然の部落は北へ向かって逃げた
426年-01:00|イタリヤ| |||アウグスティヌス『神の国』
426年 06:00|ホヅ・ユラシ| |||<即位>コパン王「キチ・ヤシュ・クック・モ」(~435年)
426年1月24日-08:00|中国| ||吐谷渾・慕貴1年|<即位>吐谷渾第10代可汗「慕加」第7代可汗「烏コツ提(大孩)」の長子(~436年)
426年11月16日-08:00|中国| ||西秦・建弘7年10月|曇達は、呼廬古と戦い、敗北/呼廬古と葷伐は更に枹干を攻撃し熾磐は、定連まで退却/呼廬古を西秦の將軍趙寿生が撃退/呼廬古と葷伐は沙州を攻撃したが、沙州刺史が乞伏万年を派遣して撃破
426年11月16日-08:00|中国| ||北魏・始光3年;夏・承光2年10月冬至|魏帝は夏の統萬を襲撃/夏王は討って出たが敗北し城へ逃げ帰った
427年1月14日-08:00|中国| ||北魏・始光3年;北凉・承玄1年12月|北魏の司空奚斤は長安へ入城/秦・ようのティ・キョウは、皆、奚斤のもとへ降伏/北凉王蒙遜とティ王楊玄は北魏へ使者を派遣し内附
427年2月12日-09:00|朝鮮| ||高句麗・長寿王15年|高句麗長寿王が国内城から平壤に遷都し、大宮殿の安鶴宮を造営
427年7月10日-08:00|中国| ||北魏・始光4年;夏・承光3年6月|魏帝は統萬へ到着、夏王は城を出て戦ったが夏軍は大いに潰れ夏王は入城することができず上圭まで逃げた/翌日魏帝は統萬城へ入城
428年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツパン「ゲ・エミール・シャプ・ール」パフラム5世によって指名されたイラン貴族(~442年)
428年-04:00|アルメニア/イラン| |||アルメニアはパルティア帝国に編入
428年-01:00|チュニジア| |||<即位>ヴァンダル王国国王「ゲンテリック」(~4770125死去)
428年-01:00|ジブラルタル/スペイン/ポルトガル| |||ジブラルタルはスエビ王国の一部
428年1月3日-09:00|韓国| ||百濟・久尔辛8年12月|<死去>百濟王「久尔辛王」
428年1月3日-09:00|韓国| ||百濟・久尔辛8年12月|<即位>百濟王「毘有王」(~455年)
428年1月3日-08:00|中国| ||西秦・永弘1年;北凉・承玄2年12月|蒙遜が西秦を攻撃し、磐夷まで進軍/西秦は、元基がこれを防いだ/蒙遜は西平を攻撃し抜く
428年2月2日-08:00|中国| ||夏・承光4年|<退位>夏第2代皇帝「廢主(赫連昌)」魏に捕らえられた
428年3月2日-08:00|中国| ||夏・勝光1年2月|<即位>夏第3代皇帝「後主(赫連定)」(~431年6月)、勝光(-431年6月)と改元
428年3月2日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加1年2月|北魏の太武帝が神鹿(-431年12月)と改元
428年3月2日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加1年;承光4年2月|魏の平北將軍尉眷が上圭の夏王を攻撃、夏王は平涼まで退却、安定城下へ軍を出した/安頡は出撃して応戦、夏王は敗走落馬し捕らえられた
428年4月1日-08:00|中国| ||夏・勝光1年;北魏・神鹿加1年3月|夏王は追撃軍を待ち受け前後から挟撃、魏軍は大敗、夏は長安まで回復
428年5月30日-08:00|中国| ||西秦・永弘1年5月|<死去>西秦第3代皇帝「太祖文昭王(乞伏熾磐)」
428年5月30日-08:00|中国| ||西秦・永弘1年5月|<即位>西秦第4代皇帝「後主(乞伏暮末)」熾磐の次子(~431年1月)永弘(-431年1月)と改元
428年5月30日-08:00|中国| ||西秦・永弘1年5月|南安太守の擢承伯が、北凉軍に呼応したが、西秦の乞伏暮末はこれを撃破/西安太守の莫者幼眷も造反、暮末は討伐へ向かったが敗北
428年6月28日-08:00|中国| ||西秦・永弘1年;北凉・承玄3年6月|西秦の乞伏暮末は北凉の沮渠蒙遜の子息の興国を迎撃して捕らえた/吐谷渾王慕貴が、弟の没利延に蒙遜と合流させて西秦を攻撃させた/暮末は迎撃大勝利
428年6月28日-08:00|中国| ||北凉・承玄1年6月|北凉の沮渠蒙遜が承玄(-431年12月)と改元
428年6月28日-08:00|中国| ||西秦・永弘1年;北凉・承玄1年6月|北凉王蒙遜は西秦の西平を攻撃、蒙遜は西平を通過して、楽都を攻撃/元基は左右を率いて奮撃したので、北凉軍は退却
429年-05:30|スリランカ| |||(~455)南インド系(タミル系)の人々がアヌラダプーラを征服
429年2月20日-08:00|中国| ||仇池・楊難当1年|<死去>後仇池第3代皇帝「楊玄」
429年2月20日-08:00|中国| ||仇池・楊難当1年|<即位>後仇池第4代皇帝「楊保宗」(~同年叔父の楊難当に背かれて廢された)
429年2月20日-08:00|中国| ||仇池・楊難当1年|<即位>後仇池第5代皇帝「楊難当」(~442年閏5月北魏に亡命)
429年2月20日-09:00|日本| ||履中6年正月|履中天皇、蔵職を建て、蔵部を定める
429年5月-01:00|チュニジア| |||ガ・イリクが率いるゲルマン系のヴァンダル族が、イベリア半島からジブラルタル海峡を渡って北アフリカに上陸
429年6月16日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加2年;柔然・大檀16年4月29日|庚寅、太武帝は平城を出発/魏軍は、漠南で輜重を棄て、輕騎で柔然を襲撃。栗水まで進んだ。乞升蓋可汗は廬を焼いて西へ向かって逃げた

0600迄 (2180件)

429年7月17日-08:00|中国| ||劉宋・元嘉6年;南燕・太上5年6月|劉宋の劉裕軍は東莞へ入り、前鋒の孟龍符が公孫五楼と戦い撃破/劉裕は臨朐の南で南燕軍と戦った/燕軍は大敗、晋軍は玉璽を獲得/劉裕は、そのまま北進し、廣固の大城を陥れた

429年9月14日-08:00|中国| ||柔然・呉提1年8月|<死去>柔然第4代可汗「乞升蓋可汗(大檀)」憤死

429年9月14日-08:00|中国| ||柔然・呉提1年8月|<即位>柔然第5代可汗「敕連可汗(呉提)」大檀の子(~444年9月死去)

429年9月14日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加2年8月|北魏の太武帝は高車の東部を襲撃させた/高車の諸部は数十万落が降伏

429年12月12日-08:00|中国| ||西秦・永弘2年11月|南安の諸きょう万余人が、西秦に造反/西秦の乞伏暮末は、てい王の楊難當に救援を求め賊徒を討った

430年-09:00|日本| ||倉敷の造山古墳がこのころ築造

430年-04:00|アルメニア| ||<即位>ガートマン公(ミフランド朝)「ハルサホット」(~440年死去)

430年-04:00|アルメニア| ||<即位>ゴガレネ公(ミフランド朝)「ハケル2世」(~455年)

430年 00:00|イギリス| ||<即位>Ternyllwg王「Catigern」(~447年)

430年 00:00|イギリス| ||<即位>ホーイス王「Cadeyern Fendigaid」(~447年)

430年2月9日-09:00|日本/中国| ||劉宋・元嘉7年1月|倭国王、宋に使者を派遣し朝貢

430年3月11日-08:00|中国| ||劉宋・元嘉7年;北魏・神鹿加3年2月|宋、北魏を攻め、河南を回復

430年8月5日-08:00|中国| ||劉宋・元嘉7年;北魏・神鹿加3年7月|劉宋の文帝の河南攻撃/劉宋軍の本隊は潼関まで進軍/司州と兗州は全て奪還された

430年8月28日-01:00|アルゼンチン| ||<死去>アウグスティヌス/75歳(誕生:03541113)「神国論」

430年9月4日-08:00|中国| ||劉宋・元嘉7年;北魏・神鹿加3年8月|魏帝は冠軍將軍安頡に、宋軍の到彦之を攻撃させた/到彦之は、姚萇を差し向けたが敗北

430年10月3日-08:00|中国| ||北燕・太平22年9月|<死去>北燕第2代天王「馮跋」

430年10月3日-08:00|中国| ||北燕・太平22年9月|<即位>北燕第3代皇帝「昭成帝(馮弘)」(~436年3月)435年以降宋に封ぜられた燕王となる

430年10月3日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加3年;夏・勝光3年9月|夏王定が、弟の謂以代に魏の鹿城を攻撃させた/魏の平西將軍隗囂等がこれを撃退

430年11月2日-09:00|日本| ||反正1年10月|丙午)反正天皇、河内の丹比に丹比柴籬宮を造る

430年11月2日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加3年10月|北魏、虎牢などを奪回

430年12月1日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加3年;夏・勝光3年11月|魏帝は、安西將軍古弼等を、安定攻略に向かわせた/夏王は平涼救援に向かったが途中、古弼軍と遭遇魏軍が襲撃し夏軍は大敗、西へ進んで上圭を保った

430年12月31日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加3年;夏・勝光3年12月|夏の上谷公社干と廣陽公度洛孤が降伏し平涼は陥落

431年1月29日-08:00|中国| ||西秦・永弘4年1月|<降伏>西秦第4代皇帝「後主(乞伏暮末)」南安で夏軍に攻められ/西秦は滅亡

431年1月29日-08:00|中国| ||劉宋・元嘉8年;北魏・神鹿加4年1月|寿済にて、宋軍は魏の安平公乙柅眷の軍と遭遇し敵を大破、高梁亭まで転戦し魏の濟州刺史悉煩庫結を斬った

431年1月29日-08:00|中国| ||北燕・太興1年1月|北燕の君主馮弘が太興(-436年5月)と改元

431年3月9日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加4年;劉宋・元嘉8年2月10日|辛酉、滑台は陥落し、魏軍は劉宋の朱修之と東郡太守申謨を捕らえた

431年4月28日-09:00|韓国/日本| ||新羅・訥祗15年4月|倭兵が新羅の東辺境を侵犯/ついで明活城を包囲したが何らの成果もなしに退いた

431年6月22日-02:00|トルコ| ||コンスタンブル総大司教に任命されていたネストリウスが、エフェソ公会議で異端とされ、国外追放

431年6月26日-08:00|中国| ||夏・勝光4年6月|<廃位>夏第3代皇帝「後主(赫連定)」吐谷渾に攻められて捕らえられた/夏は滅んだ

431年6月26日-08:00|中国| ||北凉・義和1年6月|北凉の沮渠蒙遜が義和(-433年4月)と改元

431年11月21日-08:00|中国| ||北魏・神鹿加4年10月|北魏、崔浩に律令を改定させる

432年2月17日-08:00|中国| ||北魏・延和1年1月|北魏の太武帝が延和(-435年1月)と改元

432年7月27日-01:00|バチカン| ||<死去>第43代ローマ教皇「クレステウス1世」

432年7月31日-01:00|バチカン| ||<就任>第44代ローマ教皇「シクストゥス3世」(~4400818死去)

432年9月11日-08:00|中国| ||北魏・延和1年;北燕・太興2年8月|魏の昌黎公丘等が燕王軍を撃退/魏王自ら燕の尚書高紹の守る軻胡固を攻撃し高紹を斬り殺した/平東將軍賀多羅は帶方、撫軍大將軍永昌王建は建德、驃騎大將軍樂平王丕は冀陽を攻め全て攻略

433年5月5日-08:00|中国| ||北凉・義和3年4月|<死去>北凉第2代皇帝「太祖武宣王(沮渠蒙遜)」

433年5月5日-08:00|中国| ||北凉・承和1年4月|<即位>北凉第3代皇帝「哀王(沮渠牧犍)」(~439年9月)/永和(-439年9月)と改元

433年7月3日-08:00|中国| ||北魏・延和2年6月|魏の永昌王健と左僕射安原が諸軍を都督して和龍を攻撃/將軍樓勃は凡城を包圍、守將の封羽が凡城ごと降伏

433年8月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・訥祗17年;百濟・毘有王7年7月|新羅と百濟、和睦

434年-07:00|カンボジア| ||<即位>扶南王「スリントラヴァルマン1世」(~435年)

434年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Soththisena」Mahanamaの息子⇒「Chattagahaka Jantu」Maha

0600迄 (2180件)

namaの娘 (~435年)

434年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アル=ヌ=マン4世バシ・アル=アイハム」(~455年),「アル=ハ=リス3世バシ・アル=アイハム」(~456年),「アル=ヌ=マン5世バシ・アル=ハ=リス」(~453年)

434年3月-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ポーランド/ウクライナ/ロシア| |||春<死去>フン族国王「ル=ア」

434年3月-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ポーランド/ウクライナ/ロシア| |||春<即位>フン族国王「フレダ」アッティラの兄(~445年死去),「アッティラ」(~453年前半死去)共同統治

435年-07:00|カンボジア| |||<即位>扶南王「不明」(~438年)

435年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Mittasena」(~436年)

435年-05:30|インド| |||<即位>ガダンバ朝(ハナバシ)マハラジャ「カ=クスタガ=アルマ」(~455年)

435年-04:00|ジョージア| |||<即位>イベリア王「ミフルダット5世」アチルの息子(~447年)

435年-01:00|ハンガリー| |||このころアッティラがハンガリー盆地に進出しフン族の王国を建てる

435年-01:00|チュニジア| |||アフリカのヴァンダル王国/西ローマ帝国に同盟者として承認される

435年 06:00|ホッヅェス| |||<即位>コハソ王「ホ=ホル=ホル」

435年2月14日-08:00|中国| ||北魏・太延1年1月|北魏の太武帝が太延(-440年6月)と改元

435年7月12日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・長寿王23年6月|高句麗王は遣使を入魏させて朝貢

436年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Pandur」(~441年)

436年-01:00|ドイツ/フランス| |||<即位>ブルグント王「ゲンティョク」(~473年死去)

436年2月3日-08:00|中国| ||吐谷渾・慕利延1年|<即位>吐谷渾第11代可汗「慕利延」第7代可汗「烏コ提(大孩)」の次男(~452年)

436年4月2日-08:00|中国| ||仇池・楊文徳1年3月|後仇池第5代皇帝「楊難当」は建義という独自の年号を建て、自らを大秦王、妻を王后、世子の楊和を太子として本格的に自立

436年4月2日-08:00|中国| ||北燕・太興6年3月|北燕第3代皇帝「昭成帝(馮弘)」北魏によって追いつめられ高句麗に亡命/北燕は滅亡

436年5月2日-08:00|中国| ||北魏・太延2年;北燕・太興6年4月|魏軍は燕の白狼城を攻撃してこれに勝った

436年6月30日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王25年6月|高句麗、宋に遣使して方物を献ず

436年12月24日-09:00|日本| ||允恭1年12月|(太歳壬子)第19代允恭天皇即位

437年3月23日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・長寿王25年;北魏・太延3年2月|高句麗、北魏に遣使朝献

438年-07:00|カンボジア| |||<即位>扶南王「不明」(~484年)

438年-05:30|インド| |||<即位>ハ=ラガ朝君主「Simhavarman2世」(~460年)

438年-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝第17代シャ=ハンシャー「ハ=ハラム5世」

438年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ササン朝第18代シャ=ハンシャー「ヤズデギルト2世」(~457年死去)

438年-01:00|スペイン| |||<即位>ス=レ=王「Rechila」(~448年死去)

438年-01:00|スペイン| |||<退位>ス=レ=王「Hermeric」(~441年死去)

438年2月15日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||東ローマ皇帝テオドシウス2世が、テオドシウス法典を發布

438年4月11日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王27年3月|高句麗、北燕王馮弘を殺す(北燕は完全に滅亡)

438年5月10日-08:00|中国/日本| ||劉宋・元嘉15年4月|倭王弥(珍)が宋に物を贈り、安東將軍の称号を授けられる

439年10月19日-01:00|チュニジア/トルコ| |||ガ=イェックが率いるヴァンダル軍が、カルタゴを占領

439年10月19日-08:00|中国| ||北魏・太延5年;北凉・永和7年9月26日|北凉第3代皇帝「哀王(沮渠牧犍)」北魏に降伏し北凉は滅亡/北魏の太武帝が、華北を統一/五胡十六国時代が終る

439年12月22日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王27年11月|高句麗、北魏に遣使朝献

440年-09:00|日本| |||和歌山市の滝遺跡がこのころ築造

440年-05:30|インド| |||<即位>ヴァ=カー=朝(ナグ=ブル)マハラジャ「Narendrasena」(~460年)

440年-04:00|アルメニア| |||<死去>ガ=ト=マン公(ミフランド朝)「ハ=ルザ=ボ=ット」

440年-04:00|アルメニア| |||<即位>ガ=ト=マン公(ミフランド朝)「ハ=ラ=ス=ハ=ケル」(~450年)

440年1月20日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・長寿王27年;北魏・太延5年12月|遣使を魏に送って朝貢

440年2月19日-09:00|日本/韓国| ||新羅・訥祗24年|倭人が新羅の南部辺境を侵して、生口(住民)をつかまえて行った

440年2月19日-08:00|中国| ||仇池・楊文徳5年|後仇池第5代皇帝「楊難当」は旱魃と災害を理由にして王号を大秦王から武都王に戻す

440年7月15日-09:00|日本/韓国| ||新羅・訥祗24年6月|倭人がまた新羅の東部辺境を侵犯

440年7月15日-08:00|中国| ||北魏・太平真君1年6月|北魏の太武帝が太平真君(-451年6月)と改元

440年8月19日-01:00|バチカン| |||<死去>第44代ローマ教皇「シクストゥス3世」

440年8月27日-09:00|日本| ||允恭5年7月14日|飛鳥宮付近(大和)に地震/わが国の歴史に現れた最初の地震「日本書紀」

440年9月29日-01:00|バチカン| |||<就任>第45代ローマ教皇「レオ1世」(~4611110死去)

441年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Parindu」Pandurの息子(~441年)⇒「Khudda Parinda」Pandurの弟(~447年)

441年9月2日-08:00|中国| ||北魏・太平真君2年8月|北凉の沮渠無諱は、永昌王拓跋健のもとへ使者を派遣し、降伏

442年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツパン「シュニク公ヴァサク」ヤズデギルト2世によって指名されたアルメニア貴族(~451年)

0600迄 (2180件)

442年-01:00|チュニジア| |||ガアンタル王国に、ローマ帝国がアフリカの属領を割譲
442年1月27日-08:00|中国| ||北魏・太平真君3年|沮渠無諱、車師を滅ぼし、沮渠氏高昌国を建てる
442年4月26日-08:00|中国| ||北魏・太平真君3年4月|北涼の沮洳唐児が、沮洳無諱に背いた/沮洳無諱は自らこれを攻撃し、沮洳唐児は敗死
442年6月24日-08:00|中国| ||仇池・楊保熾1年間5月|<即位>後仇池君主「楊保熾」(~443年亡命)
442年6月24日-08:00|中国| ||仇池・楊保熾1年間5月|<退位>後仇池君主「楊難当」仇池を放棄して北魏に亡命
442年12月18日-08:00|中国| ||北魏・太平真君3年11月|魏軍の包囲を受けた北涼の酒泉城は城内の食糧が底を尽き、万余人が餓死/やがて魏軍は酒泉を抜き、沮洳天周を捕らえ平城へ送った/沮洳天周は、平城で処刑
443年-01:00|スイス/フランス| |||<即位>ブルグント対立王「キルリック1世」(~480年死去)
443年2月15日-09:00|日本/中国| ||劉宋・元嘉20年|倭王済が宋に物を贈り、安東將軍の称号を受けられる
443年2月15日-08:00|中国| ||北魏・太平真君4年|<即位>武都君主「楊文徳」自立(~455年)
443年2月15日-08:00|中国| ||北涼・承平1年|<即位>北涼第1代皇帝「沮渠無諱」(~444年)
443年10月10日-08:00|中国| ||北涼・承平1年9月|北涼の沮洳無諱麾下の将が高昌を攻撃して抜いた/沮洳無諱は高昌へ據った/宋は、沮洳無諱を「都督涼・河・沙三州諸軍事、征西大將軍、涼州刺史、河西王」とした
444年2月5日-08:00|中国| ||北涼・承平2年|<死去>北涼第1代皇帝「沮渠無諱」
444年2月5日-08:00|中国| ||北涼・承平2年|<即位>北涼第2代皇帝「沮渠安周」(~460年)「都督涼・河・沙三州諸軍事、征西大將軍、涼州刺史、河西王」の称号を継承
444年5月3日-09:00|韓国/日本| ||新羅・訥祗28年4月|倭兵たちが新羅の金城を十日の間包囲し食糧が尽きたので帰った/王が追撃し合戦をして敗北
444年9月28日-08:00|中国| ||柔然・吐賀真1年9月|<死去>柔然第5代可汗「敕連可汗(呉提)」
444年9月28日-08:00|中国| ||柔然・吐賀真1年9月|<即位>柔然第6代可汗「処可汗(吐賀真)」呉提の子(~464年7月死去)
445年-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ウクライナ/ロシア| |||<死去>フン族国王「フレイタ」
445年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「レーグ・アイル・マック・ニール」(~462年)
445年1月24日-08:00|中国| ||劉宋・元嘉22年|劉宋で元嘉暦施行
446年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ 王「范神成」(~480年死去)
446年-07:00|ベトナム| |||<退位>チャンパ 王「范陽邁2世」敗戦逃亡
446年2月12日-08:00|中国| ||北涼・承平4年|<即位>ホ・タン王「秋仁」(~470年)
446年2月12日-07:00|ベトナム/中国| ||劉宋・元嘉23年|宋軍が林邑(チャンパ)へ侵略し却略
446年4月12日-08:00|中国| ||北魏・太平真君7年3月|北魏太武帝が崔浩の言を入れて仏教を弾圧し、仏像を破壊
447年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Tiritara」⇒「Dathiya」(~450年)
447年-04:00|ジョージア| |||<即位>イェリア王「ヴァフタンク1世」ゴル・サルミフル・ツァツ5世の息子(~522年)
447年 00:00|イギリス| |||<即位>Ternyllwg王・ホーイス王「Cadell Ddyrnllwg」(~460年)
448年-01:00|スペイン| |||<死去>スエビ 王「Rechila」
448年-01:00|スペイン| |||<即位>スエビ 王「レキアル」(~456. 12死去)
450年-09:00|日本| |||5世紀中葉、日本各地で前方後円墳が築造されだす
450年-08:00|インド・ネパール| |||ジャワ・ヒンドゥー文明が到来
450年-05:45|ネパール| |||このころ「Vishvadeva」が「カトマンズ」でリッチャビ王朝を興こす
450年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Pithiya」(~452年)
450年-05:30|インド| |||<即位>ヴァーカー朝(ヴァッサガルマ)マハジャ「Devasena」(~475年)
450年-05:30|インド| |||ナランダー-僧院の創立
450年-04:00|アルメニア| |||<即位>ガートマン公(ミヘニド朝)「ミール」(~480年)
450年 00:00|イギリス| |||<即位>グウィネス 王「Cunedda Wledig ap Eder」(~460年)
450年 00:00|イギリス| |||ジュート、アングル、サクソン族はイングランドに上陸/ブリトン人をウェルズ、コンウォール、スコットランド、ブルターニュに追いやり、7王国(ジュート族→ケント;アングル族→ノーサンブリア、マーシア、イーストアングリア;サクソン人→エッセクス、サセックス、ウェッセクス)建設
450年3月29日-08:00|中国| ||北魏・太平真君11年;劉宋・元嘉27年3月|劉宋の駿は汝陽へ直接攻め込んだ/魏軍は不意を衝かれて大敗/魏軍は引き返してきて戦い宋軍は潰走
450年3月29日-08:00|中国| ||北魏・太平真君11年;劉宋・元嘉27年3月|劉宋の文帝は南平内史の臧質を寿春へ派遣し、北魏の太武帝が迎撃させた殿中尚書乞地真を撃破
450年7月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・訥祗34年7月|新羅何瑟羅城主、悉直之原に於いて高句麗の辺将を殺す。高句麗王、怒り兵を挙げて新羅の西辺に侵入。新羅王、遣使して謝罪するにより、兵を収める
450年7月28日-02:00|ギリシャ/シリア・アラブ/トルコ| |||<死去>ローマ帝国東方担当皇帝「テオドシウス朝」テオドシウス2世 跡継ぎを持たないまま病没
450年8月25日-02:00|ギリシャ/シリア・アラブ/トルコ| |||<即位>ローマ帝国東方担当皇帝「マルキアヌス」テオドシウス2世の義兄(姉の夫) (~457)126跡継ぎに恵まれず、彼とその妻の死によってテオドシウス家は断絶
450年12月20日-08:00|中国| ||北魏・太平真君11年;劉宋・元嘉27年11月|太武帝は鄒山へ到着し、宋の魯郡太守崔邪利を捕らえた/宋の武陵王駿は蕭城を攻撃させたが撃退された
450年12月27日-08:00|中国| ||北魏・太平真君11年;劉宋・元嘉27年11月8日|魏軍が陝の救援に駆けつけてきたので、宋軍はこれを迎撃/魏軍は大いに潰れた/甲午、陝城は陥落
451年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツバン「アド・カール・ホルミスト」ヤズゲルト2世によって指名されたイラン貴族(~465年)
451年-01:00|イタリヤ| |||フン族が再び西進を開始し、イタリヤへ侵入

0600迄 (2180件)

451年1月27日-08:00|中国| ||北魏・太平真君11年;劉宋・元嘉27年12月10日|魏の太武帝は兵を率いて南下/乙丑、魏の燕王談が、胡崇之等を攻撃し、三つの陣営は全て敗北
451年2月17日-09:00|韓国| ||百濟・毘有王25年|<即位>伽耶王「チ知王(莊王)」(~492年)
451年2月17日-09:00|日本/中国| ||劉宋・元嘉28年|倭王濟、宋に遣使し、六国諸軍事を加号される(「宋書」倭国伝)
451年6月20日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||以降|<死去>西ゴート王国国王「テオドリク1世」カラウスムの戦いで戦死
451年6月20日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||以降|<即位>西ゴート王国国王「トリスマント」(~453年暗殺される)
451年6月20日-01:00|フランス/イタリア| ||ガリアに侵入したアッティラの率いるフン族が、アエティウス将軍の西ローマ軍とゲルマン諸部族軍の連合軍にカラウスム(シャロン)の戦いで撃退される
451年7月15日-08:00|中国| ||北魏・正平1年6月|北魏の太武帝が正平(-452年2月)と改元
451年10月22日-02:00|トルコ| |||カルドゥン公会議、正統教義の確立
451年11月10日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・延寿1年10月|高句麗、宋に遣使朝貢
452年-01:00|クロアチア/ハンガリー| |||フン族「アッティラ」はワイマの町を略奪し破壊
452年 00:00|イギリス| |||<即位>ヒョクツ王「Talorc」(~456年)
452年2月6日-08:00|中国| ||吐谷渾・拾寅1年|<即位>吐谷渾第12代可汗「拾寅」第8代可汗「樹洛干」の子(~481年)
452年3月11日-08:00|中国| ||北魏・正平2年2月5日|<死去>北魏第3代皇帝「世祖太武帝(拓跋燾)」宦官の宗愛らに殺される(誕生408年)
452年3月11日-08:00|中国| ||北魏・承平1年2月5日|<即位>北魏第4代皇帝「南安隱王(拓跋余)」(~10.29死去)承平(-10月)と改元
452年6月8日-01:00|イタリア| |||アッティラの率いるフン軍がイタリアに侵入(ローマ教皇レオ1世に説得されローマ市侵入を断念)
452年10月29日-08:00|中国| ||北魏・承平1年10月1日|<死去>北魏第4代皇帝「南安隱王(拓跋余)」宗愛に殺害された
452年10月31日-08:00|中国| ||北魏・興安1年10月3日|<即位>北魏第5代皇帝「高宗文成帝(拓跋濬)」(~4650620死去),興安(-454年7月)と改元
453年-05:30|インド| |||<即位>カダンバ朝(トリハ-ヴァーサ)マハラジャ「Krishna Varma1世」(~475年)
453年-05:30|インド| |||<即位>カダンバ朝(パナハシ)マハラジャ「Santivarma」(~460年)
453年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アルムンディール2世」ビシ・アルヌーマン(~472年),「アムル3世」ビシ・アルヌーマン(~486年),「ヒジル・ビシ・アルヌーマン」(~465年)
453年-01:00|フランス/ポルトガル/スペイン| |||<死去>西ゴート王国国王「トリスマント」暗殺される
453年-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ウクライナ/ロシア| |||<死去>フン族国王「アッティラ」帝国は瓦解し、フン族はポルガ河畔にまで退く
453年-01:00|フランス/ポルトガル/スペイン| |||<即位>西ゴート王国国王「テオドリク2世」(~466年暗殺される)
453年-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ウクライナ/ロシア| |||<即位>フン族国王「エルク」(~454年ネオの戦いで戦死)
453年 00:00|イギリス| |||<即位>ケレディグオン王「ウサ」(~490年)
453年3月16日-08:00|中国| ||劉宋・太初1年2月21日|<死去>宋第3代皇帝「太祖文帝(劉義隆)」長男の劉劭によって殺される/46歳(誕生407年)
453年3月17日-08:00|中国| ||劉宋・太初1年2月22日|<即位>宋皇帝「劉劭」(~5月20日)、太初と改元
453年5月20日-08:00|中国| ||劉宋・元嘉30年4月27日|<即位>宋第4代皇帝「世祖孝武帝(劉駿)」(~464年7月12日)/元嘉に元号が戻される
453年5月20日-08:00|中国| ||劉宋・太初1年4月27日|<廃位>宋皇帝「劉劭」武陵王劉駿が捕らえ後に処刑
453年12月16日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王42年11月|高句麗、宋に遣使して方物を献ず
454年-02:00|ルーマニア| |||トランシルバニアはゲピド王国(ゲピディア)の一部(~567年)
454年-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ウクライナ/ロシア| |||<死去>フン族国王「エルク」ネオの戦いで戦死
454年-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ウクライナ/ロシア| |||<即位>フン族国王「デンキジック」(~469年)
454年-01:00|マルタ/チュニジア| |||マルタはヴァンダル王国の一部(~464年)
454年2月14日-08:00|中国| ||劉宋・孝建1年|劉宋の孝武帝劉駿が孝建(-456年)と改元
454年8月10日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・長寿王42年;新羅・訥祗38年7月|高句麗が兵を送って新羅の北辺を侵した
454年8月10日-08:00|中国| ||北魏・興光1年7月|北魏の文成帝が興光(-455年6月)と改元
454年9月8日-09:00|朝鮮| ||高句麗・長寿王42年;新羅・訥祗38年8月|高句麗が新羅の北部辺境を侵犯
455年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「ダートケナ」Sanghaの息子(~473年)、南インド系(タミル系)の征服者を追放し、王位を奪還
455年-05:30|インド| |||<即位>グプタ朝「スカンダグプタ」(~467年)
455年-05:30|インド| |||グプタ朝スカンダグプタがブッジャミラの反乱を鎮圧、エフタル族を撃退
455年-05:30|インド| |||フナ族(エフタル)がインドへ南下し、グプタ朝と交戦
455年-04:00|アルメニア| |||<即位>ゴガレーネ公(ミヘリド朝)「アルシュヤ2世」(~470年)
455年 00:00|イギリス| |||<即位>ケント王「Hengest」「Horsa」(~488年)
455年2月3日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王43年;劉宋・孝建2年|高句麗が遣使を宋に送って朝貢
455年2月3日-08:00|中国| ||北魏・興光2年|<即位>武都君主「楊元和」(~466年亡命)
455年2月14日-09:00|日本| ||安康2年|このころから大阪府南部の陶邑で須恵器の生産が始まる
455年3月16日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「ヴァレンティニアヌス3世」将軍アエティウスの元部下により跡継ぎを持たないまま暗殺される(誕生419年)
455年3月17日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ帝国西方皇帝「ペトロニウス・マクシムス」元老院議員。ヴァレンティニアヌス3世が暗殺され

た後、元老院の支持によって帝位を得た(～04550531、ヴァンダル族の前に首都ローマを捨てて逃亡、激怒した民衆に投石されて死亡)

455年5月31日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ帝国西方皇帝「ペトロニウス・マクシムス」ヴァンダル族の前に首都ローマを捨てて逃亡、激怒した民衆に投石されて死亡

455年6月2日-01:00|イタリア| |||<ゲネリック率いるヴァンダル人とアラビ(ガイテリック)がローマ略奪(～16日)

455年7月1日-08:00|中国| ||北魏・太安1年6月|北魏の文成帝が太安(～459年12月)と改元

455年7月9日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「アウィトゥス」フン族を破った将軍アエティウスの側近、ペトロニウスの失脚を知った西ゴート王テオドリック2世により皇帝に推挙され、属州および元老院の承認を経て皇帝となる(～04561017、民衆の不满から元老院によって帝位を剥奪され、マヨリアヌスやリキメルらによって追放された)

455年7月15日-01:00|チュニジア/イタリア| |||ガイテリック王の率いるヴァンダル軍がアフリカから進軍し、ローマに入り略奪/ヴァンダル艦隊は西地中海を支配

455年9月27日-09:00|韓国| ||百済・毘有王29年9月|<死去>百済王「毘有王」

455年9月27日-09:00|韓国| ||百済・蓋鹵王1年9月|<即位>百済王「蓋鹵王」(～475年)

455年10月27日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・訥祗39年;高句麗・長寿王43年10月|高句麗が百済を侵入したので百済王が軍隊を派遣して救援

456年-04:00|ジョージア| |||<即位>ラジカ王「ケハセス1世」(～468年)

456年 00:00|イギリス| |||<即位>ヒックツ王「Nechtan」(～480年)

456年10月17日-01:00|イタリア| |||<廃位>ローマ帝国西方皇帝「アウィトゥス」民衆の不满から元老院によって帝位を剥奪され、マヨリアヌスやリキメルらによって追放された

456年12月-01:00|スペイン| |||<死去>スエビ王「レキル」

456年12月-01:00|スペイン| |||<即位>ガリシア王「Aioulf」(～457. 6死去)

457年-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝第18代シャーンシャー「ヤズデギルト2世」

457年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ササン朝第19代シャーンシャー「ホルミズド3世」(～459年死去)

457年-03:30|イラン/イラク| |||エフタル族がササン朝ペルシア領内に侵入

457年-01:00|スペイン| |||<即位>スエビ王「Framta」⇒ガリシア王「Richimund」(～464年)

457年1月26日-02:00|トルコ| |||<死去>ローマ帝国東方皇帝「マルキアヌス」跡継ぎに恵まれず、彼とその妻の死によってテオシウス家は断絶

457年2月7日-02:00|トルコ| |||<即位>ローマ帝国東方皇帝(レオ朝)「レオ1世」(～04740118病死)トキ7出身の軍人

457年2月10日-08:00|中国| ||劉宋・大明1年|劉宋の孝武帝劉駿が大明(～464年)と改元

457年4月-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ帝国西方皇帝「マヨリアヌス」アウィトゥスの同僚、リキメルによって傀儡として擁立される(～04610802、ヒスパニアからの敗走中に兵士の反乱に遭って殺害された)

457年6月-01:00|スペイン| |||<死去>ガリシア王「Aioulf」

457年6月-01:00|スペイン| |||<即位>スエビ王「Framta」(同年死去)⇒「Richimund」(～464年)

457年6月-01:00|スペイン| |||<即位>スエビ王「Maldras」(～460. 2死去)

458年 06:00|グアテマラ| |||<即位>ティカル王「カン・チム」(～486年)

458年1月31日-09:00|日本| ||雄略2年1月|湯島天満宮(湯島天神/東京都)創建

458年1月31日-08:00|中国| ||北魏・太安4年1月|北魏の文成帝は禁酒法を發布

458年8月25日-09:00|韓国| ||新羅・訥祗42年8月|<死去>新羅王「訥祗麻立干王」

458年8月25日-09:00|韓国| ||新羅・慈悲1年8月|<即位>新羅王「慈悲麻立干」(～479年)

458年9月15日 04:00|トルコ| ||トルコのアンタキヤ(アンティオキア)で地震(M6. 8)死者8万人

458年11月22日-08:00|中国| ||北魏・太安4年;柔然・予成9年11月|文成帝は、自ら十万騎を率いて柔然を両度にわたって攻撃/柔然の處羅可汗は遠く逃げ去り、別部の烏朱賀頽は数千落を率いて降伏

459年-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝第19代シャーンシャー「ホルミズド3世」

459年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ササン朝第20代シャーンシャー「ペーローズ1世」(～484年死去)

459年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「Ailill Molt」(～478年)

459年5月18日-09:00|韓国/日本| ||新羅・慈悲2年4月|倭人が兵船100余隻で新羅東辺境を襲って、さらに進撃して月城を包囲/賊軍が退こうとしたので出兵して攻撃して打ち破った

460年-05:30|インド| |||<即位>ヴァーカータ朝(ナガプル)マハラジャ「Prithivishena2世」(～480年)

460年-05:30|インド| |||<即位>ガタンバ朝(パナバシ)マハラジャ「Shiva Mandhatri」(～475年)

460年-05:30|インド| |||<即位>パナラヴァ朝君主「Skandavarman4世」(～480年)

460年-05:30|スリランカ| |||セイロンがタミル人との交戦でシギリヤに遷都

460年2月-01:00|スペイン| |||<死去>スエビ王「Maldras」

460年2月-01:00|スペイン| |||<即位>スエビ王「Frumar」(～464年死去)

460年2月8日-08:00|中国| ||北涼・承平18年|<死去>北涼第2代皇帝「沮渠安周」柔然が高昌を攻撃した際に殺害され北涼は名実共に滅亡

460年2月8日-08:00|中国| ||高昌・加伯1年|<即位>高昌国王「加伯周」(～477年死去)柔然によって立てられる

460年2月8日-08:00|中国| ||北魏・和平1年1月|北魏の文成帝が和平(～465年12月)と改元

460年12月29日-09:00|日本/中国| ||劉宋・大明4年12月|倭王、宋に遣使

461年1月27日-09:00|韓国/日本| ||百済・蓋鹵王7年|百済の蓋鹵王が弟の昆支君を倭国に遣使

461年3月27日-09:00|日本/中国| ||劉宋・大明5年3月|倭国が宋に遣使朝貢

461年8月2日-01:00|イタリア| |||<死去>西ローマ皇帝「マヨリアヌス」ヒスパニアからの敗走中に兵士の反乱に遭って殺害された

461年11月-01:00|イタリア| |||<即位>西ローマ皇帝「リウウス・セウェルス」元老院議員、リキメルの傀儡として(～465. 8、リキメルにより

0600迄 (2180件)

暗殺される)

461年11月10日-01:00|バチカン| |||<死去>第45代ローマ教皇「レオ1世」
461年11月19日-01:00|バチカン| |||<就任>第46代ローマ教皇「ヒュルス」(~4680229死去)
462年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「アイル・モルト=アイル・マック・ナス・イー」(~482年)
462年4月15日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王50年;北魏・和平3年3月|高句麗、北魏に遣使朝献
462年4月15日-09:00|日本/中国| ||劉宋・大明6年3月|倭王興が宋に遣使し、安東將軍倭国王の称号を受ける(「宋書」倭国伝)
462年6月13日-09:00|日本/韓国| ||新羅・慈悲5年5月|倭人が活発性(活開城)を襲って破った
463年3月6日-09:00|韓国/日本| ||新羅・慈悲6年2月|倭人が新羅の敵良城に侵入したが勝つことができず去った/王が待ち伏せし攻撃して大きく撃破
464年-05:45|ネーデル| |||<即位>リッパビ朝国王「Manadeva1世」(~505年)
464年-01:00|スペイン| |||<死去>スエビ王「Frumar」
464年-01:00|スペイン| |||<即位>ガルシア王「Remismund」再統一(~469年死去)
464年-01:00|マルタ/イタリア| |||マルタは東ゴート王国の一部(~533年)
464年 00:00|チャンネル諸島/フランス| |||ジャージー島、ガーンジー島、オルタニー島は北ガリアを統治するシアグリウスが統治(~486年)
464年7月12日-08:00|中国| ||劉宋・大明8年閏5月23日|<死去>宋第4代皇帝「世祖孝武帝(劉駿)」
464年7月12日-08:00|中国| ||劉宋・大明8年閏5月23日|<即位>宋第5代皇帝「前廢帝(劉子業)」16歳(~466年1月1日)
464年8月19日-08:00|中国| ||柔然・永康1年7月|<死去>柔然第6代可汗「処可汗(吐賀真)」
464年8月19日-08:00|中国| ||柔然・永康1年7月|<即位>柔然可汗国「受羅部真可汗(予成)」吐賀真の子(~485年死去)永康と改元(-485)
464年8月19日-08:00|中国| ||柔然・永康1年7月|柔然第7代可汗「受羅部真可汗(予成)」は、魏へ侵入したが、魏の北辺の鎮将が撃退
465年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツパン「アト・ケル・ゲシュナフ」ハロシ1世が指名したイラン貴族(~481年)
465年2月12日-08:00|中国| ||劉宋・永光1年|劉宋の前廢帝劉子業が永光と改元
465年3月13日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・長寿王53年;北魏・和平6年2月|高句麗、北魏に遣使朝献
465年3月13日-08:00|中国| ||劉宋・永光1年2月|二銖銭が鑄造された
465年4月12日-09:00|日本/韓国| ||新羅・慈悲8年3月|紀小弓宿禰、蘇我韓子宿禰、大伴談連、小鹿火宿禰を新羅に派遣/大伴談連は戦死、紀小弓宿禰は病死
465年6月20日-08:00|中国| ||北魏・和平6年5月11日|<死去>北魏第5代皇帝「高宗文成帝(拓跋濬)」
465年6月21日-08:00|中国| ||北魏・和平6年5月12日|<即位>北魏第6代皇帝「顯祖献文帝(拓跋弘)」12歳(~4710920讓位)
465年8月15日-01:00|イタリア| |||<死去>西ローマ皇帝「リキウス・セウルス」リキルにより暗殺される
465年9月6日-08:00|中国| ||劉宋・景和1年8月|劉宋の前廢帝劉子業が景和と改元
466年-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| |||<死去>西ゴート王国国王「テオドリク2世」暗殺される
466年-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| |||<即位>西ゴート王国国王「エウリック」(~04841228死去)
466年1月1日-08:00|中国| ||劉宋・景和1年11月29日|<死去>宋第5代皇帝「前廢帝(劉子業)」湘東王劉彧に殺害される
466年1月9日-08:00|中国| ||劉宋・泰始1年12月7日|<即位>宋第6代皇帝「太宗明帝(劉彧)」(~472年5月10日)、泰始(-471年)と改元
466年2月1日-08:00|中国| ||北魏・天安1年|<即位>武都君主「楊僧嗣」(~473年死去)
466年2月1日-08:00|中国| ||北魏・天安1年|<退位>武都君主「楊元和」亡命
466年2月1日-08:00|中国| ||劉宋・泰始2年|新銭(元嘉四銖と孝建四銖)の使用を禁止し、専ら古銭を流通させた
466年2月1日-08:00|中国| ||劉宋・泰始2年1月|晋安王子員は、尋陽にて帝位に即き義嘉と改元
466年2月1日-08:00|中国| ||北魏・天安1年1月|北魏の献文帝が天安(-467年8月)と改元
466年4月1日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・長寿王54年;北魏・天安1年3月|高句麗、北魏に遣使朝献
466年8月27日-08:00|中国| ||劉宋・泰始2年8月|沈悠之の諸軍が尋陽へ入城して、晋安王子員の首を斬り、建康へ送った/享年11
467年-05:30|インド| |||<即位>グプタ朝「フルグプタ」(~473年)
467年3月21日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王55年;北魏・天安2年2月|高句麗、北魏に遣使朝貢
467年4月12日-01:00|イタリア| |||<即位>西ローマ皇帝「アンティウス」東方正帝マルキアヌスの娘婿、東方正帝レオ1世によって西方正帝と宣言された(~04720711、西ローマ帝国の有力者リキルと争い、敗れて処刑された)
467年9月15日-08:00|中国| ||北魏・皇興1年8月|北魏の献文帝が皇興(-471年8月)と改元
467年10月14日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王55年;北魏・天安2年9月|高句麗、北魏に遣使朝献
467年12月12日-09:00|朝鮮/韓国/中国| ||高句麗・長寿王55年;;百濟・蓋鹵王13年11月|高句麗・百濟、宋に遣使して方物を献ず
468年-04:00|ジョージア| |||<即位>ラジカ王「ダムハニス」(~522年)
468年-01:00|チュニジア/トルコ| |||ヴァンダル王国軍がバシリス率いる東ローマ(ビザンティン)帝国艦隊を壊滅
468年-01:00|スペイン| |||エウリック王麾下の西ゴートがスペイン侵攻を開始
468年2月9日-08:00|中国| ||劉宋・泰始4年;北魏・皇興2年|魏の汝陽司馬趙懷仁が武津へ来寇、劉宋の劉面はこれを撃破/魏は義陽へ来寇したが劉面はこれも撃破
468年2月29日-01:00|バチカン| |||<死去>第46代ローマ教皇「ヒュルス」

0600迄 (2180件)

468年3月3日-01:00|バチカン| |||<就任>第47代ローマ教皇「シプリアヌ」(~4830310死去)
468年3月10日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・長寿王56年;新羅・慈悲11年2月|高句麗、靺鞨の兵を派遣して新羅の北辺を襲い、悉直城を攻め取る
468年4月8日-08:00|中国| ||劉宋・泰始4年;北魏・皇興2年3月|劉宋の劉面は、許昌にて魏軍を破った
468年5月8日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王56年;北魏・皇興2年4月|高句麗、北魏に遣使朝献
468年12月30日-08:00|中国| ||北魏・皇興2年;劉宋・泰始4年12月|魏軍は不其城を抜き、沈文静を殺し、東陽城の西郭へ入城
469年-01:00|スペイン| |||<死去>ガルス王「Remismund」
469年-01:00|ハンガリー/ルーマニア/ウクライナ/ロシア| |||<即位>フン族国王「イルナク」(~503年)
469年-01:00|イタリア| |||東ゴート族はドナウ川北岸に住むゲルマン諸族と戦い、勝利
469年1月29日-08:00|中国| ||北魏・皇興3年;劉宋・泰始5年1月|乙丑。魏軍は遂に東陽城を抜いた/冀州は全て北魏の版図へ入った
469年2月27日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・寿王57年;北魏・皇興3年2月|高句麗、北魏に遣使朝献
469年5月27日-08:00|中国| ||北魏・皇興3年;劉宋・泰始5年5月|北魏、宋から青州を奪う
469年8月23日-09:00|朝鮮/韓国| ||百濟・蓋鹵王15年;高句麗・長寿王57年8月|百濟兵が高句麗南鄙に侵入
470年-05:30|インド| |||<即位>ケプタ王国が分裂し衰退へ
470年-04:00|アルメニア| |||<即位>ゴガレネ公(ミヘリド朝)「ヴァルスケン」(~482年死去)
470年-01:00|イタリア| |||<即位>東ゴート王「ティウディミル」(~475年死去)
470年 00:00|イギリス| |||<即位>ゲウネス王「Einion Yrth ap Cunedda」(~500年)
470年 00:00|イギリス| |||<即位>ゲリウイシグ王「Glywys」son」Solarの息子(~480年)
470年3月1日-09:00|日本| ||雄略14年1月13日|中国・呉の国から職工や縫工が渡来、わが国の服飾文化に大きな影響をもたらす/「呉服」の名前はこれに由来
470年3月18日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王58年;北魏・皇興4年2月|高句麗、北魏に遣使朝献
470年7月14日-08:00|中国| ||北魏・皇興4年;柔然・永康7年6月|受羅部眞可汗は魏へ侵入/魏軍は大挙、諸將は献文帝と女水の浜で合流して柔然と戦い大勝利
470年12月9日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王58年;劉宋・泰始6年11月|高句麗、宋に遣使して方物を献ず
471年-01:00|イタリア| |||<即位>東ゴート王「テオトリク」(⇒493年イタリア王~5260830死去)
471年2月6日-09:00|日本| ||雄略15年|さきたま古墳群と稲荷山古墳がこのころ築造
471年2月6日-08:00|中国| ||北魏・皇興5年|<即位>ホ・クン王「婆羅二世」(~476年)
471年5月6日-08:00|中国| ||北魏・皇興5年4月|敕勒の諸部落が挙って造反/北魏の献文帝は、汝陰王天賜に討伐させたが、胡莫寒は魏軍を襲撃し、魏軍は敗北
471年9月20日-08:00|中国| ||北魏・延興1年8月20日|<譲位>北魏第6代皇帝「顯祖献文帝(拓跋弘)」
471年9月20日-08:00|中国| ||北魏・延興1年8月20日|<即位>北魏第7代皇帝「高祖孝文帝(元宏)」(~4990426死去)、延興(-476年6月)と改元
471年10月30日-08:00|中国| ||北魏・延興1年10月|北魏は造反した敕勒の鎮圧に源賀を派遣/源賀は大勝利
472年1月26日-09:00|韓国/中国| ||北魏・延興2年|百濟が北魏に初めて入貢し高句麗討伐を要請
472年2月25日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王60年;北魏・延興2年2月|高句麗、北魏に遣使朝貢
472年5月10日-08:00|中国| ||劉宋・泰豫1年4月17日|<死去>宋第6代皇帝「太宗明帝(劉彧)」
472年5月11日-08:00|中国| ||劉宋・泰豫1年4月18日|<即位>宋第7代皇帝「後廢帝・蒼梧王(劉昱)」(~477年8月1日)、泰豫と改元
472年7月11日-01:00|イタリア| |||<死去>西ローマ皇帝「アンティウス」西ローマ帝国の有力者リキルと争い、敗れて処刑された
472年7月11日-01:00|イタリア| |||<即位>西ローマ皇帝「オユブリウス」ヴァレンティニアヌス3世の娘婿(~04721102自然死)ガントル軍の協力を得て帝位を奪う
472年8月20日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王60年;北魏・延興2年7月|高句麗、北魏に遣使朝貢
472年11月2日-01:00|イタリア| |||<死去>西ローマ皇帝「オユブリウス」流行病に倒れる
472年12月16日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王60年;劉宋・泰豫1年11月|高句麗、宋に遣使して方物を献ず
473年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプラ王国国王「カシパ1世」ダートセナ王の息子、ダートセナを殺害し、王位を篡奪(~497年)
473年-05:30|インド| |||<即位>ケプタ朝「クマラケプタ2世」(~476年)
473年-01:00|スイス/フランス| |||<即位>ブルグント王「グントバルト」(リオン支配、480年以降全ブルグントの王~516年)、「キルペリク2世」(ヴァレンス支配~493年)、「ゴトマル1世」(グイエヌ支配~486年)、「ゴテギゼル」(グイエヌ及びジューネーグ支配~500年)
473年2月13日-08:00|中国| ||北魏・延興3年|<死去>武都君主「楊僧嗣」
473年2月13日-08:00|中国| ||北魏・延興3年|<即位>武都君主「楊文度」(~477.12戦死)
473年2月13日-08:00|中国| ||劉宋・元徽1年|劉宋の後廢帝劉昱が元徽(-477年)と改元
473年3月3日-01:00|イタリア| |||<即位>西ローマ皇帝「グリュケリウス」アエシス氏族出身、ブルグント族のグントバルト王の協力で帝位を奪い取る(~474.6.東方正帝レオ1世の支持を得たユリウス・ネースに追放される)
473年3月15日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王61年;北魏・延興3年2月|高句麗、北魏に遣使朝貢
473年9月8日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王61年;北魏・延興3年8月|高句麗、北魏に遣使朝献
474年1月18日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝「レオ1世」病死
474年1月19日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝「レオ2世」ゼノとレオ1世の娘アリアドネの子(~11.10病死)
474年2月3日-09:00|日本| ||雄略18年|物部菟代宿禰と物部目連を遣わし伊勢朝日郎を伐つ
474年4月3日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王62年;北魏・延興4年3月|高句麗、北魏に遣使朝貢

0600迄 (2180件)

474年6月-01:00|イタリヤ| |||<即位>西ローマ帝国皇帝「ユリウス・ネポス」東ローマ皇帝「レオ1世」の娘婿(~04750828, 軍司令官「ネポス」の裏切りで追放され、ダルマティアへ亡命~480年春亡命先で自らの護衛兵によって暗殺された)

474年6月-01:00|イタリヤ| |||<廃位>西ローマ皇帝「ユリウス・ネポス」に追放される(~480年以降「レオ」にて病没)

474年6月1日-08:00|中国| ||劉宋・元徽2年5月|桂陽王劉休範が反乱。蕭道成により鎮圧

474年7月30日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・長寿王62年;北魏・延興4年;劉宋・元徽2年7月|高句麗、北魏に遣使朝献/宋に遣使朝貢

474年8月28日-01:00|イタリヤ| |||<廃位>西ローマ帝国皇帝「ユリウス・ネポス」軍司令官「ネポス」の裏切りで追放され、ダルマティアへ亡命(~480年春亡命先で自らの護衛兵によって暗殺された)

474年11月10日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝「レオ2世」病死

474年11月10日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝「ゼノン」レオ2世の父(~04750109「バシリス」によって帝位を追われる)後見役として共同皇帝位にあったが、息子の死で単独の皇帝に即位

475年-05:30|インド| |||<即位>ヴァーカー朝「ヴァリッシュナ」マハラジャ「Harishena」(~500年)

475年-05:30|インド| |||<即位>ヴァリッシュナ朝「ヴァリッシュナ」マハラジャ「Vishnuvarma」(~485年)

475年-05:30|インド| |||<即位>ヴァリッシュナ朝「ヴァリッシュナ」マハラジャ「Mrigeshavarma」(~485年)

475年-05:30|インド| |||このころアジアンター第16、17、19窟が開掘

475年-01:00|フランス| |||西ゴート、エリック王法典編纂

475年1月9日-02:00|トルコ| |||<即位>ローマ帝国東方皇帝「レオ」対立皇帝「バシリス」レオ1世の義弟(~476.8廃位)

475年1月9日-02:00|トルコ| |||<廃位>ローマ帝国東方皇帝「レオ」対立皇帝「バシリス」によって帝位を追われる

475年1月23日-09:00|日本| ||雄略19年|未盗掘の石室の発見された倉敷市の勝負砂古墳がこのころ築造

475年1月23日-09:00|韓国| ||新羅・慈悲18年正月|新羅王は居所を明活城に移した

475年2月21日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王63年;北魏・延興5年2月|高句麗、北魏に遣使朝献

475年8月28日-01:00|イタリヤ| |||<退位>ローマ帝国西方皇帝「ユリウス・ネポス」が蛮族の軍師「ネポス」の裏切りで追放され、ダルマティアへ亡命

475年9月16日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王63年;北魏・延興5年8月|高句麗、北魏に遣使朝献

475年10月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・長寿王63年;百済・蓋鹵王21年9月|<死去>百済王「蓋鹵王」高句麗長寿王に漢城を攻められ城を逃れたが捕らえられ阿且城で処刑された

475年10月31日-01:00|イタリヤ| |||<即位>西ローマ皇帝「ロムルス・アウグストゥルス」蛮族の軍師「ネポス」の息子(~4760904退位に追い込まれ追放された)

475年11月14日-09:00|韓国| ||百済・文周王1年10月|<即位>百済王「文周王」熊津城へ遷都(~477年)

475年11月14日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王63年;劉宋・元徽3年10月|高句麗、宋に遣使して方物を献ず

476年-05:30|インド| |||<即位>ヴァリッシュナ朝「ヴァリッシュナ」(~495年)

476年-01:00|モロッコ/イタリヤ| |||モロッコ、トリエスタは「ヴァリッシュナ」の一部(~493年)

476年3月11日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王64年;北魏・延興6年2月|高句麗、北魏に遣使朝貢

476年5月9日-09:00|韓国| ||百済・文周王2年4月|耽羅が百済の文周王に朝貢

476年7月8日-09:00|韓国/日本| ||新羅・慈悲19年6月|倭人たちが新羅東部の辺境に侵入してきたので、王が將軍・徳智に命じて攻撃して打ち破った

476年7月21日-08:00|中国| ||北魏・承明1年6月14日|北魏の孝文帝が承明(-12月)と改元

476年8月-02:00|トルコ| |||<廃位>東ローマ帝国皇帝「レオ」対立皇帝

476年8月-02:00|トルコ| |||<復位>東ローマ帝国皇帝「ゼノン」コンスタンティノポリスに進軍して「バシリス」から帝位を奪回(~04910409病死)

476年8月6日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王64年;北魏・承明1年7月|高句麗、北魏に遣使朝貢

476年9月4日-01:00|イタリヤ| |||<即位>イタリヤ王「オドアケル」(ヘルル族の王)イタリヤ本土の支配権を奪取(~04930315暗殺)

476年9月4日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||<退位>西ローマ皇帝「ロムルス・アウグストゥルス」帝位を返上して追放され、以降、法律的には東方正帝が西方正帝を兼ねることとなるが、政治的には西方領土という概念自体が消失

476年10月4日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王64年;北魏・承明1年9月|高句麗、北魏に遣使朝献

477年-08:00|中国| |||<即位>高昌国王「伯周子か義成」か伯周の子(~478年殺される)

477年-01:00|フランス/スペイン| |||西ローマ帝国が滅びると、西ゴート、エリック王は混乱に乗じてフランスの中部からイベリア半島の南部まで勢力圏を広げた

477年 00:00|イタリヤ| |||<即位>サキス王「アエ」(~514年)

477年1月25日-01:00|チュニジア| |||<死去>ヴァンダル王国国王「ゲンテリック」

477年1月25日-01:00|チュニジア| |||<即位>ヴァンダル王国国王「フネリック」(~4841223死去)

477年1月30日-08:00|中国| ||北魏・太和1年|<即位>ホトクハ王「散瞿羅摩三世」(~499年)

477年1月30日-08:00|中国| ||北魏・太和1年1月|北魏の孝文帝が太和(-499年12月)と改元

477年3月1日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王65年;北魏・太和1年2月|高句麗、北魏に遣使朝献

477年5月28日-09:00|韓国/日本| ||新羅・慈悲20年5月|倭人の軍隊が挙兵して、五道を新羅に通って侵入したが、結局何らの成果なくひきあげた

477年8月1日-08:00|中国| ||劉宋・昇明1年7月7日|<死去>宋第7代皇帝「後廢帝・蒼梧王(劉昱)」蕭道成の命により殺害・廃立される

477年8月5日-08:00|中国| ||劉宋・昇明1年7月11日|<即位>宋第8代皇帝「順帝(劉準)」(~479年5月27日)昇明(-479年)と改元

477年9月23日-09:00|韓国| ||百済・文周王3年9月|<死去>百済王「文周王」暗殺された

477年9月23日-09:00|韓国| ||百済・三斤王1年9月|<即位>百済王「三斤王」(~479年)

0600迄 (2180件)

477年9月23日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王65年;北魏・太和1年9月|高句麗、北魏に遣使朝貢
477年11月22日-08:00|中国/日本| ||劉宋・昇明1年11月|倭王武が宋に遣使し朝貢
477年12月21日-08:00|中国| ||北魏・太和1年12月|<死去>武都君主「楊文度」戦死
477年12月21日-08:00|中国| ||北魏・太和1年12月|<即位>陰平君主「楊広香」自立(~481年死去)
478年-05:30|インド| |||このころヴァーカー朝リハシェナが西部インドを支配
478年2月18日-09:00|韓国| ||百済・三斤王2年|解仇は恩率の燕信とともに大豆城に拠って反乱/三斤王は佐平の真男、徳率の真老を派遣して討伐させた/解仇は殺され、燕信は高句麗に亡命
478年2月18日-08:00|中国| ||高昌・加首婦1年|<死去>高昌国王「伯周子か義成」殺される
478年2月18日-08:00|中国| ||高昌・加首婦1年|<即位>高昌国王「か首婦」義成兄(~488年殺される)
478年2月18日-08:00|中国| ||北魏・太和2年|<即位>武興君主「文王楊文弘」(~482年死去)
478年6月16日-09:00|日本/中国| ||劉宋・昇明2年5月|倭王武(雄略天皇?)が宋に上表文を送り、使持節郡督倭・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓六国諸軍事安東大將軍倭王の称号を受ける(「宋書」倭国伝)
478年8月20日-09:00|日本| ||雄略22年7月7日|豊受大神宮・外宮創建(三重県伊勢市)>豊受大御神を祀る>
479年1月9日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王66年;劉宋・昇明2年12月|高句麗、宋に遣使して方物を献ず
479年2月7日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・長寿王67年;柔然・永康16年|契丹の莫賀弗勿干、高句麗と柔然に攻められる
479年3月11日-09:00|韓国| ||新羅・慈悲22年2月3日|<死去>新羅王「慈悲麻立干王」
479年3月11日-09:00|韓国| ||新羅・ショウ知1年2月3日|<即位>新羅王「知麻立干」(~500年)
479年4月8日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王67年;北魏・太和3年3月|高句麗、北魏に遣使朝献
479年5月7日-09:00|日本/韓国| ||雄略23年4月|筑紫の安致臣・馬飼臣らが船軍を率いて高麗を討った
479年5月27日-08:00|中国| ||劉宋・昇明3年4月21日|<退位>宋第8代皇帝「順帝(劉準)」/宋は滅亡
479年5月29日-08:00|中国| ||南齊・建元1年4月23日|<即位>齊初代皇帝「太祖高帝(蕭道成)」(~482年4月11日)
479年6月6日-09:00|韓国/中国| ||南齊・建元1年5月|加羅国王荷知、齊に遣使朝献。齊、荷知に輔国將軍・本国王を受ける
479年10月2日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王67年;北魏・太和3年9月|高句麗、北魏に遣使朝献
479年11月30日-09:00|韓国| ||百済・三斤王3年11月|<死去>百済王「三斤王」
479年11月30日-09:00|韓国| ||百済・東城王1年11月|<即位>百済王「東城王」(~501年)
480年-07:00|ベトナム| |||<死去>チャンパ王「范神成」
480年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「范当根純」(~492年死去)
480年-05:30|インド| |||<即位>ハール朝君主「Nandivarman1世」(~510年)
480年-04:00|アルメニア| |||<即位>カートマン公(ミヘリド朝)「アルマイル」(~510年)
480年-01:00|スイス/フランス| |||<死去>ブルグント王「キルパリク1世」(対立王)
480年 00:00|イギリス| |||<即位>グウェント王「Iddon ap Ynyr」(~490年)
480年 00:00|イギリス| |||<即位>グリンウイグ王「Gwynllwy」Glywysの息子(~523年),「Pawl」Glywysの息子(~540年),「Mechwyn」Glywysの息子(~500年)
480年 00:00|イギリス| |||<即位>ビクト王「Drest Gurthinmoch」(~510年)
480年3月27日-09:00|韓国/中国| ||百済・東城王2年;南齊・建元2年3月|百済、南齊に遣使
480年4月25日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>元ローマ帝国西方皇帝ユリウス・ネポスがオクトアルに刺客を送られ、暗殺される
480年4月25日-08:00|中国| ||北魏・太和4年4月|徐州の住民桓標之等の反乱が魏軍に滅ぼされた
480年12月-01:00|クロアチア/イタリア| |||フィウメ、ダルマチアはイタリアのオクトアル王国の一部(~493年3月5日)
480年12月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・ショウ知2年11月|靺鞨が北部辺境(国境)を侵入
481年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツバン「サハク2世バグラトゥニ」反乱アルメニア貴族によって選ばれたアルメニア貴族(~482年アケサの戦いで戦死)
481年-01:00|イタリア| |||東ゴート族テオドリクと対抗していたもう一人の王が死去/テオドリクは東ゴート族唯一の王となった
481年2月15日-08:00|中国| ||北魏・太和5年|<死去>陰平君主「楊広香」
481年2月15日-08:00|中国| ||吐谷渾・度易侯1年|<即位>吐谷渾第13代可汗「度易侯」第12代可汗「拾寅」の子(~490年)
481年4月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・ショウ知3年;高句麗・長寿王69年3月|高句麗と靺鞨が新羅北部国境に攻めてきて、狐鳴城など七城を奪った/百済・伽倻の援軍と協力し阻んだ/賊軍が敗退
482年-04:00|アルメニア| |||<死去>アルメニアのマルツバン「サハク2世バグラトゥニ」アケサの戦いで戦死
482年-04:00|アルメニア| |||<死去>ゴガレーネ公(ミヘリド朝)「ウアルスケン」
482年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツバン「シャール・ミラン」(~482年)イランの軍事占領=>「ヴァハン1世マミコリアン」臨時政府の長(~483年)
482年-04:00|アルメニア| |||<即位>ゴガレーネ公(ミヘリド朝)「アルシュシャ3世」(~540年)
482年-02:00|トルコ| |||東ローマのゼノン帝がヘテロノム(統一勅令)を発布
482年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「ルガイト・マック・ロギリ」(~507年)
482年1月6日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王69年;南齊・建元3年12月|高句麗、齊に遣使朝貢
482年2月4日-08:00|中国| ||北魏・太和6年|<死去>武興君主「文王楊文弘」
482年2月4日-08:00|中国| ||北魏・太和6年|<即位>武興君主「順王楊後起」(~486年死去)
482年4月11日-08:00|中国| ||南齊・建元4年3月8日|<死去>齊初代皇帝「太祖高帝(蕭道成)」
482年4月11日-08:00|中国| ||南齊・建元4年3月8日|<即位>齊第2代皇帝「世祖武帝(蕭武帝)」(~493年8月27日)

0600迄 (2180件)

482年6月2日-09:00|韓国/日本| ||新羅・ソウ知4年5月|倭人が新羅の辺境に侵入
483年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツバン「サルミール・カレン」(~483年イランの軍事占領)⇒「レイのシャプール」ペロシ1世が指名したイラン貴族(~484年)
483年1月24日-08:00|中国| ||北魏・太和7年|<即位>陰平君主「楊炅」(~495年死去)
483年1月24日-08:00|中国| ||南齊・永明1年|南齊の武帝が永明(-493年)と改元
483年3月10日-01:00|パチカン| ||<死去>第47代ローマ教皇「シンプリキウス」
483年3月13日-01:00|パチカン| ||<就任>第48代ローマ教皇「フェリクス3世」(~4920301死去)
484年-07:00|カンボジア| ||<即位>扶南王「ジャヤヴァルマン・カウンティニヤ」(~514年)
484年-04:30|アフガニスタン/イラン| ||エフタルがササン朝ペルシアと交戦
484年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツバン「ヴァハク1世マミコニアン」ペロシ1世によって指名されたアルメニア貴族(第2期~505年)
484年-03:30|イラン/イラク| ||<死去>ササン朝第20代シャハーンシャー「ペーローズ1世」
484年-03:30|イラン/イラク| ||<即位>ササン朝第21代シャハーンシャー「バラーシュ1世」(~488年)
484年-01:00|パチカン| ||ローマ教会とギリシア正教会が分裂
484年7月9日-08:00|中国| ||北魏・太和8年6月|北魏が百官の俸祿制を行なう
484年8月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・知麻立干6年;高句麗・長寿王72年7月|高句麗が新羅北部国境に侵入したので、我が軍は百済と協力して母山城付近で攻撃して(高句麗軍を)撃破
484年11月4日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王72年10月|高句麗、北魏に遣使朝貢
484年12月23日-01:00|チュニジア| ||<死去>ヴァンダル王国国王「フネリク」
484年12月23日-01:00|チュニジア| ||<即位>ヴァンダル王国国王「ゲントムント」(~496年死去)
484年12月28日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||<死去>西哥ート王国国王「エリク」
484年12月28日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||<即位>西哥ート王国国王「アフリク2世」(~507年春ヴァイエの戦いで戦死)
485年-08:00|中国| ||<死去>柔然可汗国「受羅部真可汗(予成)」
485年-08:00|中国| ||<即位>柔然第8代可汗「伏古敦可汗(豆嵩)」予成の子(~492年8月殺される)/太平と改元(-492)
485年-05:30|インド| ||<即位>カダンバ朝(トリハーンガアサ)マハラジャ「Simhavarma」(~516年)
485年-05:30|インド| ||<即位>カダンバ朝(ハナハシ)マハラジャ「Ravivarma」(~519年)
485年 06:00|ホッヅェウス| ||<即位>コハーン王「ク・イシュ」(~495年)
485年2月1日-08:00|中国| ||北魏・太和9年|北魏が均田法を公布する
485年5月30日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王73年;北魏・太和9年5月|高句麗、北魏に遣使朝貢
485年5月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・東城王7年5月|百済、新羅に使者を遣わす
485年10月25日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王73年;北魏・太和9年10月|高句麗、北魏に遣使朝貢
485年12月23日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王73年;北魏・太和9年12月|高句麗、北魏に遣使朝貢
486年-02:00|ヨルダン| ||<即位>ガッサン王「アル=ハリス4世バシム・ヒズル」(~512年)
486年-01:00|イタリア/トルコ| ||東ゴート族テオドリックと東ローマ皇帝ゼノンの関係が悪化/テオドリックの率いる東ゴート族軍は、トナリに侵入して略奪
486年-01:00|フランス| ||ソアツンの戦いでフランクのクローヴィスがローマ軍を破り領土拡大
486年 00:00|チャンネル諸島/フランス| ||ジャージー島、ガーンジー島、オルタニー島はフランク王国の一部
486年 06:00|グアテマラ| ||<即位>ティカル王「チャック・トゥク・イチャク2世」(~508年)
486年1月21日-08:00|中国| ||北魏・太和10年|<死去>武興君主「順王楊後起」
486年1月21日-08:00|中国| ||北魏・太和10年|<即位>武興君主「安王楊集始」(~503年死去)
486年1月21日-08:00|中国| ||南齊・永明4年|造反人の唐寓之が銭唐を攻略し、皇帝を潜称/更に、高道度等に東陽を攻略させる/南齊の武帝は唐寓之を攻撃させ壊滅
486年3月21日-08:00|中国| ||北魏・太和10年2月|北魏が三長制を行なう
486年4月20日-09:00|韓国/中国| ||百済、齊に遣使朝貢
486年5月19日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王74年;北魏・太和10年4月|高句麗、北魏に遣使朝貢
486年5月19日-09:00|韓国/日本| ||新羅・ソウ知8年4月|倭人が新羅の国境を侵犯
487年-01:00|イタリア/トルコ| ||東ゴート族テオドリック王指揮下の東ゴート族軍がコンスタンティノールを攻撃したが東ローマ皇帝ゼノンの講和が成立し軍を退いた
487年2月9日-08:00|モンゴル/中国| ||北魏・太和11年|<即位>高車国(阿伏至羅国)国王「阿伏至羅」「窮奇(阿伏至羅の弟)」柔然の支配を脱し、ジュンガリア地方に移り、高車国をたてる
487年4月9日-09:00|韓国| ||新羅・ソウ知9年3月|全国に郵駅を初めて設置し、担当官庁に命じて官道を修理させた
487年6月7日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・長寿王75年;北魏・太和11年5月|高句麗、北魏に朝貢
487年9月4日-08:00|中国| ||北魏・太和11年;柔然・太平3年8月|魏は柔然を攻撃し大勝利
488年-05:30|インド| ||このころマイトラ朝がサラーシュトラで興る
488年-03:30|イラン/イラク| ||<即位>ササン朝第22代シャハーンシャー「カワード1世」(~496年)
488年 00:00|イギリス| ||<即位>ケント王「Oisc」Hengest又はOctaの息子(~512年)
488年1月29日-08:00|中国| ||高昌・加首帰11年|<死去>高昌国王「加首帰」殺される
488年1月29日-08:00|中国| ||高昌・加首帰11年|<即位>高昌国王「張孟明」(~496年殺される)高車によって立てられる

0600迄 (2180件)

488年1月29日-09:00|韓国| ||新羅・ソウ知10年1月|王が月城に移り住んだ
488年2月28日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王76年;北魏・太和12年2月|高句麗、北魏に朝貢
488年4月27日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王76年;北魏・太和12年4月|高句麗、北魏に朝貢
488年9月22日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王76年;北魏・太和12年閏8月|遣使を魏に送って朝貢
489年2月16日-08:00|中国| ||高昌・建初1年|高昌のか首婦が建初(-491年)と改元
489年2月16日-09:00|韓国| ||新羅・ソウ知11年1月|新羅王が月城に移り住んだ
489年3月18日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・寿王77年;北魏・太和13年2月|高句麗、北魏に朝貢
489年7月14日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王77年;北魏・太和13年6月|高句麗、北魏に朝貢
489年8月28日-01:00|イタリヤ| ||東ゴート王テオデリックがオドアル軍とのイソントの戦いに勝利/テオデリック軍はイタリヤに侵入
489年9月-01:00|イタリヤ| ||東ゴート王テオデリックがオドアル軍とヴェローナで再び戦ったが、またもやテオデリックが勝利
489年10月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・長寿王77年;新羅・ソウ知11年9月|高句麗、兵を送って新羅の北辺を侵し、狐山城を陥落させた
489年11月9日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王77年;北魏・太和13年10月|高句麗、北魏に朝貢
490年-05:30|インド| ||西インド、ヴァシ朝おこる(743)
490年-01:00|イタリヤ| ||東ゴート王テオデリックがイタリヤ各地を占領、オドアルが籠城するラヴェンナを包囲
490年 00:00|イギリス| ||<即位>ケレディガン王「サーウル」(~525年)
490年2月6日-09:00|日本| ||仁賢3年|伊勢神宮の創始がこのころ
490年2月6日-09:00|日本| ||仁賢3年|石上神社がこのころ創建
490年2月6日-09:00|日本| ||仁賢3年|断夫山古墳(名古屋市)がこのころ築造
490年2月6日-08:00|中国| ||吐谷渾・伏連壽1年|<即位>吐谷渾第14代可汗「伏連壽」第13代可汗「度易侯」の子(~529年)
490年8月2日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王78年;北魏・太和14年7月|高句麗、北魏に朝貢
490年9月30日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王78年;北魏・太和14年9月|高句麗、北魏に朝貢
491年-05:30|エリトリア| ||エリトリアでこのころシギリアの絵画が作成
491年-01:00|チュニジア/イタリヤ| ||北アフリカのヴァンダル族が、軍をシリアに上陸させたが東ゴート族軍がヴァンダル族軍を駆逐
491年4月9日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝「ゼノン」病死(ハ朝の血統断絶)
491年4月11日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝「アスタシウス1世」枢密院警護長、ゼノンの皇后アリアドネに選ばれ結婚することで、皇帝として即位(~05180709死去)
491年5月24日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王79年;北魏・太和15年5月|高句麗、北魏に朝貢
491年10月19日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・長寿王79年;北魏・太和15年9月|高句麗、北魏に朝貢
492年-07:00|ベトナム| ||<死去>チャン王「范当根純」
492年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャン王「范諸農」(~498年死去)
492年1月15日-09:00|朝鮮| ||高句麗・長寿王80年12月|<死去>第20代高句麗王「長寿王」98歳(誕生394年)
492年2月14日-09:00|韓国| ||百濟・東城王14年|<即位>伽耶王「鉗知王(肅王)」(~521年)
492年2月14日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明1年|<即位>高句麗王「文咨明王」(~519年)
492年3月1日-01:00|バチカン| ||<死去>第48代ローマ教皇「フェリクス3世」
492年3月1日-01:00|バチカン| ||<就任>第49代ローマ教皇「ゲラシウス1世」(~4961121死去)
492年4月13日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明1年;北魏・太和16年3月|高句麗、北魏に遣使朝貢
492年5月13日-08:00|中国| ||北魏・太和16年4月|北魏が新律令を發布し、華化政策を進める
492年7月11日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明1年;北魏・太和16年6月|高句麗、北魏に朝貢
492年8月-08:00|中国| ||魏は柔然へ攻め込み、大磧にて大勝利
492年9月8日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明1年;北魏・太和16年8月|高句麗、北魏に朝貢
492年9月8日-08:00|中国| ||柔然・太安1年8月|<死去>柔然第8代可汗「伏古敦可汗(豆嵩)」国人等に殺される
492年9月8日-08:00|中国| ||柔然・太安1年8月|<即位>柔然第9代可汗「候其伏代庫者可汗(那蓋)」豆嵩の叔父(~506年死去)/太安と改元(-506)
492年11月6日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明1年;北魏・太和16年10月|高句麗、北魏に朝貢
493年-01:00|モロッコ/イタリヤ| ||モロッコは東ゴート族が支配(~553年)
493年-01:00|リヒテンシュタイン/イタリヤ| ||リヒテンシュタインは東ゴート族による支配(~537年)
493年3月5日-01:00|イタリヤ| ||東ゴート王テオデリックがラヴェンナに無血入城
493年3月5日-01:00|クロアチア/イタリヤ| ||フィウメ、トリエステは東ゴート王国の一部(~539年)
493年3月15日-01:00|イタリヤ| ||<死去>イタリヤ王「オドアル」ラヴェンナで暗殺される
493年3月15日-01:00|イタリヤ| ||<即位>イタリヤ王「テオデリック」東ゴート王が統治(~05260830死去)
493年3月15日-01:00|クロアチア/イタリヤ| ||ダルマチアは東ゴート族が支配(~535年)
493年6月30日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明2年;北魏・太和17年6月|高句麗、北魏に遣使朝貢
493年8月27日-08:00|中国| ||南齊・永明11年7月30日|<死去>齊第2代皇帝「世祖武帝(蕭𦣻)」
493年8月27日-08:00|中国| ||南齊・永明11年7月30日|<即位>齊第3代皇帝「廢帝鬱林王(蕭昭業)」(~494年9月7日)
493年10月26日-08:00|中国| ||北魏・太和17年10月|北魏が平城より洛陽に遷都する
494年-05:30|インド| ||トーマナが西北インドに侵入
494年-01:00|ナミビア| ||このころバンツワ系諸族がナミビア北部に移動
494年1月22日-08:00|中国| ||南齊・隆昌1年|南齊の鬱林王蕭昭業が隆昌(-7月)と改元

0600迄 (2180件)

494年1月23日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明3年|<死去>北扶餘国王「孁王」
494年1月23日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明3年;北魏・太和18年1月|高句麗、北魏に朝貢
494年2月21日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明3年2月|扶余国王、高句麗に來降
494年8月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・ソウ知16年6月|將軍実竹などが高句麗軍と薩水の河原で戦ったが、勝つことができず、退いて犬牙城を確保/高句麗軍が包圍、百濟東城王が軍隊を派遣し包圍から解救した
494年8月17日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明3年;新羅・ソウ知16年7月|高句麗軍、新羅辺境に侵入し、城を圍む。百濟の援軍到來により、高句麗軍退却
494年8月17日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明3年;北魏・太和18年7月|高句麗、北魏に朝貢
494年9月7日-08:00|中国| ||南齊・延興1年7月22日|<死去>齊第3代皇帝「廢帝鬱林王(蕭昭業)」弒逆(享年22)される
494年9月10日-08:00|中国| ||南齊・延興1年7月25日|<即位>齊第4代皇帝「廢帝海陵王(蕭昭文)」15才(〜11月23日)延興と改元
494年11月23日-08:00|中国| ||南齊・建武1年10月10日|<廢位>齊第4代皇帝「廢帝海陵王(蕭昭文)」海陵王に降される
494年12月22日-08:00|中国| ||南齊・建武1年11月10日|<即位>齊第5代皇帝「高祖明帝(蕭鸞)」(〜498年9月1日),建武(〜498年)と改元
495年-05:30|インド| ||<即位>グプタ朝「ナリシハクブダ」(〜530年)
495年-03:00|サングアラビヤ| ||クライシュ族がクワイに率いられてメッカに定住
495年 00:00|イタリヤ| ||<即位>ヴァンダル王「Vortipor」(〜540年)
495年1月12日-08:00|中国| ||北魏・太和18年12月|北魏、胡服を禁止
495年2月11日-08:00|中国| ||北魏・太和19年|<死去>陰平君主「楊炅」
495年2月11日-08:00|中国| ||北魏・太和19年|北魏、太和五銖錢鑄造
495年3月7日-08:00|中国| ||南齊・建武2年;北魏・太和19年1月25日|乙未、拓跋珪が鍾離を攻撃、徐州刺史蕭惠休がそれを撃破/劉劭と王肅は義陽を攻撃し、齊の司州刺史蕭誕の軍を破り、齊兵万余人を降伏させた/蕭誕は蕭衍軍と突撃し魏軍を撃破
495年3月12日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明4年;北魏・太和19年2月|高句麗、北魏に朝貢
495年4月11日-08:00|中国| ||南齊・建武2年;北魏・太和19年3月|魏軍は退却、齊軍が軍艦を出して攻撃を仕掛けたが軍主の溪康生が白兵戦を挑み齊軍は敗走
495年6月9日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明4年;北魏・太和19年5月|高句麗、北魏に朝貢
495年9月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・文咨明4年8月|高句麗が百濟の雉壤城を包圍したので新羅王が將軍・德智に命じて、軍隊を率いて救援させ高句麗軍は潰滅
496年-03:30|イラン/イラク| ||<即位>ササン朝第23代シャハーン「シヤーマース」(〜498年)
496年-01:00|チュニジア| ||<死去>ヴァンダル王国国王「ゲンティムント」
496年-01:00|チュニジア| ||<即位>ヴァンダル王国国王「トラムント」(〜523年死去)
496年1月31日-08:00|中国| ||高昌・馬儒1年|<死去>高昌国王「張孟明」殺される
496年1月31日-08:00|中国| ||高昌・馬儒1年|<即位>高昌国王「馬儒」(〜501年)
496年1月31日-08:00|中国| ||北魏・太和20年1月|<即位>陰平君主「楊崇祖」(〜511年死去)
496年7月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・ソウ知18年;高句麗・文咨明5年7月|高句麗が牛山城を攻撃/將軍実・実竹が泥河街で攻撃して破った
496年11月21日-01:00|バチカン| ||<死去>第49代ローマ教皇「ゲラシウス1世」
496年11月24日-01:00|バチカン| ||<就任>第50代ローマ教皇「アスタシウス2世」(〜4981119死去)
497年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプラ王国国王「Moggallana1世」Dhatusenaの息子/Kasyapaの兄弟(〜515年)
497年-01:00|イタリア/トルコ| ||東ローマ帝国の皇帝アスタシウスは、テオドリックをイタリアの支配者と認めた
497年5月17日-09:00|韓国/日本| ||新羅・ソウ知19年4月|倭人が新羅辺境を侵犯
497年9月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・文咨明6年;新羅・ソウ知19年8月|高句麗軍は新羅の牛山城を攻撃して陥落させた
498年-07:00|ベトナム| ||<死去>チャンパ王「范諸農」
498年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャンパ王「范文款」(〜508年死去)
498年-03:30|イラン/イラク| ||<復位>ササン朝第24代シャハーン「カワド1世」(〜05310913死去)
498年 00:00|イタリヤ| ||<即位>ヴァルリア王「Fergus mor mac Eirc」建国(〜501年死去)
498年5月7日-08:00|中国| ||南齊・永泰1年4月|南齊の明帝蕭鸞が永泰と改元
498年9月1日-08:00|中国| ||南齊・永泰1年7月30日|<死去>齊第5代皇帝「高祖明帝(蕭鸞)」
498年9月1日-08:00|中国| ||南齊・永泰1年7月30日|<即位>齊第6代皇帝「廢帝東昏侯(蕭宝卷)」(〜永元3年(501年)12月)
498年9月2日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・文咨明7年;北魏・太和22年8月|高句麗、北魏に朝貢
498年9月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||百濟・東城王20年8月|耽羅(濟州島)が百濟に服属
498年11月19日-01:00|バチカン| ||<死去>第50代ローマ教皇「アスタシウス2世」
498年11月22日-01:00|バチカン| ||<就任>第51代ローマ教皇「シマクス」(〜5140719死去)、対立教皇「ラレンティウス」(〜499年退位〜502年復位〜5060800追放)
499年-05:30|インド| ||インドのアルパタ(23)が、数学、天文学、曆学に関する大作『アルパティヤ』を著す
499年-01:00|バチカン| ||<退位>対立ローマ教皇「ラレンティウス」(〜502年復位〜5060800追放)
499年1月28日-08:00|中国| ||北魏・太和23年;南齊・永元1年|南齊の陳顥達が魏の元英と戦い魏を打ち破っている

0600迄 (2180件)

た/孝文帝は親征し、これを撃破して洛陽へ戻る

499年1月28日-08:00|中国| ||南齊・永元1年|南齊の東昏侯蕭宝卷が永元(-501年)と改元
499年4月26日-08:00|中国| ||北魏・太和23年4月1日|<死去>北魏第7代皇帝「高祖孝文帝(元宏)」/享年33
499年5月7日-08:00|中国| ||北魏・太和23年4月12日|<即位>北魏第8代皇帝「世宗宣武帝(元恪)」(~5150212死去)
499年5月26日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・文咨明8年;北魏・太和23年5月|高句麗、北魏に遣使朝貢
500年-05:30|インド| ||<建国>ジャインティア国
500年-05:30|インド| ||<即位>チャール7朝国王「Jayasimha」(~520年)
500年-05:00|ササニヤン/キルギス/タジキスタン/トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||このころからトルコ系諸族が西域へ勢力を拡大
500年-02:00|ウクライナ| |||クリミアはゴート族によって再支配(~750年)
500年 00:00|イギリス| |||<即位>ゲウイニス王「Cadwallon Lawhir ap Einion」(~534年死去)
500年 10:00|ポロニア/ペルー| |||このころ、ポロニア人がイースター島に到達
500年2月15日-09:00|日本| ||武烈2年|このころ、カス像埴輪の井辺八幡山古墳が築造
500年2月15日-08:00|モンゴル/中国| ||北魏・景明1年|<即位>高車国(阿伏至羅国)国王「跋利延」(~508年殺される)
500年2月15日-08:00|中国| ||北魏・景明1年|<即位>ホタン王「舍都羅」(~29年)
500年2月15日-08:00|中国| ||北魏・景明1年1月|北魏の宣武帝が景明(-504年1月)と改元
500年5月14日-09:00|韓国/日本| ||新羅・炤知22年4月|倭人が新羅の長峰鎮を攻撃して陥落させた
500年9月9日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・文咨明9年;北魏・景明1年8月|高句麗、北魏に朝貢
500年12月7日-09:00|韓国| ||新羅・炤知22年11月|<死去>新羅王「知麻立干王」
500年12月7日-09:00|韓国| ||新羅・智證1年11月|<即位>新羅王「智證王」(~514年)
501年 00:00|イギリス| |||<死去>ダールミア王「Fergus mor mac Eirc」
501年 00:00|イギリス| |||<即位>ダールミア王「Domangart mac Fergusus」(~507年)
501年2月4日-08:00|中国| ||高昌・馬儒6年|<即位>高昌国王「高昌昭武王麹嘉」馬儒を殺して即位(~525年)
501年4月14日-08:00|中国| ||南齊・中興1年3月11日|<即位>齊第7代皇帝「和帝(蕭宝融)」(~502年4月30日)/中興(-502年)と改元
501年4月14日-08:00|中国| ||南齊・中興1年3月11日|<廃位>齊第6代皇帝「廢帝東昏侯(蕭宝卷)」
501年5月3日-08:00|中国| ||南齊・中興1年4月|南齊の咸陽王禧が王妃の兄の給事黃門侍郎李伯尚、王楊集始、楊靈裕、乞伏馬居等と謀反を企て、捕まって自殺
501年12月26日-09:00|韓国| ||百濟・東城王23年12月|<死去>百濟王「東城王」11月衛士佐平のハカの放った刺客に刺され
501年12月26日-09:00|韓国| ||百濟・武寧王1年12月|<即位>百濟王「武寧王」(~523年)
502年-06:30|ミャンマー| |||ビルマでモン族のトウガアハティ王国が興隆
502年-03:30|イラン/トルコ| |||ササン朝ペルシアが東ローマ帝国と開戦
502年-01:00|パチン| |||<復位>対立ローマ教皇「ラレンティウス」(~5060800追放)
502年1月24日-08:00|中国| ||高昌・承平1年|高昌昭武王麹嘉が承平(-510年)と改元
502年4月30日-08:00|中国| ||南梁・天監1年4月8日|<譲位>齊第7代皇帝「和帝(蕭宝融)」=><即位>梁第1代皇帝「高祖武帝(蕭衍)」(~549年6月12日)、天監(-519年)と改元
503年2月12日-08:00|中国| ||北魏・景明4年|<死去>武興君主「安王楊集始」
503年2月12日-08:00|中国| ||北魏・景明4年|<即位>武興君主「閔王楊紹先」(~535年)
503年8月8日-08:00|中国| ||南梁・天監2年7月|梁で塩の解禁を廃止し、再び専売制とした
503年11月5日-09:00|韓国| ||新羅・智證4年10月|新羅で国号と王号が定められる/これまでの斯羅、斯盧、新羅などの国の号が新羅に統一される
504年 06:00|ホッソユス| |||<即位>コパン王「睡蓮ジャガー」(~544年)
504年2月1日-08:00|中国| ||北魏・正始1年1月|北魏の宣武帝が正始(-508年8月)と改元
504年4月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・智證5年4月|喪服に関する法を制定して頒布して施行
505年-05:45|ネパール| |||<即位>リッチャビ朝国王「Mahideva」(~506年)
505年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツァン「ヴァルト・マミコヤン」ヴァハーン1世の兄弟(~509年)
505年2月19日-09:00|韓国| ||新羅・智證6年2月|新羅王が国内の州・郡・県を定めた/悉直州を設置して異斯夫を軍主にした
506年-05:45|ネパール| |||<即位>リッチャビ朝国王「Vasantadeva」(~532年)
506年2月9日-08:00|中国| ||柔然・始平1年|<死去>柔然第9代可汗「候其伏代庫者可汗(那蓋)」
506年2月9日-08:00|中国| ||柔然・始平1年|<即位>柔然第10代可汗「他汗可汗(伏図)」那蓋の子(~508年殺される)
506年8月-01:00|パチン| |||<追放>対立ローマ教皇「ラレンティウス」
507年-01:00|ドイツ| |||<即位>テューリンゲン王「Hermanafrit」(~531年)
507年-01:00|スペイン| |||西ゴート王国フランク王国とブレイの戦いに敗北、スペインのみの統治に
507年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「ミウアチルタッハ・マック・ミイルダグ」(~534年)
507年 00:00|イギリス| |||<即位>ダールミア王「Comghall mac Domangairt」(~542年死去)
507年1月7日-09:00|日本| ||武烈8年12月8日|第25代天皇武烈天皇、死去/18歳(誕生:(仁賢)2(489))
507年3月-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| |||春<死去>西ゴート王国国王「アリク2世」ブレイの戦いで戦死
507年3月-01:00|スペイン| |||春<即位>西ゴート王国国王「ゲサリック」(~511年殺害される)
507年3月3日-09:00|日本| ||継体1年2月4日|<即位>第26代天皇「継体天皇」(~継体天皇25年2月7日(05310310))
507年4月11日-09:00|日本| ||継体1年3月14日|尾張草香の娘日子媛が、継体天皇の妃となった/のちの安閑・宣

0600迄 (2180件)

化天皇の母

508年-07:00|バトナム| |||<死去>チャンパ王「范文款」
508年-07:00|バトナム| |||<即位>チャンパ王「范文凱」(~520年死去)
508年-01:00|フランス/イタリア| |||東ゴート族軍が南ガリアに於いてフランク族軍を破り、プロヴァンスを領有
508年2月17日-08:00|モンゴル/中国| ||北魏・正始5年|<死去>高車国(阿伏至羅国)国王「跋利延」殺される
508年2月17日-08:00|中国| ||柔然・建昌1年|<死去>柔然第10代可汗「他汗可汗(伏図)」高車に殺される
508年2月17日-08:00|モンゴル/中国| ||北魏・正始5年|<即位>高車国(阿伏至羅国)国王「弥俄突」窮奇の子(~516年殺される)
508年2月17日-08:00|中国| ||柔然・建昌1年|<即位>柔然第11代可汗「豆羅伏跋豆伐可汗(醜奴)」伏図の子(~520年殺される)/建昌と改元(-520)
508年2月17日-08:00|中国| ||南梁・天監7年1月|梁が官制改革で「9品18班」制度を導入
508年4月16日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||新羅・智證9年;北魏・正始5年3月|新羅、北魏へ遣使
508年9月11日-08:00|中国| ||北魏・永平1年8月|<即位>西魏皇帝「元愉」北魏の京兆王が冀州にて長史の羊靈引と司馬の李遵を殺して決起(~同年死去)、建平と改元
508年9月11日-08:00|中国| ||北魏・永平1年8月|北魏の宣武帝が永平(-512年4月)と改元
508年10月10日-08:00|中国| ||北魏・永平1年9月|<死去>西魏皇帝「元愉」叔孫頭に捕らえられ信都へ帰還、高肇の放った刺客に暗殺される
508年12月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||百濟・武寧王8年11月|南海中の耽羅人が初めて百濟国と通じた
509年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツパン「ゲシュアス・パラム」(~518年)
509年-01:00|フランス| |||<即位>フランク王国初代国王クロヴィス1世(~05111127)メロヴィング朝を創始
510年-05:30|インド| |||<即位>ハラウァ朝君主「Kumaravishnu2世」(~530年)
510年-04:00|アルメニア| |||<即位>ガートマン公(ミヘリド朝)「ヴァルト1世」(~540年)
510年-01:00|イタリア| |||<即位>ランゴバルト王「Wacho」Unichusの息子(~539年死去)
510年 00:00|イギリス| |||<即位>ビクト王「Galan Erilich」(~522年)
510年1月26日-08:00|中国| ||北魏・永平3年|五銖銭を再び鑄造し、規格外の銭は使用を禁止
510年1月26日-08:00|中国| ||高昌・義熙1年|高昌のか嘉が義熙(-525年)と改元
510年1月26日-08:00|中国| ||南梁・天監9年|梁で大明暦を施行
510年5月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・智證11年5月|地震が起きて民家が倒壊して死者が出た
511年-01:00|スペイン| |||<死去>西ゴート王国国王「ゲシリク」殺害される
511年-01:00|スペイン| |||<即位>西ゴート王国国王「アマリク」(~531年殺害される)
511年 06:00|ガアメラ| |||<即位>ティカル王「ティカルの女王」「加ムテ・パラム」(~527年)
511年2月14日-08:00|中国| ||北魏・永平4年|<即位>陰平君主「楊孟孫」(~同年死去)⇒「楊定」(~542年)
511年11月6日-09:00|日本|京都府京田辺市|継体5年10月|継体天皇は都を山背(山城)の筒城に移す
511年11月27日-01:00|ベルギー/フランス/ドイツ/ルゼンブルグ/オランダ| |||<死去>フランク王国(メロヴィング朝)国王クロヴィス1世、王国は4人の息子間で分割→<即位>ソワソ王クロタール1世(~05611129)、パリ王キルデベルト1世(~05581223)、オルアン王クロドメル(~05240621)、ランス王テデリク1世(~534年)
512年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「ヤハラ4世ヒン・アル=ハリス」(~529年)
512年 00:00|イギリス| |||<即位>ケント王「Octa」Hengestの息子(~534年)
512年4月2日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・文咨明21年;南梁・天監11年3月|高句麗、梁へ遣使
512年5月2日-09:00|韓国/中国| ||百濟・武寧王12年;南梁・天監11年4月|百濟、梁へ遣使
512年5月2日-08:00|中国| ||北魏・延昌1年4月|北魏の宣武帝が延昌(-515年12月)と改元
512年5月21日-08:00|中国| ||北魏・延昌1年5月21日:庚戌;北魏・延昌1年4月20日|山西、代県地震/M7.5、死者5,310人
512年6月30日-09:00|韓国| ||新羅・智證13年6月|于山国が服属して毎年物産を捧げた
512年12月24日-09:00|韓国/日本| ||継体6年12月|大伴金村:百濟の求めに応じて任那の4県を割譲
514年-07:00|カボジア| |||<即位>扶南王「ルラアルマン」(~550年)
514年 00:00|イギリス| |||<即位>サックス王「Cissa」Alleの息子(~567年)
514年2月10日-09:00|韓国/日本| ||継体8年;百濟・武寧王14年|己ブン(コブン、全羅北道南原市)・滯沙(サ、慶尚南道河東郡)の地を倭国から百濟に譲渡
514年7月19日-01:00|バチカン| |||<死去>第51代ローマ教皇「シマクス」
514年7月20日-01:00|バチカン| |||<就任>第52代ローマ教皇「ホルミスタス」(~05230806死去)
514年8月6日-09:00|韓国| ||新羅・智證15年7月|<死去>新羅王「智證王」
514年8月6日-09:00|韓国| ||新羅・法興王1年7月|<即位>新羅王「法興王」(~540年)
515年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Kumara Dhatusena」Mogallanaの息子(~524年)
515年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>エフタル族トラマナ(~528)
515年1月31日-09:00|韓国/日本| ||継体9年|倭国の朝鮮派遣軍が伴跛国に敗退
515年2月12日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年1月13日|<死去>北魏第8代皇帝「世宗宣武帝(元恪)」/享年33
515年2月12日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年1月13日|<即位>北魏第9代皇帝「肅宗孝明帝(元珪)」(~5280331死去)
515年3月1日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年;南梁・天監14年2月|梁の寧州刺史任太洪が軍勢を率いて閬城に侵攻/益州の長史成興孫が任太洪軍を撃破
515年4月29日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年4月|梁州刺史薛懷古が沮水で反逆した氐人を破った
515年6月9日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年5月12日|甲寅、南秦州刺史崔暹が氐人の反徒を撃破し、武興の包围を

0600迄 (2180件)

解いた

- 515年6月27日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年6月|魏の冀州の沙門、法慶が妖術で民衆を惑わし、勃海郡の李帰伯とともに反乱
- 515年9月24日-08:00|中国| ||南梁・天監14年;北魏・延昌4年9月|南梁・左遊擊將軍趙祖悦が魏の西硤石を襲撃占拠して寿陽にり、將軍田道童らが分散して諸戌を攻撃/魏の揚州刺史李崇は諸將を分遣して梁軍を迎撃/癸亥、魏は仮鎮南將軍崔亮を派遣して西硤石を攻撃
- 515年9月24日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年9月|北魏の胡太后が摂政となる
- 515年10月7日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年9月14日|甲寅、魏の元遙が大乘の賊徒を破り、法慶と首領ら百人余りを捕らえ、その首級を洛陽に送った
- 516年-05:30|インド| ||<即位>ガダンバ朝(トリハ-ヴァ-サ)マハジヤ「Krishna Varma2世」(~540年)
- 516年-01:00|スイス/フランス| ||<即位>ブルグント王「ジギスムント」グントパトの息子(~523年廃位)
- 516年-01:00|スイス/フランス| ||ブルグント王国ブルグント法の法典化
- 516年1月30日-08:00|中国| ||南梁・天監14年;北魏・延昌4年閏12月11日|己酉、魏の崔亮が硤石に至り、趙祖悦は迎撃したが敗れ、城門を閉ざして防備を固めた
- 516年2月18日-08:00|モンゴル/中国| ||北魏・熙平1年|<死去>高車国(阿伏至羅国)国王「弥俄突」殺される
- 516年2月18日-08:00|モンゴル/中国| ||北魏・熙平1年|<即位>高車国(阿伏至羅国)国王「伊匐」弥俄突の弟(~522年)
- 516年2月18日-08:00|中国| ||柔然・建昌9年|柔然の伏跋可汗はこの年、西の高車を攻撃し、これを大破/高車王弥俄突を捕らえ殺害
- 516年2月18日-08:00|中国| ||北魏・熙平1年;南梁・天監15年1月|荊州都督元志が梁軍を大破
- 516年2月18日-08:00|中国| ||北魏・熙平1年;南梁・天監15年1月|北魏の蕭宝寅は輕車將軍劉智文らに淮水を渡河させ、三つの砦を攻撃して破らせた
- 516年2月18日-08:00|中国| ||北魏・熙平1年1月1日|戊申朔、北魏の孝明帝が熙平(-518年2月)と改元
- 516年3月26日-08:00|中国| ||北魏・熙平1年;南梁・天監15年2月8日|乙巳、將軍垣孟孫らを淮水の北で破った/北魏の李平は硤石に至ると、李崇・崔亮らに水陸から侵攻させ、戦闘に何度も勝利/李平は水軍と陸軍を指揮して硤石を攻撃させ、その外城を制圧
- 516年4月15日-08:00|中国| ||北魏・熙平1年;南梁・天監15年2月28日|乙丑、魏軍は硤石城を出て投降した趙祖悦を斬って、その兵を全員捕虜とした
- 516年4月18日-08:00|中国| ||南梁・天監15年3月1日|戊辰、日蝕が起こった
- 516年5月17日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年;南梁・天監15年4月|張齊は葭萌で北魏の元景隆と戦い、これを大破すると、十城余りを壊滅させ、さらには武興を包圍/北魏の傅豎眼は益州内に入ると、三日間、転戦して、二百里余りを進軍し、九度戦って全勝
- 516年6月16日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年;南梁・天監15年5月|北魏の傅豎眼は梁州刺史任太洪を攻撃・殺害/傅豎眼が至ると、梁軍は退却
- 516年7月15日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年;南梁・天監15年6月|張濟は何度も白水を出撃し、北魏の葭萌に侵攻/北魏の傅豎眼は軍を派遣して信義將軍楊興起を攻撃、これを殺害/張濟は自ら精銳二万人余りを率いて傅豎眼と戦った
- 516年8月14日-08:00|中国| ||北魏・延昌4年;南梁・天監15年7月|張齊軍は大敗して逃げ帰った/東益州は再び魏領となった
- 516年10月24日-08:00|中国| ||北魏・熙平1年9月13日|丁丑、淮堰が決壊し、梁の淮水沿岸の城砦・村落の十万人余りが皆、海へと押し流された
- 516年12月10日-08:00|中国| ||南梁・天監15年7月|交州刺史李洸は交州で反乱を起こしていた阮宗孝を斬り、首級を建康に送った
- 517年2月7日-08:00|中国| ||北魏・熙平2年1月|大乘の殘党が再び集まって瀛州を攻撃/刺史宇文福が大乘殘党を討伐・平定
- 517年5月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・法興王4年4月|初めて兵部を置いた
- 518年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツバン「ミシグ1世」グヌミ(~548年)
- 518年1月27日-08:00|中国/イラン| ||北魏・熙平3年|ササン朝ペルシアの国使が北魏へ派遣
- 518年1月27日-08:00|中国| ||北魏・熙平3年1月|秦州の羌人が反乱を起こした
- 518年1月27日-08:00|中国| ||北魏・熙平3年1月|幽州で大飢饉が発生、死者3790人
- 518年2月24日-08:00|中国| ||北魏・神龜1年1月29日|己酉、北魏の孝明帝が神龜(-520年7月)と改元
- 518年2月26日-08:00|中国| ||北魏・神龜1年2月|東益州のティ人が反乱を起こした
- 518年3月27日-08:00|中国| ||北魏・神龜1年3月|南秦州のティ人が反乱を起こした/龍驤將軍崔襲を持節させて派遣し、ティ人を宥めさせた
- 518年4月4日-09:00|日本|京都府長岡京市|繼體12年3月9日|繼體天皇が都を山背の弟国に移す
- 518年7月9日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝(イサカ)「アサタシウス1世」
- 518年7月9日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝「ユスティヌス1世」元老院の指名により(~05270801死去)
- 518年7月23日-08:00|中国| ||北魏・神龜1年7月|河州の却鉄忽が民衆を集めて反乱を起こし、水池王を自称/行台源子恭に詔を下して却鉄忽を討伐させた
- 518年10月1日-08:00|中国| ||北魏・神龜1年8月12日|甲子、却鉄忽が行台源子恭を訪れて投降
- 519年-05:30|インド| ||<即位>ガダンバ朝(ハナバシ)マハジヤ「Harivarma」(~530年)
- 519年 00:00|イギリス| ||<即位>ウェセックス王「チェルデウィッチ」(~534年死去)
- 519年2月15日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明28年|<死去>高句麗王「文咨明王」

0600迄 (2180件)

519年2月15日-09:00|朝鮮| ||高句麗・文咨明28年|<即位>高句麗王「安臧王」(~531年)
519年2月15日-08:00|中国| ||北魏・神龜2年1月1日|辛巳朔、日蝕が起こった
519年3月17日-08:00|中国| ||北魏・神龜2年2月|北魏で羽林千余人反乱
520年-07:00|ベトナム| ||<死去>チャンパ王「范天凱」
520年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャンパ王「范弼毳跋摩」(~529年死去)
520年-05:30|インド| ||<即位>チャール朝国王「Ranaraga」(~540年)
520年 00:00|イギリス| ||<即位>ゲウイネス王「Maelgwn Hir ap Cadwallon」(~547年死去)
520年2月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・法興王7年正月|律令を頒布して、初めてすべての官吏の公服と朱・紫で
序列を制定
520年2月4日-08:00|中国| ||南梁・普通1年;北魏・神龜3年1月1日|乙亥朔、日蝕が起こった
520年2月4日-08:00|中国| ||南梁・普通1年1月1日|乙亥、梁の武帝蕭衍が普通(-527年)と改元
520年8月18日-08:00|中国| ||北魏・正光1年7月19日|辛卯、北魏の孝明帝が正光(-525年6月)と改元
520年9月28日-08:00|中国| ||柔然・阿那瓌1年9月|<死去>柔然第11代可汗「豆羅伏跋豆伐可汗(醜奴)」母と大
臣に殺される
520年9月28日-08:00|中国| ||柔然・阿那瓌1年9月|<即位>柔然第12代可汗「敕連頭兵豆伐可汗(阿那瓌)」醜奴
の弟(~552年正月自殺)
520年9月28日-08:00|中国| ||柔然・阿那瓌1年9月|柔然第12代可汗「敕連頭兵豆伐可汗(阿那瓌)」が即位して
十日、壬辰、族兄の示発が数万の兵を率いて阿那瓌を攻撃、阿那瓌は敗れ、弟の乙居伐と輕騎で魏に亡命
520年12月25日-08:00|中国| ||北魏・正光1年;南梁・普通1年12月|魏は劉善明を聘問の使者として派遣/再び(魏
と南朝の)友好関係が結ばれた
521年1月24日-09:00|韓国| ||百濟・武寧王21年|<即位>伽耶王「仇衡王(讓王、世宗)」(~532年)
521年1月24日-08:00|中国| ||柔然・婆羅門1年1月|<即位>柔然可汗弥偶可社句可汗(婆羅門)「阿那瓌の従父兄」(~
524年死去)
521年1月24日-08:00|中国| ||北魏・正光2年1月|南秦州の氐人が反乱を起こした
521年3月5日-08:00|中国| ||北魏・正光2年2月12日|庚戌、反逆した氐人を討伐させた
521年6月20日-08:00|中国| ||北魏・正光2年5月30日|丁酉朔、日蝕が起こった
521年8月4日-08:00|中国| ||北魏・正光2年6月16日|辛巳、南荊州刺史桓叔興が安昌より梁に通じて反逆
521年8月19日-08:00|中国| ||南梁・普通2年;北魏・正光2年7月1日|丁酉、大軍を率いて義州を攻撃させた/檀公?
で魏の義州刺史封寿を破り義州城を包圍/封寿は降伏/梁は再び義州を手に入れた
521年12月15日-09:00|韓国/中国| ||新羅・法興王8年;南梁・普通2年11月|新羅が百濟に従い梁(南朝)に初めて
遣使
522年-04:00|ジョージア| ||<即位>イバリア王「ダチゲアツク」1世の息子(~534年)
522年-04:00|ジョージア| ||<即位>ラシカ王「ツァシ」1世(~527年)
522年 00:00|イギリス| ||<即位>ビクト王「Drest son of Uudrost」(~530年);「Drest son of Girom」(~531年)
522年1月29日-08:00|中国| ||北魏・正光2年12月17日|庚辰、東益州・南秦州の氐人が反乱を起こした/反逆した
氐人を討伐させたが敗北
522年2月12日-08:00|モンゴル/中国| ||北魏・正光3年|<即位>高車国(阿伏至羅国)国王「越居」伊匐の弟
522年3月13日-08:00|中国| ||北魏・正光3年2月|高車王伊匐が魏に朝貢の使者を派遣
522年6月10日-08:00|中国| ||北魏・正光3年;南梁・普通3年5月1日|皆既日食が起こった
522年12月4日-08:00|中国| ||北魏・正光3年11月1日|己丑朔、日蝕が起こった
522年12月21日-08:00|中国| ||北魏・正光3年;南梁・普通3年11月18日|丙午初めて正光暦を施行
523年-02:00|イスラエル/イエメン| ||南アラビアのナジャランでユダヤ教徒がキリスト教徒を虐殺
523年-01:00|チュニジア| ||<死去>ヴァンダル王国国王「トラサント」
523年-01:00|チュニジア| ||<即位>ヴァンダル王国国王「ヒルデリック」(~5300615廃位)
523年-01:00|スイス/フランス| ||<即位>ブルグント王「ゴドマル2世」グントバトの息子(~532年)
523年-01:00|スイス/フランス| ||<廃位>ブルグント王「ジギスムント」
523年 00:00|イギリス| ||<即位>ゲリウイニング王「Cadoc Gwynllwy」の息子(~5800921死去)
523年1月3日-08:00|中国| ||北魏・正光3年;柔然・婆羅門2年12月|婆羅門は部落を率いて魏に反逆、魏は柔然軍
を破った/婆羅門は涼州軍に捕らわれて、洛陽に送致
523年3月24日-08:00|中国| ||柔然・婆羅門3年;北魏・正光4年2月22日|己卯、蠕蠕王阿那瓌が軍勢を率いて国
境を侵犯/尚書左丞元孚を北道行台とすると持節させて派遣し、阿那瓌を宥めさせた
523年5月1日-08:00|中国| ||北魏・正光4年4月|懷荒鎮の民が乱を起こし、于景を捕らえ殺した
523年5月28日-08:00|中国| ||北魏・正光4年;柔然・婆羅門3年4月28日|甲申、魏は柔然を攻撃/阿那瓌は北に逃
れた/鎧曹参軍于謹は郁対原に至るまでに前後十七回の戦闘を行い何度も柔然軍を破った
523年6月5日-09:00|韓国| ||百濟・武寧王23年5月7日|<死去>百濟王「武寧王」
523年6月5日-09:00|韓国| ||百濟・聖王1年5月7日|<即位>百濟王「聖王」(~554年)
523年8月6日-01:00|パチン| ||<死去>第52代ローマ教皇「ホルミスタス」
523年8月13日-01:00|パチン| ||<就任>第53代ローマ教皇「ヨハネス1世」(~05260518死去)
523年11月23日-08:00|中国| ||北魏・正光4年;南梁・普通4年11月1日|日蝕が起こった
523年12月23日-08:00|中国| ||北魏・正光4年;南梁・普通4年12月|梁が將軍を派遣して辺地に侵攻させた/仮征
南將軍崔延伯に詔を下し、梁軍を迎撃させた
524年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Kittisena」Kumara Dhatusenaの息子⇒「Siva2世」Kirti Sen

0600迄 (2180件)

aの叔父 (~525年)

524年1月9日-08:00|中国| ||南梁・普通4年12月18日|庚午、鉄銭を鑄造
524年1月21日-08:00|中国| ||柔然・婆羅門4年|<死去>柔然可汗「弥偶可社句可汗(婆羅門)」
524年4月19日-08:00|中国| ||北魏・正光5年3月|沃野鎮の破六汗拔陵が反乱を起こし、民衆を率いて鎮將を殺害し、真王元年と称した
524年5月19日-08:00|中国| ||北魏・正光5年4月|高平鎮の民赫連恩等が造反、破六韓拔陵に呼応して高平鎮を攻撃/魏の將軍盧祖遷がこれを撃破、胡深は北へ逃げた
524年6月17日-08:00|中国| ||南梁・普通5年5月|臨淮王は、五原にて破六韓拔陵と戦い、敗北/安北將軍李叔仁も白道で敗北
524年6月21日-01:00|フランス| ||<死去>フランク王国(メロヴィング朝)オムラン王カトリック・メルガヴ・ロスの戦いで東ゴートと戦って討死→オムランはワゴン王カトリック1世とパリ王カトリック1世で均等分割
524年7月17日-08:00|中国| ||北魏・正光5年6月|薛珍等が徒党を集めて突入し秦州刺史李彦を捕らえ殺した/莫折大提はト胡に高平鎮を襲撃させ鎮將の赫連略と行台の高元栄を殺した/莫折大提が死ぬと子息の莫折念生が天子と自称し、天建と改元
524年8月15日-08:00|中国| ||北魏・正光5年7月|崔暹は白道にて破六韓拔陵と戦ったが大敗/破六韓拔陵は余勢を駆って李崇を攻撃、李崇は支えきれず雲中まで退却
524年8月15日-08:00|中国| ||北魏・正光5年7月|魏の涼州幢帥于菩提らが刺史宋穎を捕らえ、涼州を占拠して反乱を起こした
524年8月31日-08:00|中国| ||北魏・正光5年7月17日|莫折念生は、都督の楊伯年に仇鳩と河池を攻撃させた/東益州刺史魏子建は將軍伊祥に迎撃させ千余級の首を挙げた
524年9月25日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年8月12日|庚寅、徐州刺史成景儁が魏の童城を陥落させた
524年9月29日-08:00|中国| ||北魏・正光5年8月16日|甲午、莫折念生の弟の高陽王天生が隴を攻撃し都督の元志が敗北/莫折念生の都督竇叟が盤龍郡を攻撃し魏子建は將軍の竇念祖を派遣してこれを撃破
524年10月1日-08:00|中国| ||北魏・正光5年8月18日|丙申、鎮を州に改めた/懷朔鎮を朔州とし、朔州を雲州と改名
524年10月2日-08:00|中国| ||北魏・正光5年8月19日|丁酉、南秀容の牧子の于乞真が反乱を起こし、太僕卿陸延を殺害/別將爾朱榮が于乞真を討伐・平定
524年10月3日-08:00|中国| ||北魏・正光5年8月20日|戊戌、莫折念生は都督宝双を派遣して魏の盤頭部を攻撃/東益州刺史魏子建は將軍竇念祖を派遣して、これを撃破
524年10月13日-08:00|中国| ||北魏・正光5年;南梁・普通5年9月|この月、梁は將軍裴邃と虞鴻を派遣して寿春の外城を襲撃/刺史長孫稚が梁軍を攻撃して敗走させた/梁は再び將軍を派遣して淮陽に侵攻/秘書監・安樂王元鑑に詔を下し、軍勢を率いて梁軍を迎撃させた
524年10月13日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年9月1日|戊申、成景儁が魏の?陵を陥落させた
524年10月27日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年9月15日|壬戌夜、裴邃は城門から斬り込んで、寿陽の外郭を制圧/魏の揚州刺史長孫稚は梁軍に抗戦し、一日に九度戦った/裴邃は軍を撤退させて帰還/別働隊の將軍が魏の淮陽を攻撃
524年11月12日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年10月|魏の營州城民の劉安定・就德興が刺史李仲遵を捕らえ、州城を占拠して反乱/城民王愚児が劉安定を斬って投降/就德興は東に逃げ、燕王を自称
524年11月12日-08:00|中国| ||北魏・正光5年10月|魏の朔方胡が反乱を起こし、夏州刺史源子雍を包囲/源子雍は転戦しつつ進軍し九旬に数十回戦った/ついに東夏州を平定した/夏州・東夏州は保全された
524年11月12日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年10月1日|戊寅、裴邃と元樹が魏の建陵城を攻撃し制圧
524年11月15日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年10月4日|辛巳、曲?戌を陥落させた/掃虜將軍彭宝孫が琅邪を陥落させた
524年11月18日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年10月7日|甲申、彭宝孫が檀丘を陥落させた
524年11月25日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年10月14日|辛卯、裴邃が狄丘を陥落させた
524年11月30日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年10月19日|丙申、また璧城を陥落させた
524年12月6日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年10月25日|壬寅、魏の東海太守韋敬欣が司吾城とともに投降/定遠將軍曹世宗が曲陽を陥落させた
524年12月8日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年10月27日|甲辰、また秦墟を陥落させた
524年12月12日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年11月2日|戊申、莫折天生が魏の岐州を陥落させ、都督元志と刺史裴芬之を捕らえ、莫折念生の下に送致、殺害/また莫折念生はト胡らを涇州に侵攻させ、平涼の東で光祿大夫薛巒を破った
524年12月20日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年11月10日|丙辰、彭宝孫が魏の東莞郡を陥落させた
524年12月26日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年11月16日|壬戌、裴邃が寿陽の安城を陥落させた
524年12月30日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年11月20日|丙寅、馬頭・安城がともに投降
525年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国王「Upatissa2世」Kumara Dhatusenaの義理の息子 (~526年)
525年-03:00|エチオピア/エメン| ||アクス(エチオピア)王グスはキリスト教徒保護の名目でエメンのヒマル王国に侵入し滅ぼす
525年 00:00|イギリス| ||<即位>ケレディオン王「ホドゥ」 (~560年)
525年 05:00|ペル| ||このころナシ地上絵が描かれる
525年1月10日-08:00|中国| ||北魏・正光5年12月|山南行台・東益州刺史魏子建が南秦州のティ人を招いて投降さ

0600迄 (2180件)

せ、六郡・十二戌を回復/賊徒の王の韓祖香を斬った/南秦州の賊徒の王、張長命は恐れて投降を申し出てきた
525年1月10日-08:00|中国| ||北魏・正光5年12月|魏の汾州諸胡が反乱を起こし章武王元融を大都督として軍を率いてこれを討伐させた
525年2月3日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年12月25日|辛丑、信威長史楊乾が武陽関を攻撃し制圧
525年2月4日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年12月26日|壬寅、?関を攻撃し制圧
525年2月7日-08:00|中国| ||南梁・普通5年;北魏・正光5年12月29日|乙巳、武勇將軍李国興が魏の平靖関を攻撃し制圧/裴邃が魏の新蔡郡を陥落させた
525年2月8日-08:00|中国| ||高昌・甘露1年|<即位>高昌国王「高昌王麹光」麹嘉の子(~530年)甘露(-530年)と改元
525年2月8日-08:00|中国| ||南梁・普通6年;北魏・正光6年1月1日|丙午、雍州刺史・晋安王蕭綱が安北長史柳渾を派遣して魏の南郷郡を破った/司馬董当門が魏の晋城を破った
525年2月12日-08:00|中国| ||南梁・普通6年;北魏・正光6年1月5日|庚戌、また魏の馬圈城・彫陽城を破った
525年2月22日-08:00|中国| ||北魏・正光6年1月15日|庚申、徐州刺史元法僧が州城を占拠して反乱/宋王を自称して年号を天啓とし、梁に帰順/その後、魏の安樂王元鑑が彭城南で梁の元略に大勝/元法僧が出撃し元鑑軍を大破
525年2月25日-08:00|中国| ||北魏・正光6年1月18日|癸亥、蕭宝?と征西將軍崔延伯が賊軍を黒水で大破/莫折天生は隴西に逃げ込んだ/涇州・岐州と隴東の一帯は平定された
525年3月7日-08:00|中国| ||南梁・普通6年;北魏・正光6年1月28日|癸酉、梁の裴邃が北魏の鄭城を陥落させた
525年3月26日-08:00|中国| ||北魏・正光6年2月17日|壬辰、北魏・莫折念生が都督楊鮪・梁下辯・姜齊らを派遣して仇池郡城を攻撃させたが、行台・東益州刺史魏子建は將軍盛遷を派遣して楊鮪らを撃破
525年3月29日-08:00|中国| ||南梁・普通6年;北魏・正光6年2月20日|乙未、趙景悦が魏の竜亢を陥落させた
525年4月8日-08:00|中国| ||北魏・正光6年3月|この月、齊州清河郡の崔畜は太守董遵を殺害し、広川郡の傅堆は太守劉莽を捕らえて反乱/青州刺史・安樂王元鑑が反徒を討伐・平定
525年4月8日-08:00|中国| ||北魏・正光6年3月|この月、破六汗拔陵の別帥の王也不慮らが懷朔鎮を攻撃して陥落させた
525年4月8日-08:00|中国| ||柔然・婆羅門5年;北魏・正光6年3月|柔然王阿那瓌は魏のために破六韓拔陵を攻撃/阿那瓌は十万の兵を指揮して、武川鎮から西の沃野鎮に向かい、何度も破六韓拔陵軍を破った
525年4月8日-08:00|中国| ||南梁・普通6年;北魏・正光6年3月|北涼州刺史錫休儒らが魏の梁州に侵攻し、直城を攻撃/魏の梁州刺史傅豎眼が子の傅敬紹を派遣して錫休儒を攻撃させ錫休儒らは敗れて帰還
525年5月8日-08:00|中国| ||北魏・正光6年4月|胡深が高平鎮に據り、大将の萬俟醜奴、宿勤明達等へ、魏の涇州を攻撃させ、將軍の盧祖遷、伊養生が迎撃したが勝てなかった
525年5月25日-08:00|中国| ||北魏・正光6年4月18日|壬辰、北魏の征西將軍・都督崔延伯が涇川で大敗・戦死
525年6月30日-08:00|中国| ||北魏・正光6年;南梁・普通6年5月24日|戊辰、淳于誕らが梁軍を大破、樊文熾は単身で逃れた
525年7月5日-08:00|中国| ||柔然・阿那瓌6年6月|柔然の頭兵豆伐可汗(阿那瓌)は破六韓拔陵を大破/破六韓拔陵は柔然から逃れた
525年7月12日-08:00|中国| ||北魏・孝昌1年;南梁・普通6年6月7日|庚辰、夜、蕭綽は梁話や淮陰郡の苗文寵と(城外に)出で、歩いて魏軍に赴き、投降/梁軍は崩壊、魏は大軍で追撃し逃れられた者は一〜二割
525年7月15日-08:00|中国| ||北魏・孝昌1年6月10日|北魏の孝明帝が孝昌(-528年1月)と改元
525年9月3日-08:00|中国| ||北魏・孝昌1年8月|柔玄鎮の杜洛周が上谷で反乱を起こし、年号を真王とした/杜洛周は郡県を攻撃して陥落させ、南の燕州を包囲
525年9月18日-08:00|中国| ||北魏・孝昌1年8月16日|戊子、莫折念生は都督杜黒児・杜光らを派遣して仇池郡を攻撃/行台魏子建は將軍盛遷を派遣して杜黒児らを撃破し、杜光の首を斬った
525年11月1日-08:00|中国| ||北魏・孝昌1年10月|前刺史梁釗の子、梁景進が高徽を攻撃・殺害/梁景進も行州事を自称
525年11月1日-08:00|中国| ||吐谷渾・伏連騫36年;南梁・普通6年10月|吐谷渾が軍を派遣して趙天安を攻撃/趙天安は投降し涼州は再び魏に奪回された
525年12月30日-08:00|中国| ||南梁・普通6年;北魏・孝昌1年12月|曹義宗らは順陽・馬圈城を奪取し、北魏の征虜將軍裴衍らと淅陽郡で戦った/曹義宗らは敗退/裴衍らは再び順陽を奪回し、進軍して馬圈城を包囲、曹義宗が裴衍らを攻撃し破った/再び順陽を奪回
525年12月30日-08:00|中国| ||北魏・孝昌1年12月|魏の山胡、劉蠡升が反乱を起こし、天子を自称
526年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Silakala Ambosamanera」Upatissaの義理の息子(~539年)
526年-01:00|ハンガリー/イタリア| ||ハンガリーはランゴバルドが支配(~568年4月)
526年1月29日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年1月|この月、都督元譚が軍都に到達し、杜洛周に敗北
526年1月29日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年1月|五原の鮮于脩礼が定州で反乱を起こし、年号を魯興/左光禄大夫長孫稚に詔を下して使持節・仮驃騎將軍・大都督・北討諸軍事とし、都督・河間王元処とともに諸將を率いて鮮于脩礼を討伐させた
526年3月29日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年3月|游擊將軍爾朱榮が、造反した斛律洛陽を深井で撃破し、費也頭牧子を河西で撃破
526年4月12日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年3月15日|甲寅、西部敕勒の斛律洛陽が桑乾で反乱を起こし、西の河西牧子と連携/別將爾朱榮が斛律洛陽らを撃破
526年4月27日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年4月|朔州城民の鮮于阿胡とコ狄豊樂が州城を占拠して反乱

0600迄 (2180件)

526年4月27日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年4月|杜洛周は南下して薊城を襲撃/常景は、統軍の梁仲礼を派遣して撃破/都督の李居は、薊城北で杜洛周と戦ったが敗北

526年5月18日-01:00|パチン| |||<死去>第53代ローマ教皇「聖ヨハネ1世」

526年5月29日-02:00|トルコ| ||トルコのアンタキヤ(アンティキヤ)で地震(M7.7)、地震と津波で死者25万1000人

526年6月25日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年6月|絳蜀人の陳双熾が民衆を率いて反乱を起こし、始建王を自称/仮鎮西將軍・都督長孫稚に詔を下し、陳双熾を討伐・平定させた

526年7月12日-01:00|パチン| |||<就任>第54代ローマ教皇「フェリクス4世」(~05300922死去)

526年8月2日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年7月9日|丙午、杜洛周が別帥の曹乞真を派遣し、幽州に侵攻して略奪を行わせた/行台常景は都督于榮を派遣して粟園で迎撃させ、賊軍を大破

526年8月4日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年7月11日|鮮于阿胡は、朔州の流民を指揮して恒州を攻撃/戊申、恒州は陥落し行台元纂は冀州に逃走

526年8月20日-08:00|中国| ||南梁・普通7年;北魏・孝昌2年7月27日|甲子、梁の將軍元樹と湛僧珍らが寿春に侵攻

526年8月30日-01:00|イタリヤ| |||<死去>東ゴート王・イタリヤ王「テオドリック」/71歳(誕生454年)

526年8月30日-01:00|イタリヤ| |||<即位>東ゴート王・イタリヤ王「アトラリック」テオドリックの孫(~5341002死去)、摂政「アマスインタ」テオドリックの娘(~05341002)

526年9月13日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年8月22日|戊子、都督伊和生が巴を討伐して敗死

526年9月22日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年9月|就德興が平州を攻撃して陥落させ、刺史王買奴を殺害

526年10月4日-09:00|日本|奈良県桜井市|継体20年9月13日|都を山背国弟国宮から大和国磐余の玉穗に移す

526年10月6日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年9月15日|辛亥、葛榮が都督広陽王元淵・章武王元融を白牛邏で破った/元融は戦死/葛榮は天子を自称し国号は齊、年号は広安と称した

526年10月22日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年10月|常景は杜洛周を破り、賊軍の武川王賀拔文興等を斬った

526年11月22日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年11月3日|戊戌、杜洛周が幽州を攻撃して陥落させ、刺史王延年と行台常景を捕らえた

526年12月20日-08:00|中国| ||北魏・孝昌2年閏11月|齊州平原郡の劉樹・劉蒼生が民衆を集めて反乱を起こした/齊州軍が反徒を撃破して敗走させ劉樹は梁に亡命

526年12月20日-08:00|中国| ||南梁・普通7年;北魏・孝昌2年閏11月|梁の將軍元樹が寿春に迫った/揚州刺史李憲は力尽きて投降

526年12月20日-08:00|中国| ||南梁・普通7年;北魏・孝昌2年閏11月|梁は再び將軍を派遣して新野に侵攻/都督魏承祖に詔を下して梁軍を迎撃させた

527年 00:00|イギリス| |||<即位>エックス王「エシュウネ」(~587年)

527年 00:00|イギリス| |||<即位>マーン王「イゼル」

527年 06:00|ガアメラ| |||<即位>ティカル王「ワク・チャン・カウィル」(~537年)

527年2月17日-09:00|韓国| ||新羅・法興王14年|新羅が仏教を公認

527年2月17日-08:00|中国| ||南梁・普通8年;北魏・孝昌3年1月|この月、梁は將軍彭群・王辯らも派遣し、数万の軍勢を率いて琅邪に迫らせた/青州・南青州に詔を下して梁軍を迎撃させた

527年2月17日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年1月|高平鎮の虜人の賊軍が岐州に迫った/城民が刺史魏蘭根を捕らえ、州城を挙げて賊軍に呼応

527年2月17日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年1月|賊帥の胡引祖は北華州を占拠して虜軍に呼応/賊帥叱干麒麟は兖州を占拠

527年2月17日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年1月|兖州刺史畢祖暉・行台羊深の両者は退却し、畢祖暉は戦死/ついで北海王元顥も敗走

527年2月17日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年1月|蕭宝?・元恒芝が涇州で大敗/大隴都督・南平王元仲冏と小隴都督高聿も相繼いで退却/東秦州刺史潘義淵は賊軍に投降

527年2月26日-08:00|中国| ||南梁・普通8年1月10日|甲戌、徐州の任道弼が民衆を集めて反乱を起こし、蕭城を襲撃・占拠/徐州軍が任道弼を討伐・平定

527年3月5日-08:00|中国| ||南梁・普通8年1月17日|辛巳、葛榮が殷州を陥落させた/刺史崔楷は投降せずに戦死/葛榮は東の冀州を包囲

527年3月18日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年;南梁・普通8年2月|この月、梁の將軍成景儁が彭城に侵攻/員外常侍崔孝芬に詔を下して都督とし、諸將を率いて迎撃し、成景儁軍を敗走させた

527年3月18日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年2月|虜人の賊軍が潼関を占拠

527年4月13日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年2月27日|庚申、東郡の趙頭徳が反乱を起こし、太守裴烟を殺害して都督を自称し、兄の子を太守に擁立/都督李叔仁に詔を下して趙頭徳を討伐させた

527年4月17日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年3月|虜人が敗走し、潼関を回復

527年4月17日-08:00|中国| ||南梁・大通1年3月|梁の武帝蕭衍が大通(-529年)と改元

527年4月24日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年3月8日|辛未、齊州広川郡の劉鈞が清河太守劭懷を捕らえ、民衆を集めて反乱を起こし、大行台を自称

527年5月16日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年4月|別將元斌之が東郡を討伐し、趙頭徳を斬った

527年7月16日-09:00|日本/韓国| ||継体21年6月03日|ヤマト王権の近江毛野は6万人の兵を率いて、新羅に奪われた南加羅・喙己吞(いずれも朝鮮半島南部の諸国)を回復するため、任那へ向かって出発

527年8月1日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝(ヒュンズン皇帝)「ユスティヌス1世」

527年8月1日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(ヒュンズン皇帝)「ユスティヌス1世「大帝」」甥(~5651114死去)

0600迄 (2180件)

527年8月13日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年;南梁・大通1年7月|この月、青州刺史・彭城王元劭と南青州刺史胡平が將軍を派遣し、梁の將軍彭群の首を斬って二千人余りを捕虜とした

527年8月13日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年7月|相州刺史・安樂王元鑑が相州を占拠して反乱

527年8月13日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年7月|陳郡の劉獲・鄭辯が西華で反乱を起こし、年号を天授とした/豫州軍が劉獲らを討伐・平定

527年9月11日-09:00|日本| ||継体21年8月1日|筑紫(九州地方北部)の有力者であった磐井が挙兵し火の国(肥前国・肥後国)と豊の国(豊前国・豊後国)を制圧したため、ヤマト王権の平定軍として物部麤鹿火が將軍に任命され、征討に出発

527年9月27日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年8月17日|朝廷は源子邑、李神軌、裴衍へ、ギョウの攻撃を命じ、丁未、元鑑を斬り、相州を平定

527年10月11日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年9月|秦州の城民杜粲が、莫折念生一族を皆殺しにし、州の治政を専断/南秦州の城民辛深も州を乗っ取り蕭寶寅へ降伏

527年12月3日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年10月25日|<即位>齊第1代皇帝「蕭寶寅」(~528年1月)年号を隆緒と称した/尚書右僕射長孫稚に詔を下して蕭寶寅を討伐させた

528年-04:30|77ガニスタン| ||<即位>エフタル族ミラウ(~542)

528年1月7日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年11月30日|己丑、葛榮が冀州を攻撃・陥落させ、刺史元孚を捕らえて、住民を退去させた/凍死する者は六〜七割に上った

528年1月26日-08:00|中国| ||北魏・孝昌3年12月19日|戊申、都督源子?と裴衍が葛榮と戦い、陽平の東北(、シヨウ水の湾曲部)で敗北して、ともに戦死/葛榮は余勢をかって相州を攻撃したが勝てなかった

528年2月12日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年1月7日|乙丑、杜洛周が定州を陥落させ、刺史楊津を捕らえた/瀛州刺史元寧は州城を伴って杜洛周に投降

528年2月13日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年1月8日|丙寅、北魏の孝明帝が武泰(-4月)と改元

528年2月23日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年1月18日|丙子、長孫稚が潼関を平定

528年2月24日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年1月19日|<退位>齊初代皇帝「蕭寶寅」/丁丑、雍州の侯終徳らが一齊に攻撃、蕭寶寅は渭水を渡って逃走/雍州は平定された

528年3月7日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年2月|葛榮は杜洛周を攻撃してこれを殺した

528年3月31日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年2月25日|<死去>北魏第9代皇帝「肅宗孝明帝(元シ)」母の靈太后が毒殺/享年19

528年4月1日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年2月26日|<即位>北魏皇帝「女帝元氏」(~同日)

528年4月2日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年2月27日|<即位>北魏皇帝「幼主(元釗)」(~5.15廃位)

528年4月30日-08:00|中国| ||北魏・武泰1年3月26日|癸未、葛榮が滄州を攻撃・陥落させ、刺史薛慶之を捕らえた/住民の八〜九割が死亡

528年5月5日-08:00|中国| ||北魏・建義1年4月|郢州刺史元願達が州城を占拠し、梁に通じて反逆

528年5月15日-08:00|中国| ||北魏・建義1年4月11日|<即位>北魏第10代皇帝「敬宗孝莊帝(元子攸)」(~05310106廃位)

528年5月15日-08:00|中国| ||北魏・建義1年4月11日|<廃位>北魏皇帝「幼主(元釗)」

528年5月17日-08:00|中国| ||北魏・建義1年4月13日|庚子、兵権を握っていた爾朱栄は靈皇后と幼主を殺害し、ついで無上王元劭・始平王元子正を殺害

528年5月18日-08:00|中国| ||北魏・建義1年4月14日|辛丑、孝莊帝は、建義(-9月)と改元

528年6月15日-08:00|中国| ||北魏・建義1年5月13日|己巳、齊州の賈皓が民衆を集めて反乱を起こし、夜、州城を襲撃したが、夜が明けると敗走

528年6月21日-08:00|中国| ||北魏・建義1年5月19日|乙亥、晋州刺史樊子鵠が唐州を制圧し、刺史崔元珍・行台?暉を斬って、首級を京師に届けた

528年7月3日-08:00|中国| ||北魏・建義1年6月|さきの幽州平北府主簿の邢杲が青州で反乱を起こし、漢王を自称して、年号を天統とした

528年7月3日-08:00|中国| ||北魏・建義1年6月|通直散騎常侍高乾?と弟たちが流民と齊州平原郡で挙兵した反徒を率い、幾度も齊州軍を破った/東道大使元欣に詔を下し、孝莊帝の意向を告げて宥めさせると、高乾?らは投降

528年7月7日-08:00|中国| ||北魏・建義1年6月5日|辛卯、南荊州刺史李志が州城を占拠し、梁に通じて反逆

528年8月1日-08:00|中国| ||北魏・建義1年7月|この月、高平鎮の万俟醜奴が天子と自称、神獸と改元

528年8月31日-08:00|中国| ||北魏・建義1年8月|太山太守羊侃が郡城を占拠して反乱を起こした

528年10月16日-08:00|中国| ||北魏・永安1年9月18日|爾朱栄は、自ら敵の後方へ出て、前後から挟撃し大勝利/葛榮を捕らえ、賊徒は悉く降伏/冀・定・滄・瀛・殷の五州は悉く平定

528年10月19日-08:00|中国| ||北魏・永安1年9月21日|乙亥、北魏の孝莊帝が永安(-530年10月)と改元

528年10月29日-08:00|中国| ||北魏・永安1年10月|この月、車騎大將軍・儀同三司李叔仁が?水に?杲を攻撃して敗北・撤退

528年10月29日-08:00|中国| ||北魏・永安1年;南梁・大通2年10月|大都督李穆が梁軍を大破して梁の將軍曹義宗を捕らえ、檻車で京師に送致

528年12月6日-08:00|中国| ||北魏・永安1年11月10日|癸亥、行台于暉らが瑕丘で羊侃を大破/羊侃は梁に亡命

528年12月7日-09:00|日本|福岡県小郡市|継体22年11月11日|筑紫(九州地方北部)の有力者であった磐井軍と麤鹿火率いるヤマト王権軍が、筑紫三井郡(現福岡県小郡市・三井郡付近)にて交戦し、激しい戦闘の結果、磐井軍は敗北

0600迄 (2180件)

528年12月27日-08:00|中国| ||北魏・永安1年12月|葛榮の残党、韓婁が再び幽州を占拠して反乱
529年-07:00|ベトナム| ||<死去>チャンパ王「范弼毳跋摩」
529年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャンパ王「ルト・ラヴァルマン1世」(~565年死去)
529年-03:30|イラン| ||ササン朝カワード1世がマズダク教信者(ゾロアスター教系)を弾圧
529年-02:00|ヨルダン| ||<即位>ガッサン王「アル＝アムール4世バシム・マビ」⇒「アル＝ハリス5世バシム・ヤハラー」(~569年)
529年-01:00|イタリア| ||スルシア出身のベネディクトゥスが少数の弟子と共にイタリアのモンテ・カシーノにベネディクト修道院を創設
529年1月25日-08:00|中国| ||吐谷渾・伏連籌40年|<即位>吐谷渾君主「呵羅真」(~530年)
529年2月24日-08:00|中国| ||北魏・永安2年2月|燕州の王慶祖が上党で民衆を集めて王を自称/柱国大將軍爾朱榮が王慶祖を討伐・捕縛
529年4月16日-01:00|イタリア| ||<施行>ユスティニアヌス1世が旧勅法を編纂させ「ローマ法大全」(7日公布)
529年4月24日-08:00|中国| ||北魏・永安2年4月|元顥が考城を攻撃・陥落させ、行台元暉業と都督丘大千を捕らえた
529年5月13日-08:00|中国| ||北魏・永安2年4月20日|辛丑、上党王元天穆と爾朱兆が済南で刑杲を撃破し、刑杲は降伏し斬られた
529年5月24日-08:00|中国| ||北魏・永安2年5月1日|壬子朔、元顥が梁国を制圧
529年6月14日-08:00|中国| ||北魏・永安2年5月22日|癸酉、元顥がイ陽を制圧/元顥は楊昱を捕らえた/爾朱世隆は虎牢を放棄して逃げ帰った
529年6月17日-08:00|中国| ||北魏・永安2年5月25日|丙子、元顥が洛陽に入城
529年6月19日-08:00|中国| ||北魏・永安2年5月27日|戊寅、行台崔孝芬と大都督?宣が梁国で元顥の後軍都督侯暄を破り、侯暄を斬って兵士三千人を捕らえた
529年7月13日-08:00|中国| ||北魏・永安2年6月22日|壬寅、元顥は河内を制圧
529年8月8日-08:00|中国| ||北魏・永安2年7月18日|戊辰、夜、都督爾朱兆と賀拔勝が硤石から渡河して、元顥の子の元冠受と安豊王元延明の軍勢を破った/元顥は敗走
529年8月13日-08:00|中国| ||北魏・永安2年7月23日|癸酉、臨潁県の兵士の江豊が元顥を斬って、首級を京師に届けた
529年8月20日-08:00|中国| ||北魏・永安2年閏7月|巴州刺史嚴始欣が巴州を占拠し、梁に通じて反逆
529年10月18日-08:00|中国| ||北魏・永安2年9月|大都督侯淵が、爾朱榮の命令で、薊にて韓楼を攻撃/賊帥の陳周に大勝利/薊城を攻略し、幽州は平定
529年10月18日-08:00|中国| ||北魏・永安2年9月|万俟醜奴が東秦州を攻撃して抜き、刺史の高子朗を殺す
529年11月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・安臧王11年;百済・聖王7年10月|高句麗の安臧王が自ら精鋭を率いて百済の北辺を攻める/聖王は敗れる
529年11月17日-08:00|中国| ||南梁・中大通1年10月|梁の武帝蕭衍が中大通(-534年)と改元
529年11月17日-08:00|中国| ||北魏・永安2年10月1日|己酉朔、日蝕が起こった
529年12月16日-08:00|中国| ||北魏・永安2年11月|孝莊帝は爾朱仲遠の討伐を命じた/爾朱仲遠は西コ州を攻撃し、刺史の王衍を捕らえ、鄭先護と賀拔勝が迎撃/賀拔勝は滑台の東で爾朱仲遠と戦ったが敗北降伏
530年-05:30|インド| ||<建国>メーフル国(後、首都の名前にちなんでカグメルと呼ばれるようになる)
530年-05:30|インド| ||<即位>グプタ朝「クマラグプタ3世」(~540年)
530年-05:30|インド| ||<即位>パラヴァ朝君主「Buddhavarman」(~540年)
530年1月15日-08:00|中国| ||北魏・永安2年12月|乞豆陵步蕃は、秀容にて爾朱兆軍を撃破/高歓と合流した爾朱兆は、平楽郡にて乞豆陵步蕃と戦い大勝利、石鼓山にて乞豆陵步蕃を斬り殺す
530年2月13日-09:00|日本|福岡県八女市|継体24年|磐井の墓と推定される、岩戸山古墳が築造
530年2月13日-08:00|中国| ||北魏・永安3年|<即位>吐谷渾第15代可汗「仏輔」第14代可汗「伏連籌」の子(~534年)
530年2月25日-08:00|中国| ||北魏・永安3年;南梁・中大通2年1月13日|己丑、益州刺史長孫寿と梁州刺史元儻らが將軍を派遣し、巴州都督元景夏とともに嚴始欣を討伐・斬殺/梁の都督蕭玩・何難尉・陳愁は敗走/蕭玩の首を斬り、一万人余りを捕虜とした
530年3月9日-08:00|中国| ||北魏・永安3年1月25日|辛丑、東徐州城民の呂文欣・王赦らが刺史元太寶を殺害し、州城を占拠して反乱/撫軍將軍・都官尚書樊子鵠を兼右僕射・行台とし、征南將軍・都督賈顥智と征東將軍・徐州刺史嚴思達を従えて呂文欣らを討伐させた
530年3月22日-08:00|中国| ||北魏・永安3年2月8日|甲寅、呂文欣らを平定/東徐州は平定された
530年4月13日-08:00|中国| ||北魏・永安3年3月|万俟醜奴の大行台尉遲菩薩が岐州に侵攻/大都督賀拔岳・可朱渾道元が尉遲菩薩軍を大破
530年6月3日-08:00|中国| ||北魏・永安3年4月22日|丁卯、雍州刺史爾朱天光が安定に万俟醜奴と蕭宝?を討伐し、両者を撃破・捕縛/関中が平定された
530年6月15日-01:00|チュニジア| ||<即位>ヴァンダル王国国王「ゲリメル」反乱を起こし王位に就いた(~534. 3ローマに投降)/ヒルデリックやホメルらは牢獄に入れられた
530年6月15日-01:00|チュニジア| ||<廃位>ヴァンダル王国国王「ヒルデリック」
530年7月11日-08:00|中国| ||北魏・永安3年6月|万俟道洛は長孫邪利を襲撃して皆殺し/爾朱天光が万俟道洛を討伐したが万俟道洛は隴へ逃げ略陽賊帥の王慶雲へ帰順/王慶雲は水洛城にて皇帝を潜称
530年8月11日-08:00|中国| ||北魏・永安3年7月3日|丙子、爾朱天光が水洛城を平定し、王慶雲と万俟道洛は捕まえられ殺された/三秦、河、渭、瓜、涼、セン州は全て降伏
530年9月22日-01:00|パチン| ||<死去>第54代ローマ教皇「フェリクス4世」
530年9月22日-01:00|パチン| ||<就任>第55代ローマ教皇「ホニファティウス2世」(~05321017死去)、対立教皇「ティオスクス」(~

0600迄 (2180件)

05301014)

530年10月14日-01:00|バチカン| |||<死去>対立ローマ教皇「デ・イオスキス」
530年11月2日-08:00|中国| ||北魏・永安3年9月26日|己亥、左僕射爾朱世隆と爾朱栄の妻の郷郡長公主が爾朱栄の私兵を率い河橋を攻撃し、奚毅らを捕らえて殺害し、北中城を占拠して南の京師に迫った
530年11月6日-08:00|中国| ||北魏・建明1年10月|徐州刺史爾朱仲遠が反乱を起こし、軍勢を率いて京師に向かった
530年11月6日-08:00|中国| ||北魏・建明1年10月|平州刺史侯淵は起兵し、中山にて、魏蘭根が攻撃したが敗北
530年11月18日-08:00|中国| ||北魏・建明1年10月13日|乙卯、通直散騎常侍李苗が火船で河橋を焼き落とした/爾朱世隆は退却し建州に到来/刺史陸希質が防戦したが、州城は陥落
530年12月5日-08:00|中国| ||北魏・建明1年10月30日|<即位>北魏第11代皇帝「東海王(元暉)」(~5310401廃位)、年号を建明とした
530年12月10日-08:00|中国| ||北魏・建明1年11月5日|丁丑、爾朱仲遠が西?州を陥落させ、刺史王衍を捕らえた
531年-02:00|トルコ| ||ユスティニアヌス帝がアムス王に遣使し、対ペルシア同盟を提起
531年-01:00|スペイン| |||<死去>西ゴート王国国王「アマリック」殺害される
531年-01:00|スペイン| |||<即位>西ゴート王国国王「テデイス」(~548年)
531年-01:00|スペイン| |||西ゴート王国再び敗れガリアの領地のほとんどを失った
531年-01:00|フランス/ドイツ| |||フランク王国がサクソン人の支援を受けテュリンゲン王国征服
531年 00:00|イギリス| |||<即位>ヒクツ王「Gartnait」(~537年)
531年1月2日-08:00|中国| ||北魏・建明1年11月28日|庚子、賀拔勝は滑台の東で爾朱仲遠と戦い、敗北して爾朱仲遠に帰属
531年1月4日-08:00|中国| ||北魏・建明1年12月|この月、河西の?豆陵步蕃・破六韓常が秀容で爾朱兆に大勝
531年1月4日-08:00|中国| ||北魏・建明1年12月|齊州城民の趙洛周が西城を占拠して反乱を起こし、爾朱兆に呼応/刺史・丹陽王蕭賛は州城を放棄して逃走
531年1月4日-08:00|中国| ||北魏・建明1年12月1日|壬寅朔、爾朱兆が丹谷に侵攻し、都督崔伯鳳は戦死/都督羊文義・史五童は爾朱兆に投降し大都督源子恭は退却
531年1月6日-08:00|中国| ||北魏・建明1年12月3日|<廃位>北魏第10代皇帝「敬宗孝莊帝(元子攸)」外戚爾朱栄の甥爾朱兆らにより(~12月13日暗殺される)
531年2月3日-09:00|日本|群馬県富岡市|継体25年|一之宮貫前神社創建
531年2月3日-08:00|中国| ||高昌・章和1年|<即位>高昌国王「高昌王麴子堅」(~548年)
531年2月3日-08:00|中国| ||高昌・章和1年|高昌の加堅が章和(-548年)と改元
531年3月4日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年2月|幽州刺史劉靈助が薊で挙兵/夜、河北大使高乾?と弟の高昂が冀州を襲撃して、刺史元暉を捕らえ、前河内太守封隆之を行州事に推戴
531年3月10日-09:00|日本| ||継体25年2月7日|<死去>第26代天皇継体天皇/82歳(誕生450年)
531年3月10日-09:00|日本| ||継体25年2月7日|<即位>第27代安閑天皇(~535年)
531年4月1日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年2月29日|<死去>北魏第11代皇帝「東海王(元暉)」
531年4月1日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年2月29日|<即位>北魏第12代皇帝「節閔帝・前廢帝(元恭)」(~5320621廃位)
531年4月1日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年2月29日|己巳、北魏の節閔帝が国号の魏を大魏とし普泰(-10月)と改元
531年4月28日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年3月26日|丙申、定州刺史侯淵が安国城で劉靈助を撃破・斬殺し、首級を京師に届けた
531年5月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・法興王18年4月|新羅、上大等制を始める
531年5月25日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年4月24日|癸亥、隴西王爾朱天光が宿勤明達を破り、捕らえて京師に送致/宿勤明達を斬刑に処した
531年6月1日-09:00|朝鮮| ||高句麗・安臧13年5月|<死去>高句麗王「安臧王」暗殺される
531年6月1日-09:00|朝鮮| ||高句麗・安臧13年5月|<即位>高句麗王「安原王」(~545年)
531年6月7日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年5月7日|丙子、荊州城民が趙脩延を斬り、首級を届けてきた/爾朱仲遠が都督魏僧昂らに命じ、東陽に崔祖?を討伐・斬殺させた
531年6月30日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年6月1日|己亥朔、日蝕が起こった
531年7月21日-08:00|中国| ||北魏・普泰1年6月22日|庚申、勃海王高歓が信都で挙兵/西の殷州を制圧して、刺史爾朱羽生を斬った
531年9月13日-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝第24代シャーンシャーン「カワード1世」
531年9月13日-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ササン朝第25代シャーンシャーン「ホスロ1世」(~579. 2死去)
531年10月30日-08:00|中国| ||北魏・中興1年10月5日|<即位>北魏第13代皇帝「安定王・後廢帝(元朗)」(~532. 6)中興(~532年4月)と改元
531年11月9日-08:00|中国| ||北魏・中興1年10月15日|辛亥、高歓が広阿で爾朱兆を大破
532年-03:30|イラン/トルコ| |||ササン朝とビザンティン帝が「永遠の和平」条約
532年1月11日-02:00|トルコ| |||ビザンツ/ニカの叛乱で約4万人の市民が虐殺された
532年1月13日-01:00|イタリア| |||<ニカの乱>東ローマ帝国首都コンスタンティノープルで皇帝ユスティニアヌス1世に対抗
532年1月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・法興王19年|新羅、金官加耶国を併吞
532年1月23日-09:00|日本|奈良県橿原市|継体26年1月1日|都を倭の勾金橋宮とする
532年2月8日-08:00|中国| ||北魏・中興2年1月17日|壬午、高歓はギョウを陥落させ、刺史劉誕を捕らえた

0600迄 (2180件)

532年4月28日-08:00|中国| ||北魏・中興2年閏3月8日|壬寅、爾朱兆は輕騎兵三千を率いてギョウ城を夜襲し、西門を攻撃したが勝利できずに退却

532年5月18日-08:00|中国| ||北魏・中興2年閏3月28日|壬戌、高歓は韓陵で爾朱天光ら四胡人を大破/前廢帝の鎮軍將軍賀拔勝と徐州刺史杜徳は戦場で投降/爾朱兆は并州に逃走/爾朱仲遠は東郡に逃走

532年5月20日-08:00|中国| ||北魏・太昌1年4月1日|甲子朔、斛斯椿らは河橋を占拠し、爾朱天光・爾朱度律を捕らえた/西北大行台長孫稚・都督賈顗智らは京師に入り、爾朱世隆・爾朱彥伯を捕らえて洛陽市街で斬刑、爾朱天光と爾朱度律を高歓の下に送致

532年6月6日-08:00|中国| ||北魏・太昌1年4月18日|<廢位>北魏第12代皇帝「節閔帝・前廢帝(元恭)」高歓により崇訓仏寺へ幽閉(普泰2年5月3日、門下外省で殺害された)

532年6月13日-08:00|中国| ||北魏・太昌1年4月25日|<即位>北魏第14代皇帝「孝武帝・出帝(元脩)」(~永熙3年閏12月15日(05350203)死去)太昌(12月)と改元

532年6月21日-08:00|中国| ||北魏・太昌1年5月3日|<廢位>北魏第13代皇帝「安定王・後廢帝(元朗)」(~同年11月14日、門下外省で殺害された享年35歳)

532年8月17日-08:00|中国| ||北魏・太昌1年7月|高歓、大都督の庫狄干は爾朱兆を攻撃、爾朱兆は秀容まで逃げた/ハル州は平定された

532年10月17日-01:00|パチン| ||<死去>第55代ローマ教皇「ホニファティウス2世」

533年1月2日-01:00|パチン| ||<就任>第56代ローマ教皇「ヨハネス2世」(~05350508死去)

533年1月11日-08:00|中国| ||北魏・永興1年12月|北魏の孝武帝が永興(-12月)と改元

533年1月11日-08:00|中国| ||北魏・永熙1年12月|北魏の孝武帝が永熙(-534年12月)と改元

533年2月10日-08:00|中国| ||北魏・永熙2年1月|高歓は爾朱兆を滅ぼした

533年9月13日-01:00|チュニジア| ||晩夏|ゲリメル王のヴァンダル王国軍はカルタゴの南10マイルの所で東ローマ軍と戦い(アド・デシムムの戦い)崩壊し、カルタゴを占領された

533年11月21日-01:00|イタリア| ||ローマ帝国の法律と法学説を集大成したユスティニアヌス法典が完成

533年11月30日-02:00|シリア・アラブ| ||シリアのアレクサンドリアで地震(M7.6)死者13万人(レバノンのバールベックの神殿建築群とベイルートが崩壊)

533年12月15日-01:00|チュニジア| ||ゲリメル王のヴァンダル王国軍はカルタゴから20マイルほどのカマロンで東ローマ軍と戦い敗れる

533年12月16日-01:00|イタリア| ||<施行>ユスティニアヌス帝が古法学者の学説を編纂させ「学説彙纂」

534年-05:30|インド| |||このころ、ヤショダールマンが中央インドでヒラウラを撃破

534年-04:00|ジョージア| ||<即位>イベリア王「パクリウス2世」ダチの息子(~547年)

534年-01:00|ベルギー/フランス/ドイツ/ルクセンブルグ/オランダ| ||<死去>フランク王国(メロヴィンギ朝)ランス王テウデリク1世→<即位>テウデバルト1世(~548年)

534年-01:00|イタリア| ||ビザンティン將軍ベリサリウスがコルシカ島などを占領

534年-01:00|スイス/フランス/ドイツ| ||フランク王国がブルグント王国を征服し消滅させる

534年 00:00|イギリス| ||<死去>ウェセックス王「チルデイッチ」

534年 00:00|イギリス| ||<死去>グウィネス王「Cadwallon Lawhir ap Einion」

534年 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド上王「トウアイル・マック・コルマイク」(~540年)

534年 00:00|イギリス| ||<即位>ウェセックス王「キョリッチ」(~560年死去)

534年 00:00|イギリス| ||<即位>ケント王「Eormenric」(~590年)

534年1月30日-09:00|日本|奈良県橿原市|安閑1年1月|都を大倭国の勾金橋に遷す

534年1月30日-08:00|中国| ||北魏・永熙3年1月|高歓が、河西にて伊利を攻撃し、これを捕らえた

534年3月-01:00|チュニジア/トルコ| ||<退位>ヴァンダル王国国王「ゲリメル」ローマに投降滅亡/コルシカ、東ローマ帝国領に

534年3月30日-08:00|中国| ||南梁・中大通6年3月|<即位>吐谷渾第16代可汗「可柰振」第15代可汗「仏輔」の子(~540年)

534年10月2日-01:00|イタリア| ||<死去>東ゴート王・イタリア王「アタリック」

534年10月2日-01:00|イタリア| ||<即位>東ゴート女王「アマランタ」テオダハドにクーデターを起こされて失脚)、王「テオダハット」(~536年12月没)

534年10月23日-08:00|中国| ||北魏・永熙3年10月|宇文泰は、潼関を攻撃し薛瑜を斬り長安へ戻る

534年11月8日-08:00|中国| ||東魏・天平1年10月17日|<即位>東魏第1代皇帝「孝静帝(元善見)」(~5500607退位)1才、天平(-537年12月)と改元(魏の東西分裂)、高歓は業への遷都を強行

534年12月-01:00|イタリア| ||<廢位>東ゴート女王「アマランタ」テオダハドにクーデターを起こされて失脚

534年12月29日-01:00|イタリア| ||<施行>ユスティニアヌス帝が編纂させた法典「勅法彙纂」全12巻(11月16日公布)

535年-05:30|インド| |||このころ、ヴァーカーカ朝滅亡

535年-01:00|クロアチア/トルコ| ||ダルマティアは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部(ダルマティア軍管区~810年)

535年-01:00|マルタ/トルコ| ||マルタは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部(~870年)

535年1月20日-09:00|日本|埼玉県行田市|安閑1年閏12月|ヤマト王権、武蔵国笠原直使主を国造とし小杵殺害

535年2月3日-08:00|中国| ||北魏・永熙3年閏12月15日|<死去>北魏第14代皇帝「孝武帝・出帝(元脩)」宇文泰により毒殺される/享年25才/北魏は東魏・西魏に分裂

535年2月3日-08:00|中国| ||北魏・永熙3年閏12月15日|<即位>西魏皇帝「文帝(元宝炬)」(~05510328死去)

535年2月18日-08:00|中国| ||西魏・大統1年|<即位>武興君主「恵王楊智慧」(~545年)

535年2月18日-08:00|中国| ||西魏・大統1年1月|宇文泰は儀同の李虎と李弼に靈州の曹泥を攻撃させ、曹泥は降伏

0600迄 (2180件)

535年2月18日-08:00|中国| ||西魏・大統1年1月|西魏皇帝「文帝(元宝炬)」大統(-551年12月)と改元
535年2月18日-08:00|中国| ||南梁・大同1年1月|梁の蕭衍が大同(-546年4月)と改元
535年2月18日-08:00|中国| ||東魏・天平2年1月1日|<即位>西魏第1代皇帝「中宗文帝(元宝炬)」(~551年3月28日)
535年3月20日-08:00|中国| ||東魏・天平2年2月|東魏の儀同三司婁昭が邕州を攻撃、東平を抜き、瑕丘を包圍、大野拔が樊子告を殺して降伏
535年4月18日-08:00|中国| ||東魏・天平2年3月|東魏の侯淵が造反/青州南郭を攻撃し、郡県を略奪
535年5月2日-08:00|中国| ||東魏・天平2年3月15日|辛酉、劉蠡升の北部王が劉蠡升を斬り殺して降伏、高歡は更に攻撃/南海王を捕らえ、華・夷併せて五万戸を併合
535年5月8日-01:00|パチン| ||<死去>第56代ローマ教皇「ヨハネス2世」
535年5月13日-01:00|パチン| ||<就任>第57代ローマ教皇「アガペトウス1世」(~05360422死去)
535年6月24日-09:00|日本|愛知県|安閑2年5月9日|尾張国に間敷屯倉・入鹿屯倉が設置された
535年12月31日-01:00|イタリア/トルコ| ||東ローマ将軍ベリサリウス、シリアを征服、シラクザ入城/ゴート戦争の始まり
536年-02:00|トルコ| ||ビザンティン帝ユスティニアヌスがコプト教信者を弾圧
536年-01:00|イタリア/トルコ| ||東ローマ将軍ベリサリウス、レッジョ、ナポリ征服
536年1月25日-09:00|日本| ||安閑2年12月17日|<死去>第27代天皇安閑天皇/70歳(誕生:(雄略)10(466))
536年1月26日-09:00|日本| ||安閑2年12月18日|<即位>第28代宣化天皇/都を檜隈の廬入野に遷す
536年2月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・建元1年|新羅の第23代法興王が建元(-550年末)と改元
536年2月8日-08:00|中国| ||東魏・天平3年;西魏・大統2年1月|高歡は自ら万騎を率いて西魏の夏州を攻撃/夏州城へ侵入し刺史の斛拔俄彌突を捕らえる
536年2月8日-08:00|中国| ||東魏・天平3年;西魏・大統2年1月|西魏の靈州刺史曹泥が、婿の涼州刺史劉豊と共に東魏へ降伏
536年4月22日-01:00|パチン| ||<死去>第57代ローマ教皇「アガペトウス1世」
536年6月8日-01:00|パチン| ||<就任>第58代ローマ教皇「シルウェリウス」(~05370311追放)
536年12月1日-01:00|イタリア| ||初旬<死去>東ゴート王「テオダハド」殺害される
536年12月1日-01:00|イタリア| ||初旬<即位>東ゴート王「ウイティギス」(~540年5月東ローマ帝国に降伏)
537年-01:00|フランス| ||フランク王国が東ゴート王国からアラン残部とプロヴァンスを獲得
537年-01:00|リヒテンシュタイン/フランス| ||リヒテンシュタインはフランクの支配下(~916年)
537年 00:00|イギリス| ||<即位>ビクトワ王「Cailtram」(~538年)
537年1月27日-09:00|日本|群馬県富岡市|宣化2年|妙義神社創建(妙義町)
537年3月11日-01:00|パチン| ||<追放>第58代ローマ教皇「シルウェリウス」
537年3月29日-01:00|パチン| ||<就任>第59代ローマ教皇「ウイゲリウス」(~05550607死去)
537年8月22日-08:00|中国| ||西魏・大統3年;東魏・天平4年8月|宇文泰は李弼等十二将へ東魏討伐を命じた/先鋒の北朔州刺史于謹は磐豆を攻撃し抜いた/庚寅、恒農を抜き、東魏の陝州刺史李徽伯を捕らえる/楊標は拳兵、シヨ郡を攻略
537年9月20日-08:00|中国| ||東魏・天平4年9月|柔然が東魏の三堆へ侵入し高歡がこれを撃退
537年11月18日-09:00|韓国/日本| ||宣化2年10月|新羅が、任那に侵入したので大伴狭手彦を遣わし任那を助ける
537年11月18日-08:00|中国| ||東魏・天平4年;西魏・大統3年10月|東魏軍は大敗/西魏の行台の宮景寿等が洛陽へ向かったが東魏の洛州大都督韓賢が撃破
537年12月18日-08:00|中国| ||西魏・大統3年;東魏・天平4年11月|是云寶は、東魏の陽州刺史那椿を殺し、州ごと西魏へ降伏/西魏の都督韋孝寛が、東魏の豫州を攻撃して抜いた
537年12月27日-02:00|トルコ| ||ユスティニアヌス1世がコンスタンチノブルに聖ソフィア寺院を建設
538年-02:00|エジプト| ||ユスマスの「キリスト教徒世界地誌」がアレクサンドリアで刊
538年 00:00|イギリス| ||<就任>ゲウイ王「Cerdic」建国(~554年死去)
538年 00:00|イギリス| ||<即位>ビクトワ王「Talorc2世」(~549年)
538年1月16日-08:00|中国| ||東魏・天平4年;西魏・大統3年12月|西魏の行台楊白駒と、東魏の陽州刺史段粲が戦い、西魏が破れた
538年2月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・聖王16年春|百済の聖王が王都を錦江の中流の泗比(サズイ)に比)に移す/国号を南扶餘と変える
538年2月15日-08:00|中国| ||東魏・元象1年;西魏・大統4年|東魏の大都督賀拔仁が、西魏の南汾州を攻撃、刺史韋子粲は降伏/廬勇軍は大隗山で西魏軍と戦い西魏軍が大敗北/南汾、潁、豫、廣の四州は、再び東魏の版図へ入った
538年2月15日-08:00|中国| ||東魏・元象1年1月|東魏の孝静帝が元象(-539年11月)と改元
538年9月10日-08:00|中国| ||西魏・大統4年;東魏・元象1年8月|西魏軍は東魏軍を撃破、大勝利
538年11月19日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||宣化3年10月12日|仏教公伝/百済聖明王が仏像・経典を献上
539年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Dathappabhuti」Silakalaの次男(~540年)
539年-01:00|イタリア| ||<死去>ランゴバルド王「Wacho」
539年-01:00|イタリア| ||<即位>ランゴバルド王「Waltari」Wachoの息子(~546年死去)
539年-01:00|イタリア| ||トリエステは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部(~752年)
539年-01:00|クロアチア/トルコ| ||フィウメは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部
539年-01:00|フランス/ドイツ| ||フランク王国テウゲベルト、東ゴート王国と東ローマ帝国に戦勝/ハイルンに従属させる
539年1月6日-08:00|中国| ||西魏・大統4年;東魏・元象1年12月|西魏の是云宝が洛陽を襲撃し、東魏の洛州刺史

0600迄 (2180件)

王元軌は城を棄てて逃げる/西魏の都督趙剛は廣州を襲撃して抜いた/襄、廣以西の土地は、再び西魏の領土となった

539年3月15日-09:00|日本| ||宣化4年2月10日|<死去>第28代天皇宣化天皇/73歳(誕生467年)
539年11月27日-08:00|中国| ||東魏・興和1年11月|東魏の孝静帝が興和(-542年12月)と改元
539年12月30日-09:00|日本| ||宣化4年12月5日|<即位>第29代「欽明天皇」(~571年)都を磯城郡の磯城嶋に置く
540年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Moggallana2世」Dathappabhutiの長兄(~560年)
540年-05:30|インド| ||<即位>グプタ朝「ウ・イシュヴァタ」(~550年)
540年-05:30|インド| ||<即位>チャルヤ朝マハラジャ「Pulakeshin1世」(~567年)
540年-05:30|インド| ||<即位>パラヴァ朝君主「Kumaravishnu3世」(~550年)
540年-04:00|ジョージア/イラン| ||<就任>ササン朝イバ・マルズ・バン「アルヴァント・グシュアスプ」(~541年)
540年-04:00|アルメニア| ||<即位>ガートマン公(ミヘニド朝)「ヴァルダン1世」(~570年)
540年-04:00|アルメニア| ||<即位>ゴガレーネ公(ミヘニド朝)「アルシュニャ4世」(~608年)
540年-03:30|イラン/トルコ| ||ハルハスロ1世がアンティキアを占領、ヒザンティンと戦闘
540年 00:00|イギリス| ||<建国>ホイス王国
540年 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド上王「デアマイト・マック・セルバイル」(~565年)
540年 00:00|イギリス| ||<即位>ケリウシング王「Penychen」(~580年)
540年5月-01:00|イタリヤ| ||<即位>東ゴート対立王「イルデハルト」(~541年5月、饗宴の合間にゲピト族の一人に殺害される)
540年5月-01:00|イタリヤ| ||<退位>東ゴート王「ウティギス」東ローマ帝国に降伏首都ラヴェンナを無血開城
540年5月-01:00|イタリヤ/トルコ| ||イタリヤ半島の大部分が東ローマ(ヒザンティン)帝国の一部(~05690903)
540年7月20日-09:00|日本|愛知県津島市|欽明1年6月1日|津島神社創建
540年8月18日-09:00|韓国| ||新羅・建元5年7月|<死去>新羅王「法興王」
540年8月18日-09:00|韓国| ||新羅・建元5年7月|<即位>新羅王「真興王」(~576年)
540年8月31日-09:00|日本|奈良県桜井市|欽明1年7月14日|都を磯城島金刺宮とする
540年10月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・安原10年9月|百済が攻め入ってきて牛山城を包囲、精兵5千を派遣してこれを撃退
541年-04:00|ジョージア/イラン| ||<就任>ササン朝イバ・マルズ・バン「ウエザン・ブスミル」(~?)
541年-04:00|ジョージア| ||<即位>ラカ王「グバゼス2世」(~555年)
541年2月11日-08:00|中国| ||吐谷渾・夸呂1年|<即位>吐谷渾第17代可汗「夸呂」第14代可汗「伏連壽」の子(~591年)
541年5月-01:00|イタリヤ| ||<死去>東ゴート対立王「イルデハルト」饗宴の合間にゲピト族の一人に殺害される
541年5月-01:00|イタリヤ| ||<即位>東ゴート対立王「エリウス」イルデハルトの親族、トティラの従兄弟(~9月殺害される)
541年9月-01:00|イタリヤ| ||<死去>東ゴート対立王「エリウス」殺害される
541年9月-01:00|イタリヤ| ||<即位>東ゴート対立王「トティラ」(~05520701没)
542年-03:00|スウェーデン| ||このころスウェーデン王国が三つに分裂
542年 00:00|イギリス| ||<死去>ダリアタ王「Comghall mac Domangairt」
542年 00:00|イギリス| ||<即位>ダリアタ王「Garban mac Domangairt」(~558年死去)
542年 00:00|ヨーロッパ| ||黒死病(ペスト)の、ヨーロッパで最初の大流行がはじまる
542年1月2日-07:00|ベトナム/中国| ||南梁・大同7年12月|德州監の地位にあった李賁は交州の人士を集めて起兵
542年2月1日-08:00|中国| ||東魏・興和4年|<即位>陰平君主「楊太赤」(~564年)
542年2月1日-07:00|ベトナム/中国| ||南梁・大同8年春|李賁らは交州の治所である龍編を占領して根拠地とした/
李賁らは梁の支配下にあった交州と德州の地域(現在のベトナム北部)をほぼ制圧
543年-05:30|インド| ||<即位>チャルヤ朝国王「プラーセン1世」南インドで建国(~567年)
543年1月21日-08:00|中国| ||東魏・武定1年1月|東魏の孝静帝が武定(-550年5月)と改元
543年3月-01:00|イタリヤ| ||春|東ゴート王トティラがナポリを奪還
543年3月21日-08:00|中国| ||西魏・大統9年|東魏・武定1年2月|東魏の高仲密が虎牢関にて、西魏へ降伏/宇文泰は、諸軍を率いて洛陽へ入り、于謹へ柏谷を攻撃させて抜いた
543年4月20日-08:00|中国| ||東魏・武定1年|西魏・大統9年3月|黎明、宇文泰軍と高歡軍が遭遇/東魏の彭樂が西魏軍の本営まで突入、大勝利/翌日、再戦し宇文泰軍が東魏に大勝利/東魏軍はその後勢力を盛り返し西魏軍は遂に逃げ出した
543年5月19日-07:00|ベトナム| ||南梁・大同9年4月|南ベトナムのチャン王国が李賁を攻撃したが李賁の部下の范修が德州でこれを撃破
543年8月16日-08:00|中国| ||西魏・大統9年7月|西魏は測量単位を変更
544年2月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・建元9年|新羅が興輪寺を建立
544年2月9日-07:00|ベトナム| ||万春・天徳1年1月|<即位>前李朝国王「李賁」南越帝を自称(~5480413死去)天徳と改元(-548年)、国号を「万春」とした
544年6月6日-08:00|中国| ||南梁・大同10年5月|広州において廬子略、杜僧明、周文育ら叛乱/陳霸先、これと戦い平定
545年1月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・建元10年|新羅が「国史」を編纂
545年1月28日-08:00|中国| ||東魏・武定3年|<即位>武興君主「理王楊辟邪」(~553年)
545年3月29日-09:00|朝鮮| ||高句麗・安原15年3月|<死去>高句麗王「安原王」
545年3月29日-09:00|朝鮮| ||高句麗・安原15年3月|<即位>高句麗王「陽原王」(~559年)

0600迄 (2180件)

545年5月27日-07:00|ベトナム/中国| ||南梁・大同11年;万春・天徳2年5月|梁の交州刺史楊髡・陳霸先・定州刺史蕭勃らの軍隊が、前後して朱鳶県と蘇歴河口に展開して、李賁を撃破/梁軍の包囲下に陥った李賁は嘉寧城に退いた

546年-08:00|モンゴル/トルコ| ||テュルクのアシ氏ブミンがジュンガリアの鉄勒を破り、高車丁零を併合して独立

546年-01:00|イタリヤ| |||<死去>ランゴバルト王「Waltari」

546年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ランゴバルト王「アウドゥイン」(~560年)

546年2月16日-07:00|ベトナム/中国| ||南梁・大同12年;万春・天徳3年1月|梁軍が嘉寧城を攻め落とすと、李賁は屈リョ洞の少数民族のもとに逃亡

546年5月16日-08:00|中国| ||南梁・中大同1年4月|梁の蕭衍が中大同(-547年4月)と改元

546年6月14日-08:00|中国| ||西魏・大統12年5月|独孤信が攻撃を開始、戦闘に勝利し宇文仲和を捕らえた/令狐整は賊軍を襲撃、晋昌を襲撃して呂興を斬り、瓜州へ進軍/張保は吐谷渾へ逃げた

546年10月11日-07:00|ベトナム/中国| ||南梁・大同12年;万春・天徳3年9月|李賁は2万人を率いて典澈湖一帯に駐屯し、戦艦を製造していたが、陳霸先の指揮する部隊からの夜襲を受け、敗走して再び屈リョ洞に逃げ込んだ

546年12月-01:00|イタリヤ| |||東ゴート王トティラがローマを落とし、一時的にゴート軍を優位に導いた

547年-04:00|ジョージア| |||<即位>イリア王「ファラヌス5世」パクリウス2世の息子(~561年)

547年 00:00|イギリス| |||<死去>ゲウネス王「Maelgwn Hir ap Cadwallon」

547年 00:00|イギリス| |||<即位>ゲウネス王「Rhun Hir ap Maelgwn」(~586年死去)

547年 00:00|イギリス| |||<即位>デアウ王「Ida Eoppan sunu」(~559年死去)

547年2月6日-07:00|ベトナム/中国| ||南梁・中大同2年|李賁の兄天宝、愛州九眞にて李紹隆とともに挙兵し德州刺史陳文戒を殺し愛州を攻める/陳霸先、これと戦い平定

547年5月5日-08:00|中国| ||南梁・太清1年4月|梁の蕭衍が太清(-549年12月)と改元

548年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツパン「ゲシュナス・パフラム」(2期目~552年)

548年-01:00|スペイン| |||<死去>西ゴート王国国王「テウデイス」暗殺

548年-01:00|ベルギー/フランス/ドイツ/ルクセンブルグ/オランダ| |||<死去>フランク王国(メロヴィンギ朝)ランス王テウデバルト1世-><即位>テウデバルト(~555年)

548年-01:00|スペイン| |||<即位>西ゴート王国国王「テウデイス」(~549年)

548年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||ババイエル公国建国<即位>ガリバルト1世(~595年)

548年1月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・陽原4年|百済の独山城を攻めるが新羅の朱珍が救援に来たために退却

548年1月26日-08:00|中国| ||高昌・章和18年|<即位>高昌国王「高昌王麹玄喜」(~550年)

548年1月26日-08:00|中国| ||東魏・武定6年1月|造反した侯景軍は鎮圧され、侯景は梁へ亡命

548年4月13日-07:00|ベトナム| ||万春・天徳5年3月20日|<死去>前李朝国王「李賁」

548年4月13日-07:00|ベトナム| ||万春・天徳5年3月20日|<即位>前李朝国王「桃郎王李天宝」残党2万人を集めて九真郡にいたり、梁に対する抵抗を続けた(~571年死去)、趙越王趙光復、梁軍を破る(~555年死去)

548年9月18日-08:00|中国| ||南梁・太清2年8月|侯景が梁に対し反乱

548年11月18日-08:00|中国| ||南梁・太清2年10月3日|庚寅、決起した侯景は焦州を攻略

548年12月5日-08:00|中国| ||南梁・太清2年10月20日|丁未、侯景は歴陽太守莊鉄を攻撃し莊鉄は降伏

548年12月16日-08:00|中国| ||南梁・太清2年11月|<即位>梁皇帝「臨賀王正徳」儀賢堂にて、帝位僭称(~549.3廃位)、正平と改元

549年-08:00|中国| |||<即位>高昌国王「麹玄喜」[麹堅の子](~550年)

549年-01:00|スペイン| |||<死去>西ゴート王国国王「テウデイス」暗殺される

549年-01:00|スペイン| |||<即位>西ゴート王国国王「アギラ1世」(~554年3月暗殺される)

549年-01:00|スペイン| |||西ゴート王国メリダに遷都

549年-01:00|イタリヤ| |||東ゴート王トティラがコルシカを征服

549年 00:00|イギリス| |||<即位>ドレスト王「Drest5世」(~550年)

549年2月13日-08:00|中国| ||高昌・永平1年|高昌の麹玄喜が永平(-550年)と改元

549年4月13日-08:00|中国| ||南梁・太清3年3月|侯景の手で梁の都・建康は陥落し、武帝は台城に幽閉、侯景が蕭正徳を廃した

549年4月13日-08:00|中国| ||東魏・武定7年;南梁・太清3年3月|東徐州刺史湛海珍と北青州刺史王奉伯は東魏へ降伏/直閣將軍羊海は手勢ごと東魏へ降伏/東魏は梁の淮陰を占領

549年6月12日-08:00|中国| ||南梁・太清3年5月2日|<死去>梁第1代皇帝「高祖武帝(蕭衍)」/享年86

549年6月12日-08:00|中国| ||南梁・太清3年5月2日|<即位>梁第2代皇帝「太宗簡文帝(蕭綱)」(~551年11月15日)

549年7月11日-08:00|中国| ||東魏・武定7年;西魏・大統15年6月|東魏は、西魏の潁川を陥とす

549年8月9日-08:00|中国| ||南梁・太清3年7月|陳霸先、成州刺史王懷明、行台選郎殷外臣らとともに南海郡に挙兵/元景仲を討つ/蘭裕、蘭京礼らが叛乱するとこれを平定

549年12月5日-08:00|中国| ||東魏・武定7年;南梁・太清3年11月|東魏が司州を襲撃、司州刺史の夏侯強は降伏/梁の淮南地方は全て東魏に占領された

550年-07:00|カンボジア| |||<即位>扶南王「フヴァイクアアルマン1世」(~600年)

550年-07:00|カンボジア| |||<即位>チェンラ王「シュルタウアルマン」クメール族の真臘が独立(~555年)

550年-05:30|インド| |||<建国>チャンハ国

550年-05:30|インド| |||<即位>ハヴァガ朝君主「Simhavarman3世」(~575年)

550年-05:30|インド| |||ケブタ朝が滅ぶ

0600迄 (2180件)

550年-01:00|スペイン| ||<即位>ガルス王「Chararic」(~558年死去)
550年 00:00|イギリス| ||<即位>ダウイェト王「Cyngar ap Gwrthefyr」
550年 00:00|イギリス| ||<即位>ビクタ王「Galam Cennalath」(~555年)
550年1月-01:00|イタリヤ| ||東ゴート王トテラがローマ占領
550年2月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・建元15年;高句麗・陽原6年|百済に道薩城を陥落させられ、逆に百済の金?城を攻撃しているあいだに二城とも新羅に奪われた
550年2月2日-08:00|中国| ||高昌・永平2年|<即位>高昌国王「高昌和平王」(~555年)
550年2月2日-07:00|ベトナム/中国| ||南梁・大寶1年|梁朝が侯景の乱のために混乱すると、陳霸先の軍は北上し、交州近隣に軍事的空白が生まれたため、前李朝は北ベトナムでの勢力を回復
550年2月2日-08:00|中国| ||南梁・大寶1年1月|陳霸先、始興より発つ/蔡路養軍南野に出陣しこれと対峙するも大敗し、陳霸先南康に進む
550年3月4日-08:00|中国| ||南梁・大寶1年2月|侯景は侯子鏡へ八千の水軍を与えて廣陵へ派遣し、自らは一万の兵を率いて後続となった/侯子鏡は三日間の攻撃で廣陵を落とした
550年4月2日-08:00|中国| ||南梁・大寶1年3月|臨川内史の始興王毅等が莊鉄を攻撃、番陽王範が麾下の將侯沙を莊鉄のもとへ派遣し、始興王は敗死/番陽世子は三章にて任約と戦い三章を占領
550年5月31日-08:00|中国| ||北齊・天保1年5月|任約軍は邵陵王綸へ向かって進軍/邵陵王は任約軍を襲撃させ、任約軍は敗北したが、敗残兵をかき集めて將思安軍を襲撃し破った
550年5月31日-08:00|中国| ||北齊・天保1年5月|番陽王が死ぬと、侯真は莊鉄を殺して豫章にて自立/任約の軍が来襲し番陽世子はこれと戦って戦死/任約は尋陽王を攻撃し、尋陽王は敗北、任約へ降伏/侯真是于慶に攻撃されて降伏
550年6月7日-08:00|中国| ||東魏・武定8年5月8日|<退位>東魏皇帝「孝静帝(元善見)」東魏が滅びる
550年6月11日-08:00|中国| ||北齊・天保1年5月12日|<即位>北齊第1代皇帝「顯祖文宣帝(高洋)」(~559年10月)/天保(-559年12月)と改元
550年6月30日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・陽原6年;北齊・天保1年6月|高句麗が北齊に遣使、高麗王を受けられる
550年9月27日-08:00|中国| ||南梁・大寶1年9月|任約が西陽・武昌へ進攻し邵陵王の軍を蹴散らして占領
550年11月25日-08:00|中国| ||北齊・天保1年11月|河南は洛陽以東、河北は平陽以東が、全て齊の領土となった
551年-01:00|スペイン| ||<即位>西ゴート王国対立国王「アタギルト」(⇒554. 3単独王~567. 12死去)
551年-01:00|イタリヤ| ||東ゴート王トテラがコルシカ・サルデーニャ占領
551年1月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・開国1年;高句麗・陽原7年|突厥が侵入してきて新城、次いで白巖城を攻撃され防戦して突厥を追い払ったが、その間に新羅に十城を奪われた
551年1月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・聖王29年;高句麗・陽原7年|百済・新羅・任那が高句麗と戦い、百済が旧都漢城など6郡を回復
551年1月23日-08:00|中国| ||高昌・和平1年|高昌国王「高昌和平王」和平(-554年)と改元
551年1月23日-08:00|中国| ||柔然・阿那瓌の32年|鉄勒が柔然を攻撃しようとしたが、突厥の酋長土門が、これを攻撃して破った/鉄勒は、全て降伏/土門は柔然との国交を断絶
551年1月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・開国1年1月|新羅の第24代眞興王が開国(-568年)と改元
551年3月23日-08:00|中国| ||南梁・大寶2年閏2月|任約は齊安を攻撃させ守る定州刺史田龍租を撃破/侯景軍は西陽へ到着し徐文盛に撃破され侯景は軍営まで逃げ帰った/丙午、侯景は徐文盛軍を追い越して江夏へ入り勝利
551年3月28日-08:00|中国| ||西魏・大統17年3月6日|<死去>西魏初代皇帝「中宗文帝(元宝炬)」
551年3月28日-08:00|中国| ||西魏・大統17年3月6日|<即位>西魏第2代皇帝「廢帝(元欽)」(~恭帝元年1月(554年)廢位~4月毒殺される)
551年7月8日-02:00|ギリシャ| ||ギリシャで地震(M7.1)死者4000人
551年7月19日-08:00|中国| ||南梁・大寶2年6月|任約は胡僧裕と陸法和に襲撃され大敗
551年8月5日-08:00|中国| ||南梁・大寶2年6月18日|庚申、王僧弁は魯山を攻撃、支化仁を捕らえて江陵へ送る
551年8月6日-08:00|中国| ||南梁・大寶2年6月19日|辛酉、郢州を攻めて羅城を陥す/周鉄虎が、宋子仙と丁和を生け捕りにし江陵へ送って処刑
551年9月16日-08:00|中国| ||南梁・天正1年8月|<即位>梁第3代皇帝「廢帝豫章王(蕭棟)」(~10月)、天正(-11月)と改元
551年9月16日-08:00|中国| ||南梁・天正1年8月|<廢位>梁第2代皇帝「太宗簡文帝(蕭綱)」
551年9月16日-08:00|中国| ||南梁・天正1年8月|王僧弁は、侯景麾下の于慶軍を襲撃し于慶は郭默城を捨てて逃げ、范希榮も尋陽城を捨てて逃げた
551年11月14日-08:00|中国| ||南梁・天正1年10月|<即位>漢第1代皇帝「侯景」(~太始2年(552年)3月)太始(-552年3月)と改元
551年11月15日-08:00|中国| ||南梁・天正1年10月2日|梁第2代皇帝「太宗簡文帝(蕭綱)」は侯景の手の者によって身体の上に大量の土囊を積まれて圧死させられた
552年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツバン「タンニャフール」(~560年)
552年-04:00|アゼルバイジャン/アルメニア| ||サウール・ハザール族、アルバニア(現在のアゼルバイジャン)に侵入する
552年-01:00|ジブラルタル/トルコ| ||ジブラルタルは東ローマ帝国の一部
552年2月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・陽原8年|この年、新羅、高句麗の漢城地方を奪取
552年2月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・陽原王8年|百済の熊川城を攻撃したが勝てなかった

0600迄 (2180件)

552年2月11日-08:00|中国/トルコ| ||柔然・鉄伐1年1月|<死去>柔然第12代可汗「敕連頭兵豆伐可汗(阿那𐰽)」自殺
552年2月11日-08:00|中国/トルコ| ||柔然・鉄伐1年1月|<即位>柔然可汗国「郁久閭鄧叔子」阿那𐰽の叔父(555年処刑)
552年2月11日-08:00|中国/トルコ| ||柔然・鉄伐1年1月|<即位>柔然第13代可汗「郁久閭鉄伐」登注の次子(554年3月敗戦逃亡)
552年2月11日-08:00|中国| ||西魏・廢帝1年1月|<即位>突厥可汗国第1代可汗「伊利可汗(イリク・カガン、土門、ブミカガン)」柔然から独立(553年)
552年2月11日-08:00|中国| ||北齊・天保3年1月|北齊の文宣帝は、庫莫奚を攻撃して、大勝利
552年3月15日-08:00|中国| ||南梁・天正2年2月5日|癸卯、王僧弁の命令を受けた侯真是南陵・鵠頭の二砦を襲撃し戦勝占領
552年4月10日-08:00|中国| ||南梁・天正2年3月|<死去>漢第1代皇帝「侯景」
552年4月18日-08:00|中国| ||南梁・天正2年3月9日|丁丑、江中にて合戦が起こり王僧弁軍に侯子鑑軍は大敗/侯景軍は大敗
552年5月9日-09:00|日本| ||欽明13年4月|<死去>箭田珠勝大兄皇子(不明)欽明天皇の王子
552年5月9日-08:00|中国| ||北齊・天保3年;南梁・天正2年4月|齊帝の命令を受けて、大都督潘樂と郭元建が、五万の兵力で陽平を攻撃し抜いた
552年5月9日-08:00|中国| ||西魏・廢帝1年;南梁・天正2年4月|楊乾運は劍閣の北へ進軍、西魏の達奚武はこれを迎撃し白馬にて大いに破る
552年5月9日-08:00|中国| ||南梁・天正2年4月|羊昆が侯景を刺し殺した
552年5月16日-08:00|中国| ||南梁・天正2年4月8日|乙巳、梁の蜀の武陵王蕭紀が皇帝を潜称
552年6月8日-08:00|中国| ||西魏・廢帝1年5月|劍北は全て西魏の領土となった
552年6月8日-08:00|中国| ||南梁・天正2年;北齊・天保3年5月|北齊の辛術、郭元建ら秦郡を攻撃/陳霸先、麾下の徐度に守らせ、自ら北齊軍と交戦、北齊軍敗走
552年7月1日-01:00|イタリヤ| ||<死去>東ゴート対立王「ト・ティウ」𐌿𐌺𐌰𐌹の戦いで戦死
552年7月1日-01:00|イタリヤ| ||<即位>東ゴート対立王「ティウ」(510月戦死)
552年7月1日-01:00|イタリヤ/トルコ| ||夏|東ローマ帝国將軍カセーテはラヴェンナを落とし、𐌿𐌺𐌰𐌹の戦いで東ゴート軍を殲滅
552年10月-01:00|イタリヤ/トルコ| ||<死去>東ゴート対立王「ティウ」ローマ軍に敗れ戦死、東ゴート王国滅亡、イタリヤはローマ皇帝の領域に戻る
552年11月14日-09:00|日本/中国| ||欽明13年10月13日|仏教伝来
552年12月13日-08:00|中国| ||南梁・承聖1年11月12日|<即位>梁第4代皇帝「世祖孝元帝(蕭繹)」(555年1月27日)、承聖(555年4月)と改元
553年-02:00|トルコ| ||中央アジアから養蚕技術がヒザンティンに伝来
553年-01:00|モロコ/トルコ| ||モロコは東ローマ(ヒザンティン)帝国の一部(568年)
553年1月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・開国3年;百済・聖王31年|百済が高句麗から取り戻したばかりの漢山城を含む一帯を奪い漢江流域に新州を設置
553年3月1日-08:00|中国| ||柔然・庫提1年2月|<死去>柔然第13代可汗「郁久閭鉄伐」契丹に殺された
553年3月1日-08:00|中国| ||突厥・乙息記1年2月|<死去>突厥可汗国第1代可汗「伊利可汗(イリク・カガン、土門、ブミカガン)」
553年3月1日-08:00|中国| ||柔然・庫提1年2月|<即位>柔然第14代可汗「郁久閭登注」阿那𐰽の従弟/すぐに殺された⇒<即位>柔然第15代可汗「郁久閭庫提」登注の子(553年11月廃位)
553年3月1日-08:00|中国| ||突厥・乙息記1年2月|<即位>突厥可汗国第2代可汗「乙息記可汗(科羅、逸可汗)」(553年)…伊利可汗の子
553年3月30日-08:00|中国| ||突厥・乙息記1年3月|<死去>突厥可汗国第2代可汗「乙息記可汗(科羅、逸可汗)」
553年3月30日-08:00|中国| ||突厥・乙息記1年3月|<即位>突厥可汗国第3代可汗「木汗可汗(ムンカガン、俟斤、燕都)」(572年)乙息記可汗の弟
553年3月30日-08:00|中国| ||突厥・乙息記1年;柔然・庫提1年3月|突厥の乙息記は、柔然の残党柔然可汗国「郁久閭鄧叔子」を沃野にて撃破し叔子、敗走
553年5月26日 06:00|ロシア| ||<即位>コハノ王「月ジヤガー」(505781026)
553年7月26日-08:00|中国| ||南梁・承聖2年7月|武陵王蕭紀、益州より江陵に攻め上るも途上にて敗死
553年8月25日-08:00|中国| ||西魏・廢帝2年;南梁・承聖2年8月|西魏の尉遲迥、蜀地方に侵攻しこれを平定
553年10月23日-08:00|中国| ||南梁・承聖2年;北齊・天保4年閏9月|侯真と、郭元建が東関で戦い、北齊軍は大敗
553年11月21日-08:00|中国| ||突厥・乙息記1年11月|<即位>柔然第16代可汗「郁久閭菴羅辰」阿那𐰽の子(554年4月敗戦逃亡)
553年11月21日-08:00|中国| ||突厥・乙息記1年11月|<廃位>柔然第15代可汗「郁久閭庫提」
554年-01:00|スペイン| ||西ゴート王国東ローマ帝国の攻撃にあいイバニア南部を喪失
554年-01:00|イタリヤ/トルコ| ||東ローマ帝国、東ゴート王国の残党を制圧。イタリヤ全土を領域に
554年 00:00|イギリス| ||<死去>ゲウゼ王「Cerdic」
554年 00:00|イギリス| ||<即位>ゲウゼ王「Cynric」(581年死去)
554年2月18日-08:00|中国| ||西魏・恭帝1年1月|<即位>西魏第3代皇帝「恭帝(元廓)」(556年12月に宇文護に迫られて、周公宇文覺に帝位を禅譲)
554年2月18日-08:00|中国| ||西魏・恭帝1年1月|<廃位>西魏第2代皇帝「廢帝(元欽)」宇文泰により(4月毒殺される)

0600迄(2180件)

554年3月-01:00|スヘイン| |||<死去>西ゴート王国国王「アギラ1世」暗殺される
554年3月-01:00|スヘイン| |||<即位>西ゴート王国国王「アタタルト」(~567.12死去)
554年4月18日-08:00|中国| ||南梁・承聖3年;北齊・天保5年3月|北齊の將軍王球が宿預を攻撃/杜僧明は、出撃して大勝利
554年5月17日-08:00|中国| ||柔然・菴羅辰2年4月|<退位>柔然第16代可汗「郁久閭菴羅辰」齊・文宣帝によって討たれ子とともに北へ逃れた
554年5月17日-08:00|中国| ||北齊・天保5年;柔然・菴羅辰2年4月|柔然が北齊の肆州へ入寇、北齊帝が親征し柔然は敗走/北齊帝が派遣した都督の高阿那肱は大勝利
554年8月14日-09:00|韓国| ||百濟・聖王32年;新羅・真興王15年7月|<死去>百濟王「聖明王」新羅と管山城で戦っている最中に狗川で伏兵に襲われ戦死
554年8月14日-09:00|韓国| ||百濟・威徳王1年7月|<即位>百濟王「威徳王」(~598年)
554年11月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||百濟・威徳王1年;高句麗・陽原王10年10月|高句麗は熊川城に侵攻してきたがこれを撃退
554年12月10日-08:00|中国| ||西魏・恭帝1年;南梁・承聖3年11月|西魏軍、江陵に侵攻/江陵陥落し、元帝囚われる
555年-07:00|カンボジア| |||<即位>チェンラ王「シュレシュタ・ヴァルマン2世」(~560年)
555年-01:00|ベルギー/フランス/ドイツ/ルクセンブルグ/オランダ| |||<死去>フランク王国(メロヴィング朝)ランス王テウデバルト→ランスはロソ王クロタール1世に渡る
555年-01:00|フランス| |||<即位>アキタニ王(メロヴィング朝)「Chram」(~560年)
555年-01:00|ドイツ| |||<即位>ハイルン公ガリガアルト1世(~591年)
555年 00:00|イギリス| |||<即位>ヒコト王「Bruide mac Mailcon(Bridei1世)」(~584年死去)
555年1月27日-08:00|中国| ||西魏・恭帝1年12月19日|<死去>梁第4代皇帝「世祖孝元帝(蕭繹)」西魏軍に殺される
555年1月27日-08:00|中国| ||西魏・恭帝1年12月19日|<即位>梁第5代皇帝「敬帝(蕭方智)」(~555年7月1日)
555年2月7日-08:00|中国| ||柔然・登叔子1年|<死去>柔然可汗国「郁久閭鄧叔子」突厥に処刑される
555年2月7日-08:00|中国| ||高昌・建昌1年|<即位>高昌国王「高昌王麹寶茂」(~561年)建昌(-560年)と改元
555年2月7日-07:00|ベトナム| ||南梁・承聖4年|<死去>前李朝国王「桃郎王李天宝」病死
555年2月7日-07:00|ベトナム| ||南梁・承聖4年|<即位>前李朝国王「後李南帝李仏子」分割統治(⇒571年単独統治~602年死去)
555年2月7日-08:00|中国| ||後梁・大定1年1月|<即位>後梁第1代皇帝「中宗宣帝(蕭玪)」13歳(~562年)元号を大定と定めて自立
555年4月7日-08:00|中国| ||北齊・天保6年3月|北齊の軍司尉瑾と儀同三司蕭軌が皖城を落とす/晋州刺史蕭惠が州ごと降伏/丙戌、北齊は東閩を征服
555年6月7日-01:00|パチン| |||<死去>第59代ローマ教皇「ウイゲリウス」
555年7月1日-08:00|中国| ||南梁・天成1年5月27日|<即位>梁第6代皇帝「閔帝蕭淵明」(~10月29日)天成(-10月)と改元
555年7月5日-08:00|中国| ||北齊・天保6年;柔然・登叔子1年6月|北齊帝が柔然を親征/北齊帝自ら矢石を犯して戦い、大勝利
555年10月2日-08:00|中国| ||南梁・天成1年9月|梁の陳霸先、王僧弁を囚え同日処刑
555年10月29日-08:00|中国| ||南梁・天成1年9月29日|<即位>梁第5代皇帝「敬帝(蕭方智)」(~557年11月16日)、紹泰(-556年8月)と改元
555年10月29日-08:00|中国| ||南梁・天成1年9月29日|<廃位>梁第6代皇帝「閔帝蕭淵明」
555年11月30日-08:00|中国| ||南梁・紹泰1年;北齊・天保6年11月|北齊、姑熟に侵攻/北齊、また建康を攻めるが敗走/徐嗣徽ふたたび建康に迫り冶城寺を攻めるが陳霸先、これを迎撃大破
555年12月29日-08:00|中国| ||南梁・紹泰1年;北齊・天保6年12月|陳霸先、淮水沿岸にて柳達磨らと戦い大破/援軍、北齊より来襲し陳霸先これを大破
555年12月29日-08:00|中国/トルコ| ||突厥・木杆2年;柔然・登叔子1年12月|突厥の木杆可汗がエフル族(柔然)と闘い、滅ぼす(~567)/木杆可汗の領土は、東は遼海から、西は西海へ至り、東西一万里、南は砂漠以北の南北五、六千里にも及んだ
556年-04:00|ジョージア| |||<即位>ジカ王「ツァス2世」(~?)
556年1月28日-08:00|モンゴル| ||突厥・木杆3年;吐谷渾・夸呂22年|この年、突厥が吐谷渾を服属
556年1月28日-09:00|韓国/日本| ||欽明17年1月|倭国、兵士1000名を送り百濟を救援
556年2月26日-08:00|中国| ||南梁・紹泰2年2月|陳菁と周文育は輕兵で会稽を襲撃し張彪は敗北/陳菁は、麾下の將章昭達へ追撃させ、斬った
556年4月16日-01:00|パチン| |||<就任>第60代ローマ教皇「ペラギウス1世」(~05610304死去)
556年5月25日-08:00|中国| ||南梁・紹泰2年;北齊・天保7年5月|梁軍が北齊軍の趙彦深の部隊を破る
556年6月23日-08:00|中国| ||南梁・紹泰2年;北齊・天保7年6月|陳霸先、北齊軍を攻め大勝/北齊の將、全員が処刑される
556年10月19日-08:00|中国| ||南梁・太平1年9月|梁の蕭方智が太平(-557年10月)と改元
557年-01:00|ハンガリー/トルコ| ||アヴァール族が東ローマ皇帝ユスティニアヌス一世の許可のもとハンノニアに移住
557年1月16日-08:00|中国| ||北周・孝閔帝1年12月|<即位>北周第1代皇帝「孝閔帝(宇文覺)」(~10月殺される)
557年1月16日-08:00|中国| ||西魏・恭帝3年12月|<退位>西魏第3代皇帝「恭帝(元廓)」宇文護に迫られて、周公宇

0600迄 (2180件)

文覚に帝位を禅譲 (~557年死去)

557年2月15日-08:00|中国| ||北齊・天保8年|北周・孝閔帝2年1月|北齊の南安城主馮顥が、北周へ降伏

557年3月16日-08:00|中国| ||南梁・太平2年2月|広州刺史蕭勃、叛乱/南江州刺史余孝頃、拳兵/陳霸先、周文育、侯安都に命じて防がせ、周文育ら大勝し平定

557年4月15日-09:00|韓国| ||百濟・威徳王4年3月|百濟の王子余昌、王位に就く (威徳王)

557年4月15日-08:00|中国| ||南梁・太平2年3月|陳霸先は、欧陽危を衡州刺史として、嶺南を攻撃、諸郡は皆降伏、嶺南は平定された

557年6月13日-08:00|中国| ||南梁・太平2年5月|余孝頃降伏

557年11月5日-08:00|中国| ||北周・孝閔帝2年9月28日|<死去>北周初代皇帝「孝閔帝 (宇文覚)」殺される

557年11月5日-08:00|中国| ||北周・明帝1年9月28日|<即位>北周第2代皇帝「世祖明帝 (宇文毓)」宇文泰の長男 (~武成2年4月20日 (560年5月30日) 死去)

557年11月7日-09:00|朝鮮| ||高句麗・陽原王13年10月|かつての首都の丸都城で城主の朱理が反乱/乱は鎮圧されて朱理は誅殺された

557年11月7日-08:00|中国| ||陳・永定1年10月|周文育ら、王琳と郢州沌口に戦い大敗

557年11月16日-08:00|中国| ||陳・永定1年10月10日|<即位>陳初代皇帝「高祖武帝 (陳霸先)」梁の敬帝 (15) から禅譲を受け (~559年8月9日)、永定 (-559年12月) と改元

557年11月16日-08:00|中国| ||南梁・太平2年10月10日|<退位>梁第5代皇帝「敬帝 (蕭方智)」

558年-01:00|スペイン| ||<死去>ガリア王「Chararic」

558年-01:00|スペイン| ||<即位>ガリア王「Ariamir」 (~561年)

558年 00:00|イギリス| ||<死去>ダリア王「Garban mac Domangairt」

558年 00:00|イギリス| ||<即位>ダリア王「Conall mac Comghail」 (~574年死去)

558年4月4日-08:00|中国| ||南梁・天啓1年3月|王琳、郢州に梁の永嘉王蕭宗を擁立し、梁の正統を唱える/天啓 (-560年2月) と改元

558年7月2日-08:00|中国| ||陳・永定2年6月|周敷が余孝頃の別城を攻撃し、城は落ちた

558年7月31日-08:00|中国| ||陳・永定2年7月|江州刺史周迪、王琳軍と戦い、その将李孝欽、樊猛、余孝頃を捕らえる

558年12月23日-01:00|フランス| ||<死去>フランク王国 (メロヴィング朝) ハリ王キルデベルト1世→ハリはワソン王クワール1世に渡る (フランク王国再統一)

559年-05:30|インド| ||西部インドでマトゥラ朝がハセナが隆起

559年 00:00|イギリス| ||<死去>デアウ王「Ida Eoppan sunu」

559年 00:00|イギリス| ||<即位>デアウ王「Alla Yffan sunu」 (~588年死去)

559年 00:00|イギリス| ||<即位>バーニシア王「Glappa」 (~560年)

559年3月24日-09:00|朝鮮| ||高句麗・陽原王15年3月|<死去>高句麗王「陽原王」

559年3月24日-09:00|朝鮮| ||高句麗・平原王1年3月|<即位>高句麗王「平原王」 (~590年)

559年6月21日-08:00|中国| ||陳・永定3年5月|熊曇朗、陣中に周文育を殺害し、その軍を奪って叛乱

559年7月20日-08:00|中国| ||陳・永定3年6月|侯安都の部隊、常衆愛ら大破し、周炅を生け捕る

559年8月9日-08:00|中国| ||陳・永定3年6月21日|<死去>陳初代皇帝「高祖武帝 (陳霸先)」病に倒れる/57歳

559年8月9日-08:00|中国| ||陳・永定3年6月21日|<即位>陳第2代皇帝「世祖文帝 (陳㮮)」 (~566年5月31日)

559年9月18日-08:00|中国| ||北周・武成1年8月|北周の明帝が皇帝を名乗り、武成 (-560年12月) と改元

559年11月25日-08:00|中国| ||北齊・天保10年10月10日|<死去>北齊第1代皇帝「顯祖文宣帝 (高洋)」

559年11月25日-08:00|中国| ||北齊・天保10年10月10日|<即位>北齊第2代皇帝「廢帝 (高殷)」 (~560年8月、太皇太后の令により高殷は廃位)

560年-07:00|カボジャ| ||<即位>チェンラ王「ガイラ・ヴァルマン」 (~575年)

560年-05:45|ネパール| ||<即位>リッチャビ朝国王「Ganadeva」 (~565年)

560年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプura王国国王「Kittisiri Meghavanna」Mogallana2世の息子 (~561年)

560年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツァン「バサ・ダット」 (~564年)

560年-01:00|イタリア| ||<即位>ランゴバルド王「アルプ・イーノ」アウドゥインの子 (⇒568年、ローマ軍に勝利してガウ朝イタリア王国を成立させる ~5720628暗殺される)

560年-01:00|フランス| ||<復位>オーベルニュ伯「Firminus」 (~571年)

560年-01:00|スペイン| ||西ゴート王国首都をヒレネ山脈の北のトサからトリドへと移した

560年 00:00|イギリス| ||<死去>ウェセックス王「ケンリッチ」

560年 00:00|イギリス| ||<即位>ウェセックス王「チェリン」 (~592年)

560年 00:00|イギリス| ||<即位>ケレデ・イオン王「ア・スフォットウ」 (~595年)

560年 00:00|イギリス| ||<即位>デアウ王「Alla」 (~589年)

560年 00:00|イギリス| ||<即位>バーニシア王「Adda」 (~568年)

560年2月12日-08:00|中国| ||陳・天嘉1年1月|陳の陳㮮が天嘉 (-566年2月) と改元

560年2月12日-08:00|中国| ||北齊・乾明1年1月|北齊の廢帝殷が乾明 (-8月) と改元

560年3月13日-08:00|中国| ||南梁・天啓3年2月|梁第7代皇帝「蕭莊」北周との戦いに敗れ梁朝滅亡

560年4月11日-08:00|中国| ||陳・天嘉1年3月|蕭莊麾下だった郢州刺史孫、州をもって陳に降る/江州刺史周迪、熊曇朗を討ち首を建康に送る

560年5月30日-08:00|中国| ||北周・武成2年4月20日|<死去>北周第2代皇帝「世祖明帝 (宇文毓)」宇文護に毒殺される

0600迄 (2180件)

560年5月31日-08:00|中国| ||北周・武成2年4月21日|<即位>北周第3代皇帝「高祖武帝(宇文弼)」宇文泰の四男(宣政元年6月1日(05780621)死去)

560年9月6日-08:00|中国| ||北齊・皇建1年8月|<即位>北齊第3代皇帝「肅宗孝昭帝(高演)」(~561年11月24日、落馬の怪我が原因で晋陽宮に崩御)皇建(-561年11月)と改元

560年9月6日-08:00|中国| ||北齊・皇建1年8月|<廃位>北齊第2代皇帝「廢帝(高殷)」太皇太后の令により

560年9月6日-08:00|中国| ||北周・武成2年;陳・天嘉1年8月|北周の賀若敦、兵一万を率いて武周武陵に侵攻/武州刺史吳明徹、これを防げず巴陵に退く

560年11月4日-08:00|中国| ||陳・天嘉1年;北周・武成2年10月|陳の侯真是楊葉州にて北周の独孤盛軍を撃破

561年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Maha Naga」(~564年)

561年-04:00|ジョージア| ||<即位>ヘリア王「ファラマネス6世」ファラマネス5世の兄弟の息子(?)⇒「ハクリウス3世」ファラマネス6世の息子(~580年死去、王権はホルミスト4世によって廃止)

561年-01:00|スペイン| ||<即位>ガルシア「Theodemar」(~570年死去)

561年1月2日-08:00|中国| ||陳・天嘉1年;北周・武成2年12月|周の巴陵城主尉遲憲が陳に降伏

561年2月1日-08:00|中国| ||高昌・建昌1年|<即位>高昌国王「高昌王麴乾固」麴宝茂の子(~601年)延昌と改元(~601年)

561年2月1日-08:00|中国| ||陳・天嘉2年;北周・保定1年1月|北周の湘州刺史殷亮が降伏してきて、湘州が平定された/武陵、天門、南平、義陽、河東、宜都郡がことごとく平定された

561年2月1日-08:00|中国| ||北周・保定1年1月|北周の武帝が保定(-565年12月)と改元

561年3月4日-01:00|パチン| ||<死去>第60代ローマ教皇「ベネディクトゥス1世」

561年7月17日-01:00|パチン| ||<就任>第61代ローマ教皇「ヨハネス3世」(~05740713死去)

561年7月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||百濟・威徳王8年;新羅・眞興王22年7月|欽明天皇の援軍や任那と呼応して新羅に攻め込んだが新羅の策略にはまり敗北して撤退

561年10月24日-08:00|中国| ||陳・天嘉2年10月|霍州の異民族、西山蛮、陳に降る

561年11月24日-08:00|中国| ||北齊・大寧1年11月2日|<死去>北齊第3代皇帝「肅宗孝昭帝(高演)」落馬の怪我が原因で晋陽宮に崩御

561年11月24日-08:00|中国| ||北齊・大寧1年11月2日|<即位>北齊第4代皇帝「世祖武帝(高湛)」(~565年4月、長男の高緯に帝位を譲り)大寧(-562年4月)と改元

561年11月29日-01:00|フランス/ドイツ/ベルギー/ルクセンブルグ/オランダ| ||<死去>フランク王国(メロヴィング朝)「クロタール1世」

561年11月29日-01:00|フランス/ドイツ/ベルギー/ルクセンブルグ/オランダ| ||<即位>フランク王国4人の息子間で分割;ソワソン(→ネストリア)王「キルバリック1世」(~584. 9), パリ王「カリベルト1世」(~567. 12), オルアン(→ブルグンディア)王「グントラム」(~05920128), ランスとメス(→アウストラシア)王「ジギベルト1世」(~575年)

561年12月22日-08:00|中国| ||陳・天嘉2年12月|縉州刺史留異、王琳に応じて叛乱

562年-05:00|インド| ||このころ、タミル叙事詩「マヌメハラ」が成立

562年-04:00|ロシア/イラン| ||ヘルクスのホロ-1世、サウール・ハザール族を撃破する

562年-03:30|イラン/トルコ| ||ササン朝ホロ-1世がユスティニアヌス帝と50年の平和条約を締結

562年1月21日-08:00|中国| ||後梁・天保1年|<即位>西面可汗第1代可汗「室点密可汗(室点蜜、瑟帝米、イステミ、シルブロス、ティザブロス)」(~576年)大葉護の子、伊利可汗の弟

562年1月21日-08:00|中国| ||後梁・大定8年1月|<死去>後梁第1代皇帝「中宗宣帝(蕭岫)」

562年2月19日-08:00|中国| ||後梁・天保1年2月|<即位>後梁第2代皇帝「世祖明帝(蕭岫)」(~天保24年(585年)5月)天保(-585年)と改元

562年3月21日-08:00|中国| ||陳・天嘉3年閏2月|江州刺史周迪、留異に依拠して叛乱、挙兵

562年3月21日-08:00|中国| ||陳・天嘉3年閏2月|陳朝廷は五銖銭を改鑄/新五銖銭は、一個で鵝眼銭十個に相当

562年4月19日-08:00|中国| ||陳・天嘉3年3月|侯安都、桃枝嶺に留異を撃破し、留異は晋安に敗走

562年5月19日-08:00|中国| ||北齊・河清1年4月|北齊の武帝が河清(-565年4月)と改元

562年8月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・開国12年7月|新羅が大伽耶を滅ぼし、加羅諸国を収める/朝鮮半島南東部はすべて新羅の領域となった

562年8月16日-09:00|日本/韓国| ||欽明23年7月|大將軍紀男麻呂宿禰を新羅討伐へ派遣

562年8月16日-09:00|日本/朝鮮| ||欽明23年7月|大伴連狭手彦を高麗討伐へ派遣

562年9月14日-09:00|朝鮮/日本| ||欽明23年8月|大伴連狭手彦を遣わし数万の兵で高麗を撃破

562年10月14日-08:00|中国| ||陳・天嘉3年9月|周迪、降伏

562年10月14日-08:00|中国| ||陳・天嘉3年9月|日蝕起こる

562年12月24日-02:00|トルコ| ||ユスティニアヌス1世が、再度聖ソフィア寺院を奉獻

563年-04:30|アフガニスタン/イラン/トルコ| ||エフタルがテュルク(突厥)とササン朝ペルシアの挟撃にあい滅亡(~567)

563年2月9日-08:00|中国| ||陳・天嘉4年1月|周迪軍は壊滅

563年4月30日 06:00|ボツニウス| ||<即位>コパン王「フツ・チャン」(~06280123)

563年10月3日-08:00|中国| ||陳・天嘉4年9月|周迪、ふたたび兵を挙げ臨川に迫る

563年12月1日-08:00|中国| ||陳・天嘉4年11月|章昭達が、周迪を大破

564年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Aggabodhi 1世」(~598年)

564年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツバン「チル・ウ・イシュナス」(~572年)

564年1月29日-09:00|韓国/中国| ||新羅・開国14年;北齊・河清3年|この年、新羅が北齊に遣使

564年1月29日-08:00|中国| ||後梁・天保3年|<即位>陰平君主「楊法深」(~580年)

564年1月29日-08:00|中国| ||北周・保定4年;北齊・河清3年|北周の大將軍田弘が北齊の辺境を侵していた宕昌

0600迄 (2180件)

王梁彌定を討伐、滅亡させ、その地を宕州とした

564年3月28日-08:00|中国| ||北齊・河清3年3月|北齊、律令を下す

564年10月21日-08:00|中国| ||陳・天嘉5年10月|周迪が再び東興へ出、宣城太守錢肅は城ごと周迪へ降伏/吳州刺史陳詳は迎撃したが大敗北

564年12月19日-08:00|中国| ||陳・天嘉5年11月|章昭達、建安に陳宝応を大破し、陳宝応、留異を捕らえ建康に送る/二将処刑

565年-07:00|ベトナム| |||<死去>チャンパ王「ルトラウアルマン1世」

565年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「范梵志」(~629年死去)

565年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「ドナル・マック・ミウチャータイ」初代キリスト教上王(~566年)、「フォルガス・マック・ミウチャータイグ」(~566年)

565年2月16日-09:00|日本| ||欽明26年|このころ出雲が服属し、大和朝廷が全国を制覇

565年5月16日-08:00|中国| ||北齊・天統1年4月|<即位>北齊第5代皇帝「後主(高緯)」(~577年1月)、天統(-569年4月)と改元

565年5月16日-08:00|中国| ||北齊・天統1年4月|<退位>北齊第4代皇帝「世祖武成帝(高湛)」長男の高緯に帝位を譲り

565年8月12日-08:00|中国| ||陳・天嘉6年7月|文帝は程靈洗に周迪を攻撃させ、撃破/臨川太守駱文牙、周迪を捕殺しその首を建康に送る

565年11月14日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝(ユスティニアヌス朝)「ユスティニアヌス1世大帝」82歳(誕生483年)

565年11月14日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(ユスティニアヌス朝)「ユスティヌス2世」ユスティニアヌス1世の甥(~05781005)

566年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「フィン・マック・セトイ」(~569年没)

566年2月6日-08:00|中国| ||北周・天和1年1月|北周の武帝が天和(-572年3月)と改元

566年3月7日-08:00|中国| ||陳・天康1年2月|陳第2代皇帝「世祖文帝(陳㒰)」が天康(-12月)と改元

566年5月31日-08:00|中国| ||陳・天康1年4月27日|<死去>陳第2代皇帝「世祖文帝(陳㒰)」(45歳)

566年5月31日-08:00|中国| ||陳・天康1年4月27日|<即位>陳第3代皇帝「廢帝臨海王(陳伯宗)」(~光大2年(568年)11月)

566年8月2日-08:00|中国| ||北周・天和1年7月|北周の随桓公楊忠が卒し子息の楊堅が襲爵

567年-05:45|ネパール| |||<即位>リッチャビ朝国王「Gangadeva」(~573年)

567年-05:30|インド| |||<即位>チャールキヤ朝国王「キルティヴァアルマン1世」(~592年)

567年-02:00|ルーマニア/ブルガリア| |||トランシルバニアはアヴァール・ハン国の一部(~827年)

567年-02:00|ブルガリア/ロシア/トルコ| |||ハザール族、ブルガール族、突厥可汗国に征服される(~571)

567年-01:00|ハンガリー| |||アヴァール族がパannoniaのゲルマン系ランゴバルド族を駆逐し、パannoniaを完全支配する(アヴァール汗国成立)

567年1月26日-08:00|中国| ||陳・光大1年1月|陳の陳伯宗が光大(-568年12月)と改元

567年5月24日-08:00|中国| ||陳・光大1年5月|安南將軍、湘州刺史華皎、兵を挙げ叛乱

567年10月19日-08:00|中国| ||陳・光大1年;北周・天和2年9月|北周の長胡公元定、郢州に來襲、造反した華皎軍と合流/淳于量がこれと戦い大破/華皎、単身江陵に逃れ元定囚われる

567年12月-01:00|スペイン| |||<死去>西哥特王国国王「アタギルト」

567年12月-01:00|フランス| |||<死去>フランク王国(メロヴィンク朝)ハリ王カペルト1世→ハリはネストリア王キペリク1世に渡る

568年-01:00|イタリア| |||<就任>フリウリ領主「ゲラスフ1世」(~584年)

568年-01:00|スペイン| |||<即位>西哥特王国国王「リウカ1世」(~572年)、「レオ・イギルト」(~05860421)共同統治

568年-01:00|モロコ/イタリア| |||モロはランゴバルドが支配(~760年)

568年 00:00|イギリス| |||<即位>ハニシア王「Aethelric」Jon Idaの息子(~572年)

568年2月14日-08:00|中国| ||後梁・天保7年|吳明徹は江陵へ進攻、梁の將軍の馬武と吉徹が吳明徹を攻撃して敗った

568年2月14日-05:00|キルギス/トルコ| ||突厥・木杆15年|西突厥の可汗シジブルが東ローマ帝国へ貿易使節を派遣

568年4月-01:00|ハンガリー| |||アヴァールがパannoniaを支配(~805年頃)

568年7月10日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・大昌1年6月|新羅の第24代真興王が大昌(-571年末)と改元

568年8月9日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||新羅・大昌1年;陳・光大2年7月|新羅が陳に遣使

568年12月5日-08:00|中国| ||陳・光大2年11月|<廢位>陳第3代皇帝「廢帝臨海王(陳伯宗)」臨海王に降下

569年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アル=ムンディール3世」ハッセル=アル=ハリス(~581年)

569年-01:00|クロアチア/イタリア| |||フィウメはランゴバルディア王国の一部(~7740605)

569年-01:00|イタリア| |||ロンゴバルド王アルベイン、ミラノを占領(半島先端部は東ローマ帝国)

569年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「ハエタン・マック・ミウアチルタイグ」(~572年)、「エオカイト・マック・トムネイル」(~572年)

569年1月4日-08:00|中国| ||北齊・天統4年12月|北齊の太上皇帝(武成帝)没/32歳

569年2月2日-08:00|中国| ||陳・太建1年1月|<即位>陳第4代皇帝「高宗宣帝(陳㒰)」(~582年2月17日)太建(-582年12月)と改元

569年9月3日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「アルベイン」ランゴバルド王アウドゥインの子、ローマ軍に勝利してガウ朝イタリア王国を成立させる(~5720628死去)

569年10月26日-08:00|中国| ||陳・太建1年10月|左衛將軍歐陽、広州に拠って兵を挙げ叛乱

570年-04:00|アルメニア| |||<即位>ガートマン公(ミラニド朝)「ヴァルト2世」(~600年)

570年-03:30|イラン/イェメン| |||ササン朝ホスロ1世がイェメンを征服

0600迄 (2180件)

570年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アブ・キラブ・アルヌーマン・イブン・アルハリス」(~582年)
570年-01:00|スペイン| |||<死去>ガルス「Theodemar」
570年-01:00|スペイン| |||<即位>ガルス「Miro」(~583年死去)
570年-01:00|イタリヤ| |||<即位>スレート公「ファロルト1世」建国(~592年死去)
570年 00:00|イギリス| |||<即位>ダフエト王「Pedr ap Cyngar」
570年1月22日-08:00|中国| ||北齊・武平1年1月|北齊の後主が武平(-576年12月)と改元
570年1月23日-08:00|中国/韓国| ||百濟・威徳王17年;北齊・武平1年|百濟・威徳王が北齊の後主に使節を送る
570年2月21日-08:00|中国| ||陳・太建2年2月|陳の司空章昭達は軍艦で突撃、欧陽乞軍は大敗し欧陽乞は捕らえられ建康の市で斬られた/広州を平定
570年4月21日-08:00|中国| ||陳・太建2年4月|廃帝、臨海王陳伯宗没/19歳
570年7月19日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||新羅・大昌3年;陳・太建2年6月|新羅より朝貢の使者至る
570年8月17日-08:00|中国| ||陳・太建2年;後梁・天保9年7月|陳の司空章昭達が、後梁を攻撃/梁主は周の総管陸騰と共に防戦/章昭達は退却
570年12月13日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・平原12年;陳・太建2年11月|高句麗より朝貢の使者至る
571年-07:00|ベトナム| |||<死去>前李朝「趙越王趙光復」
571年-07:00|ベトナム| |||<即位>前李朝国王「後李南帝李仏子」後李南帝と称す
571年-01:00|イタリヤ| |||<即位>ベネント公「ソット」建国(~591年)
571年-01:00|イタリヤ| |||ロンゴバルト王国「パヴィア」を首都に
571年5月24日-09:00|日本| ||欽明32年4月15日|第29代天皇欽明天皇、死去/63歳(誕生:(継体)3(509))
571年6月9日-08:00|中国| ||北齊・武平2年;北周・天和6年5月|北齊の段韶が北周を攻撃し撃破
572年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツパン「ヴァルダン3世ミコニアン」反イラン反乱の指導者(~573年)
572年-04:00|アルメニア/イラン| |||<就任>アルメニアのマルツパン「ゴロン・ミヘラン」ホラウ1世から反乱鎮圧を任されたイランの将軍(~574年)
572年-01:00|スペイン| |||<死去>西哥ート王国国王「リウガ1世」(→レガ・イェルトの単独統治に)
572年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「バエタン・マク・ネタ」(~586年)
572年 00:00|イギリス| |||<即位>バーニア王「Theodric」(~579年)
572年1月31日-08:00|中国| ||突厥・佗鉢1年|<死去>突厥可汗国第3代可汗「木汗可汗(ムンカガン、俟斤、燕都)」
572年1月31日-08:00|中国| ||突厥・佗鉢1年|<即位>突厥可汗国第4代可汗「他鉢可汗(トパルクガン)」(~581年)木汗可汗の弟
572年1月31日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・鴻濟1年1月|新羅の第24代真興王が鴻濟(-584年1月)と改元
572年3月30日-08:00|中国| ||北周・建徳1年3月|北周の武帝が建徳(-578年3月)と改元
572年4月30日-09:00|日本| ||敏達1年4月3日|<即位>第30代「敏達天皇」(~585年)百濟大井(奈良県広陵町百濟)に宮を造る
572年6月28日-01:00|イタリヤ| |||<死去>イタリヤ王・ランゴバルト王「アルバイノ」妻に暗殺される
572年9月-01:00|イタリヤ| |||<即位>イタリヤ王・ランゴバルト王「クレフィ」アルバイノの重臣、諸侯に推されて即位(~574年12月、暗殺される)
572年9月23日-08:00|中国| ||陳・太建4年9月|日蝕
572年12月21日-08:00|中国| ||北周・建徳1年12月|北周の武帝、宇文護を殺し親政
573年-04:00|アルメニア/イラン| |||<就任>アルメニアのマルツパン「ヴァルダン3世ミコニアン」ビザンチン保護領下(~577年)
573年5月17日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年4月|前の巴州刺史魯廣達が合肥の南で北齊軍と戦い撃破/辛酉、北齊と陳は石梁で戦い北齊軍大敗/甲子、南焦太守徐曼が石梁城を落とした
573年6月16日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年5月|瓦梁城が降伏、陽平郡が降伏/廬江城、歴陽城が落ち、合肥、北高唐郡が降伏/齊昌の外城、東関の東・西二城が落ち、秦州城、瓜歩・胡墅二城が降伏
573年7月15日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年6月|郢州刺史李宗が掇口城を落とした/任忠が合州外城を落とす/程文季が、ケ州を抜いた/宣毅司馬の湛陀は、新蔡城を落とした/黄法毛は合州に勝ち、呉明徹は仁州を抜いた
573年8月14日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年7月|北齊の尚書左丞陸騫軍は陳の西陽太守周日と遭遇、周日は大勝利/周日は、その余勢で巴州に勝った/呉明徹は峽口まで進軍し、北岸城を撃破/淮北、絳城及び穀陽の士民が、城主を殺して降伏
573年9月12日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年8月|山陽城、于台城そして青州の東海城と次々に降伏/戎昭將軍徐敬弁が海安城に勝ち、侯敬泰等が晋州に勝った
573年10月12日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年9月|陽平城、齊安城が降伏/馬頭城、楚子城、黄城で勝ち、郭默城が降伏/湛陀が齊昌城に勝った
573年11月10日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年10月|陳の呉明徹、寿陽城を下し、王琳を捕らえ斬る。北齊軍、潁口に來襲するも、樊毅が撃破す。湛陀、齊昌城を下す
573年12月10日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年11月|淮陰城が降伏/陳軍は、更に二つの城を落とす/魯廣達は、北齊の南徐州を攻撃して落とした
574年 00:00|イギリス| |||<死去>ダリヤ王「Conall mac Comghaill」
574年 00:00|イギリス| |||<即位>ダリヤ王「Aedan mac Garbain」(~6090417死去)
574年1月8日-08:00|中国| ||陳・太建5年;北齊・武平4年12月|焦城が降伏/任忠が霍州城を下す
574年2月7日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||高句麗・平原16年;敏達3年|高句麗の使人が越に來着し上京
574年2月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・鴻濟3年|新羅で皇龍寺の大仏が完成

0600迄 (2180件)

574年2月7日-08:00|中国| ||陳・太建6年|南安王は造反/南安王は敗北し、川へ飛び込んで自殺
574年2月7日-08:00|中国| ||陳・太建6年;北齊・武平5年1月|金陵城が降伏、広陵一帯を制圧
574年3月8日-08:00|中国| ||陳・太建6年2月|日蝕
574年6月5日-08:00|中国| ||北周・建德3年5月|北周の武帝、仏教・道教を禁止
574年7月13日-01:00|パチン| |||<死去>第61代ローマ教皇「ヨハネ3世」
574年8月29日-08:00|中国| ||北周・建德3年7月27日|衛王は造反/乙西、衛王は蕭章門を急襲/尉遲運に衛王軍は大敗
574年12月-01:00|イタリヤ| |||<死去>イタリヤ王・ランゴバルト王「クレフィ」身辺護衛兵に暗殺された
575年-07:00|カンボジア| |||<即位>チェンラ王「カンバジャ・ラジャ・ラシュミ女王」(~580年)
575年-05:45|パール| |||<即位>リッチャビ朝国王「Manadeva2世」(~576年)
575年-05:30|インド| |||<即位>パラヴァ朝君主「シハヴァイシュ」(~600年)
575年-03:00|イラク/イェメン| |||ヘルシアの南アラビアへの侵入
575年-01:00|フランス/ベルギー/ドイツ/ルクセンブルグ/オランダ| |||<死去>フランク王国(メロヴィンギ朝)アウストラシア王ジギベルト1世→<即位>キルベルト2世(~595年)
575年1月27日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|敏達4年|藤ノ木古墳がこのころ築造
575年1月27日-08:00|中国| ||陳・太建7年;北齊・武平6年1月|樊毅、潼州城を下す
575年2月26日-08:00|中国| ||陳・太建7年;北齊・武平6年2月|樊毅、下ヒ、高柵など六城を攻略
575年3月8日-09:00|日本/韓国| ||百濟・威徳王22年2月11日|百濟より外交使節が来朝
575年5月1日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||敏達4年4月6日|朝鮮半島に外交使節派遣/吉子金子を新羅へ派遣/吉子木蓮子を任那へ派遣/吉子訳語彦を百濟へ派遣
575年6月2日-01:00|パチン| |||<就任>第62代ローマ教皇「ベネディクトゥス1世」(~5790730死去)
575年6月24日-09:00|日本/韓国| ||新羅・鴻濟4年6月|新羅より外交使節が来朝
575年9月15日-08:00|中国| ||北周・建德4年;北齊・武平6年8月25日|丁未、武帝は河陰大城を攻撃し、落とす/齊王憲は武濟を抜く/更に進んで洛口を包囲し東西の二城を抜いた
575年9月21日-08:00|中国| ||陳・太建7年;北齊・武平6年9月|陳の車騎大將軍吳明徹が北齊の彭城を攻撃し、数万の齊軍を撃破
575年10月20日-08:00|中国| ||陳・太建7年;北齊・武平6年閏9月|陳の車騎大將軍吳明徹、呂梁において北齊軍を破る
575年12月18日-09:00|日本| ||敏達4年11月|広姫皇后、薨去/立后してから一年にも満たない死であった
576年-03:00|イラク/イェメン| |||スロ-1世、ヒザンチン帝国と戦い、イェメンを征服し、サッ朝最大の領域を占める
576年2月15日-08:00|中国| ||北周・建德5年|<死去>西面可汗第1代可汗「室點密可汗(室点蜜、瑟帝米、イステミ、シルブラス、ディザブラス)」
576年2月15日-08:00|中国| ||北周・建德5年|<即位>西面可汗第2代可汗「達頭可汗(テテ、歩迦可汗、タルウカゴン)」(~603年)室点蜜の子
576年2月15日-08:00|中国/トルコ| ||突厥・佗鉢5年|ヒザンチン帝国と突厥可汗国との戦争、開始される
576年9月9日-09:00|韓国| ||新羅・鴻濟5年8月|<死去>新羅王「真興王」
576年9月9日-09:00|韓国| ||新羅・鴻濟5年8月|<即位>新羅王「真智王」(~579年)
576年9月9日-08:00|中国| ||北周・建德5年;吐谷渾・夸呂42年8月|皇太子は吐谷渾を討ち、伏俟城まで戻ってきた
576年12月1日-08:00|中国| ||北周・建德5年;北齊・武平7年10月25日|庚午、北齊の行台左丞侯子欽が北周へ降伏/晋州は落ちた
576年12月7日-08:00|中国| ||北周・建德5年;北齊・武平7年11月|北周武帝は退却
577年-07:00|ベトナム| |||ベトナム最初の禅宗宗派グニャフが形成
577年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツァン「ムスラウ」ムスラウ1世が指名したイラン貴族(~580年)
577年1月5日-08:00|中国| ||北齊・隆化1年12月|北齊5代後主、隆化(-12月)と改元
577年1月10日-08:00|中国| ||北周・建德5年;北齊・隆化1年12月6日|庚戌、北周の諸軍が集結/後主は潘叔妃と共に逃げ北齊軍は大敗
577年1月11日-08:00|中国| ||北周・建德5年12月7日|辛亥、武帝は平陽へ入城
577年2月4日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・平原19年;北周・建德6年|この年、高句麗が北周に遣使
577年2月4日-08:00|中国| ||北齊・承光1年1月|<即位>北齊第6代皇帝「幼主(高恒)」8歳(~3月滅亡)、承光(-3月)と改元
577年2月4日-08:00|中国| ||北齊・承光1年1月|<退位>北齊第5代皇帝「後主(高緯)」
577年2月22日-08:00|中国| ||北周・建德6年;北齊・承光1年1月19日|癸巳、北周軍は業を包囲して西門を焼いた/北齊軍が出撃したが、北周軍は、これを撃破
577年2月23日-08:00|中国| ||北周・建德6年;北齊・承光1年1月20日|甲午、武帝はギョウへ入城
577年4月4日-08:00|中国| ||北周・建德6年3月|<廃位>北齊第6代皇帝「幼主(高恒)」北周の武帝が、北齊の国都ギョウを陥落せしめ北齊を滅ぼした/北周の華北統一なる
577年10月27日-09:00|韓国| ||新羅・鴻濟6年;百濟・威徳王24年10月|百濟の侵攻を受け一善郡の付近で撃破して3700人を捕らえたり首級を挙げたりした
577年10月28日-08:00|中国| ||陳・太建9年;北周・建德6年10月|吳明徹、呂梁に進出し北周の梁士彦と戦い破る/梁士彦、彭城に籠城
577年11月26日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||百濟・威徳王24年;北周・建德6年11月|百濟、北周に遣使

0600迄 (2180件)

577年12月25日-08:00|中国| ||陳・太建9年12月|高竇寧が、黄龍にて高紹義を推戴/高紹義は皇帝を潜称し、武帝と改元

578年 00:00|イギリス| ||<即位>イーストアングリア王「Tytila」Wuffaの息子(〜616年死去)

578年3月20日-08:00|中国| ||北周・建德7年;陳・太建10年2月26日|吳明徹が北周の将王軌と戦い大敗、陳軍壊滅/甲子、吳明徹は北周に囚われ長安にて死す

578年3月24日-08:00|中国| ||北周・宣政1年3月|北周の武帝が宣政(-12月)と改元

578年4月23日-08:00|中国| ||突厥・佗鉢7年;北周・宣政1年4月|突厥が北周の幽州へ来寇し、吏民を殺戮・略奪

578年5月22日-08:00|中国| ||北周・宣政1年;突厥・佗鉢7年5月|突厥が北周の幽州へ来寇し、吏民を殺戮・略奪

578年6月21日-08:00|中国| ||北周・宣政1年6月1日|<死去>北周第3代皇帝「高祖武帝(宇文弼)」病死(享年36)

578年6月21日-08:00|中国| ||北周・宣政1年6月1日|<即位>北周第4代皇帝「宣帝(宇文贇)」(〜大象2年5月24日(580年6月22日)死去)

578年8月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・鴻濟7年;百濟・威德王25年7月|新羅が百濟に対して閔也山城を割譲

578年8月19日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||新羅・鴻濟7年;陳・太建10年7月|新羅が陳に対して朝貢を行った

578年10月5日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝(ユスティニアヌス朝)「ユスティヌス2世」

578年10月5日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝(ユスティニアヌス朝)「ティベリウス2世」ユスティヌス2世の娘婿(〜05820814死去)

578年12月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||突厥・佗鉢7年;北周・宣政1年11月|突厥が北周の辺域を荒らし回った

579年 00:00|イギリス| ||<即位>フリスラ王「Frithuwald」(〜585年)

579年1月13日-08:00|中国| ||陳・太建10年12月|合州の廬江蛮田伯興、樅陽を侵すが合州刺史魯広達が平定

579年2月-03:30|イラン/イラク| ||<死去>ササン朝第25代シャハプシャー「ホロ1世」

579年2月-03:30|イラン/イラク| ||<即位>ササン朝第26代シャハプシャー「ホルミズド4世」(〜590年)黄金時代を築く

579年2月12日-08:00|中国| ||北周・大成1年1月|北周の宣帝が大成(-2月)と改元

579年3月14日-08:00|中国| ||突厥・佗鉢8年;北周・大象1年2月|佗鉢可汗が北周へ講和を求めた

579年4月1日-08:00|中国| ||北周・大象1年2月20日|<即位>北周「静帝(宇文闡)」宣帝の子(〜5810304、隋王楊堅に帝位禅譲、北周滅亡)/大象(-580年12月)と改元

579年4月1日-08:00|中国| ||北周・大象1年2月20日|<退位>北周第4代皇帝「宣帝(宇文贇)」

579年6月10日-08:00|中国| ||突厥・佗鉢8年;北周・大象1年5月|突厥はハ州を襲撃

579年6月10日-08:00|中国| ||北周・大象1年5月|襄国郡を趙国、済南郡を陳国、武當・安當の二郡を越国、上党郡を代国、新野郡を洺国とし、それぞれ一万戸の食邑で趙王招、陳王純、越王盛、代王達、洺王迴を下国させた

579年7月30日-01:00|パキスタン| ||<死去>第62代ローマ教皇「ベネディクトゥス1世」

579年8月8日-08:00|中国| ||陳・太建11年7月|新たに六銖銭を通貨と定める

579年8月24日-09:00|韓国| ||新羅・鴻濟8年7月17日|<死去>新羅王「真智王」

579年8月24日-09:00|韓国| ||新羅・鴻濟8年7月17日|<即位>新羅王「真平王」(〜632年)

579年11月26日-01:00|パキスタン| ||<就任>第63代ローマ教皇「ベネディクトゥス2世」(〜05900207死去)

579年12月24日-08:00|中国| ||北周・大象1年;陳・太建11年11月20日|北周は再び淮南攻撃/戊申、韋孝寛は寿陽を、杞公亮が黄城を、梁士彦が廣僚を抜いた

579年12月27日-08:00|中国| ||北周・大象1年;陳・太建11年11月23日|辛亥、今度はカ州を取った

580年-07:00|カホゾア| ||<即位>チェン王「バウアグアルム1世」(〜600年)

580年-04:00|ジョージア| ||<死去>イベリア王「バクリウス3世」王権はホルミズド4世によって廃止

580年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツァン「ヴァラズ・ガズール」ホルミズド4世が指名したイラン貴族(〜581年)

580年-03:00|エチオピア/エメン| ||阿克苏王国、南アラビアに遠征

580年 00:00|イギリス| ||<即位>ストラスクライド王「Riderch Hael」(〜614年死去)

580年1月10日-08:00|中国| ||北周・大象1年;陳・太建11年12月8日|乙丑、周軍は焦州、北徐州を落とした/江北の土地は、全て周の領土となった

580年2月2日-08:00|中国| ||突厥・佗鉢9年;北周・大象2年|突厥は北周へ入貢

580年4月1日-08:00|中国| ||北周・大象2年3月|杞公亮が造反/夜、杞公亮は数百騎を率いて韋孝寛を攻撃したが、勝てずに逃げた/韋孝寛は、追撃して、杞公亮を斬る

580年6月21日-08:00|中国| ||北周・大象2年5月24日|<死去>北周「天元皇帝(宇文贇)」/享年22

580年6月28日-08:00|中国| ||北周・大象2年6月|この月、周の豫・荆・襄三州の蛮が造反し、郡県を攻め破った

580年8月26日-08:00|中国| ||陳・太建12年8月|陳の淳于陵、臨江軍を制圧/智武將軍魯広達、郭默城を下す

580年8月26日-08:00|中国| ||北周・大象2年8月|北周の于仲文は、檀讓と戦い大勝利/進軍して梁郡を攻略/更に、曹州刺史の李仲康を捕らえ、成武も抜き、金郷も占領/于文仲は席毘羅軍を撃い大勝/檀讓を捕らえた

580年9月21日 00:00|イギリス| ||<死去>ゲリウイック王「Cadoc」

580年9月25日-08:00|中国| ||北周・大象2年9月|6月に反旗を翻した北周の宿将尉遲迥に司馬消難、王謙他、大勢の州刺史が呼応したが鎮圧された

580年9月25日-08:00|中国| ||陳・太建12年;北周・大象2年9月|北周の臨江太守劉顥光、来降、北周の将王延貴、歷陽を救うべく来援するも任忠これを大破し、王延貴を捕らえる

580年11月18日-08:00|中国| ||陳・太建12年10月26日|梁睿が蜀の王謙を攻撃/王謙は破れ新都へ走ったが捕らえられた/戊寅、梁睿は王謙と高阿那肱を斬り劍南を平定

580年11月23日-08:00|中国| ||陳・太建12年11月|達奚儒が楊永安を破り、沙州も平定

581年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツァン「バフラ」ホルミズド4世によって指名されたイラン貴族(〜582年)

581年-02:00|ヨルダン| ||<即位>ガッサン王「アルヌーマン6世」ハシム・アルムンデイル(〜583年)

0600迄(2180件)

581年 00:00|イギリス| |||<死去>ゲウイセ王「Cynric」
581年 00:00|イギリス| |||<即位>ゲウイセ王「Ceawlin」(~588年)
581年1月21日-08:00|中国| ||突厥・沙鉢略1年|<死去>突厥可汗国第4代可汗「他鉢可汗(トハルカフン)」
581年1月21日-08:00|中国| ||突厥・沙鉢略1年|<即位>西突厥初代可汗「阿波可汗(大邏便、アハカフン)」木汗可汗の子(~587.4死去)
581年1月21日-08:00|中国| ||突厥・沙鉢略1年|<即位>突厥可汗国第5代可汗「阿史那菴羅」(~581年)他鉢可汗の子=><即位>突厥可汗国第6代可汗「沙鉢略可汗(イシュバラカフン、摂図)」(~587年)乙息記可汗の子
581年1月21日-08:00|中国| ||北周・大定1年1月|北周の静帝が大定(-2月)と改元
581年3月4日-08:00|中国| ||隋・開皇1年2月13日|<即位>隋初代皇帝「文帝(楊堅)」(~604年8月13日)、開皇(-600年)と改元
581年3月4日-08:00|中国| ||隋・開皇1年2月13日|<退位>北周第5代皇帝「静帝(宇文闡)」隋に禅譲/北周は滅亡
581年10月14日-08:00|中国| ||陳・太建13年;隋・開皇1年9月|陳の將軍周羅侯が、隋の故墅を攻めて抜いた/蕭摩訶は、江北を攻撃/隋は、上柱国の長孫覽と元景山を行軍元帥として、陳を攻撃
581年11月12日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||百濟・威德王28年;隋・開皇1年10月|百濟が隨に遣使、隋が百濟王に帶方郡公を授与
582年-04:00|アルメニア| |||<就任>アルメニアのマルツァン「フラハ」ルミスト4世によって指名されたイラン貴族(~588年)
582年 00:00|イギリス| |||<即位>Ternyllwg王「Selyf ap Cynan」(~616年死去)
582年1月10日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・平原23年;隋・開皇1年12月|高句麗が隨へ遣使、隋が高句麗王に遼東郡公を授与
582年2月9日-08:00|中国| ||隋・開皇2年1月|ヘ州に河北道行台を設置/益州に西南道行台を設置
582年2月9日-08:00|中国| ||隋・開皇2年;陳・太建14年1月|隋の元景山が漢口へ進軍し曾山を攻撃/陳は迎撃したが敗北
582年2月17日-08:00|中国| ||陳・太建14年1月10日|<死去>陳第4代皇帝「高宗宣帝(陳欒)」/始興王が造反した結果首を斬られ、新安王も乱戦の中で戦死
582年2月17日-08:00|中国| ||陳・太建14年1月10日|<即位>陳第5代皇帝「後主(陳叔宝)」(~禎明3年(589年)1月)
582年3月10日-08:00|中国| ||隋・開皇2年2月|隋の文帝は停戦を命じた
582年5月8日-08:00|中国| ||隋・開皇2年;突厥・沙鉢略2年4月|隋の大將軍韓僧寿が、鷄頭山にて突厥を撃破/上柱国の李充は河北山にて突厥を撃破
582年6月7日-08:00|中国| ||突厥・沙鉢略2年;隋・開皇2年5月|高寶寧が突厥を率いて隋の平州へ来寇、長城内へ侵入
582年7月7日-08:00|中国| ||隋・開皇2年;突厥・沙鉢略2年6月|隋へ来寇した突厥を、隋の上柱国李光が馬邑にて撃退/突厥は、今度は蘭州へ来寇しが、涼州総管賀婁子幹が撃退
582年7月7日-08:00|中国| ||隋・開皇2年6月|隋、新都大興城を旧長安城の南西に造営
582年8月14日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝(ユスティニアヌス朝)「ティベリウス2世」
582年8月14日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(ユスティニアヌス朝)「マリキウス」ティベリウス2世の娘婿(~06021122亡命)
582年12月31日-08:00|中国| ||隋・開皇2年;突厥・沙鉢略2年12月|隋の行軍総管達奚長儒は周槃にて突厥の沙鉢略可汗と遭遇/突厥は退却/柱国馮昱が乙弗泊で、蘭州総管叱列長叉が臨兆で、上柱国李崇が幽州で、全て突厥に敗北/沙鉢略可汗は退却
583年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アル=ハリス6世」ハシム・アル=ハリス=>「アル=ヌーマン7世」ハシム・アル=ハリス・アブ・キラブ=>「アル=アイム・ハシム・ヤハラ」(~614年)
583年-01:00|スペイン| |||<死去>ガルシア「Miro」
583年-01:00|フランス| |||<即位>アキタニア王(メロヴィンギ朝)「Desiderius」(~587年死去)、「Bladast」(~587年)
583年-01:00|スペイン| |||<即位>ガルシア王「Eboric」(~584年)
583年-01:00|ハンガリー/セルビア| |||スラブ族とアヴァール族がドナウ川を南下しバルカン方面へ進出
583年1月29日-08:00|中国| ||陳・至德1年1月|陳の陳叔宝が至德(-586年12月)と改元
583年2月27日-08:00|中国| ||陳・至德1年;隋・開皇3年2月|陳の後主は、散騎常侍賀徹を修好の使者として隋へ派遣
583年3月9日-08:00|中国| ||突厥・沙鉢略3年;隋・開皇3年2月10日|突厥が隋の北辺へ来寇/衛王は己卯、沙鉢略可汗と白道にて遭遇大勝利
583年3月9日-08:00|中国| ||隋・開皇3年2月10日以降|幽州総管陰寿は、十万の軍勢を率いて盧龍塞から出撃し、高寶寧を攻撃/高寶寧は、城を棄てて碩北へ逃げた/和龍の諸県は全て平定
583年3月29日-08:00|中国| ||隋・開皇3年3月|隋の文帝楊堅が都を大興に定める
583年4月28日-08:00|中国| ||隋・開皇3年4月|度支尚書を民部、都官尚書を刑部と改称/光祿、衛尉、鴻臚寺及び都水台を廃止
583年5月27日-08:00|中国| ||隋・開皇3年;突厥・沙鉢略3年5月|隋の行軍総管李晃が、摩那度口にて突厥を撃破/隋の秦州総管竇榮定は突厥の阿波可汗と高越原にて対峙し阿波可汗は、屢々敗北
583年5月27日-05:00|キルギス/モンゴル| ||突厥・沙鉢略3年;西突厥・達頭9年5月|沙鉢略可汗と可汗の位を争い敗北した木杵可汗の子が、西面可汗のタルトゥに身を寄せ、沙鉢略可汗とタルトゥの対立が表面化、テュルク(突厥)が東西に分裂する
583年6月26日-08:00|中国| ||突厥・沙鉢略3年;隋・開皇3年6月|突厥が幽州へ来寇/隋の幽州総管廣宗総公李崇の軍が全滅
583年10月22日-08:00|中国| ||隋・開皇3年10月|河南道行台省を廃止して、秦王を秦州総管とし、隴右の諸州を

0600迄 (2180件)

悉くその指揮下へ入れた

583年11月21日-08:00|中国| ||隋・開皇3年11月|文帝は諸郡をなくして、全て州とした
584年-01:00|イタリア| ||<就任>フリウリ領主「ギスルフ1世」グスルフ1世の子(~590年)
584年-01:00|フランス| ||<即位>アキタニ王(メロヴィング朝)「Gundoald」(~584年)
584年-01:00|イタリア| ||<即位>イタリア王・ランゴバルド王「アウタリ」クレフィの子(~05900905死去)
584年-01:00|スペイン| ||<即位>ガルス王「アンデカ」(~585年)
584年-01:00|スペイン/トルコ| ||東ローマ/コルトバを占領
584年-01:00|イタリア/トルコ| ||ビザンティン帝国が北イタリアのラヴェンナに総督府を設置
584年 00:00|イギリス| ||<死去>ヒクト王「Bruide mac Mailcon(Bridei1世)」
584年 00:00|イギリス| ||<即位>ヒクト王「Gartnaidh mac Domhnaill(Gartnait2世)」(~601年死去)
584年 00:00|イギリス| ||<即位>マシア王「ケルガ」(~593年)
584年3月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・建福1年2月|新羅の第26代真平王が建福(-633年末)と改元
584年3月17日-08:00|中国| ||西突厥・達頭10年;隋・開皇4年2月|突厥の蘇尼部の男女一万余人が隋に降伏/継いで、突厥の達頭可汗が隋へ降伏
584年3月24日-09:00|日本/韓国| ||敏達13年2月8日|新羅使を派遣/難波吉子木蓮子を新羅使に起用
584年5月16日-08:00|中国| ||隋・開皇4年4月|隋の上大將軍賀婁子幹が五州の兵を徴発して吐谷渾を攻撃/吐谷渾の男女一万余人を殺し、二十日余りで帰国
584年6月15日-08:00|中国| ||隋・開皇4年5月2日|契丹の莫賀弗、隋に使を遣わし、大將軍を拝す
584年7月14日-08:00|中国| ||隋・開皇4年6月|隋が渭水から黄河にいたる広通渠を造る
584年9月-01:00|フランス| ||<死去>フランク王国(メロヴィング朝)ネストリア王「ヘルリク1世」
584年9月-01:00|フランス| ||<即位>フランク王国(メロヴィング朝)ネストリア王「カタル2世」(~06291018死去)
584年10月10日-09:00|日本|奈良県橿原市|敏達13年9月|蘇我馬子、仏殿を造営/蘇我馬子は石川の自邸に、仏殿を造営し百濟から伝来した仏像を安置
584年10月10日-08:00|中国| ||突厥・沙鉢略4年;隋・開皇4年9月|何度も敗北した沙鉢略可汗は、隋へ和親を請うた
585年-01:00|フランス| ||<就任>オーベルニュ公「Eulalius」(~590年)
585年-01:00|スペイン| ||<即位>ガルス王「Malaric」(~同年西ゴート国に滅ばされる)
585年 00:00|イギリス| ||<即位>パネシア王「Hussa」(~593年)
585年 00:00|ポルトガル/スペイン| ||西ゴート国がスエヴィ王国を征服、滅ぼす
585年3月7日-08:00|中国| ||隋・開皇5年2月|隋、11万人を動員して長城を築く
585年3月21日-09:00|日本|奈良県橿原市|敏達14年2月15日|蘇我馬子、仏塔建立/大野丘の北方に建立
585年4月5日-08:00|中国| ||陳・至徳3年3月|豊州刺史章大宝、州によりて叛乱
585年5月4日-09:00|日本| ||敏達14年3月30日|仏教排斥を唱える物部守屋が、仏像・寺院等を焼打ち
585年5月5日-08:00|中国| ||陳・至徳3年4月|陳景詳、章大宝を斬りその首を建康に送る
585年5月12日-08:00|中国| ||隋・開皇5年4月8日|契丹の多弥、隋に使を遣わす
585年6月3日-08:00|中国| ||後梁・天保24年5月|<死去>後梁第2代皇帝「世祖明帝(蕭曄)」
585年6月3日-08:00|中国| ||後梁・天保24年5月|<即位>後梁第3代皇帝「後主(蕭琮)」(~587年)
585年8月2日-08:00|中国| ||突厥・沙鉢略5年;隋・開皇5年7月|沙鉢略可汗は隋軍と共に阿波可汗を攻撃し撃破
585年9月14日-09:00|日本| ||敏達14年8月15日|<死去>第30代天皇敏達天皇/48歳(誕生:(宣化)4(538))
585年9月29日-08:00|中国| ||隋・開皇5年;陳・至徳3年9月|陳の將軍湛文徹が、隋の和州を攻撃したが、隋の儀同三司費宝首が迎撃して捕らえた
585年10月3日-09:00|日本| ||敏達14年9月5日|<即位>第31代用明天皇(大兄皇子)(~587年)磐余に池辺双槻宮を造営
585年10月29日-08:00|中国| ||陳・至徳3年10月|丹丹国より朝貢の使者至る
585年12月27日-08:00|中国| ||高句麗・平原王27年;陳・至徳3年12月|高麗国より朝貢の使者至る
586年 00:00|イギリス| ||<死去>ゲウイクト王「Rhun Hir ap Maelgwn」
586年 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド上王「アイト・マック・アインミウ」(~598年)
586年 00:00|イギリス| ||<即位>ゲウイクト王「Beli ap Rhun」(~599年死去)
586年1月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・平原28年|高句麗の第25代平原王が長安城に都を移す
586年1月26日-08:00|中国| ||隋・開皇6年|党項キョウが隋に降伏
586年1月26日-08:00|中国| ||後梁・広運1年1月|後梁の蕭琮が広運(-587年9月)と改元
586年4月21日-01:00|スペイン| ||<死去>西ゴート王国国王「レウギルト」
586年4月21日-01:00|スペイン| ||<即位>西ゴート王国国王「レリト1世」(~601. 12死去)
586年5月23日-09:00|日本|奈良県桜井市|用明1年5月|三輪逆(不明)豪族、物部守屋に討たれる
587年-05:30|インド| ||このころ、シャシャーナガがベンガル地方を支配
587年-01:00|フランス| ||<死去>アキタニ王(メロヴィング朝)「Desiderius」
587年-01:00|フランス| ||<即位>アキタニ王(メロヴィング朝)「Austrovald」(~589年)
587年 00:00|イギリス| ||<即位>エックス王「スレタ」エシュウイネの息子(~604年)
587年2月13日-09:00|日本|京都府京都市中京区|用明2年|聖徳太子が六角堂(頂法寺)創建
587年2月13日-08:00|中国| ||西突厥・泥利1年|<即位>西突厥第2代可汗「泥利可汗(ニリカガン)」鞅素特勤の子、木汗可汗の孫(~604年戦死)
587年2月13日-08:00|中国| ||東突厥・突利1年|<即位>東突厥初代可汗「啓民可汗(染干)」(~609年)沙鉢略可汗の

0600迄 (2180件)

子、都藍可汗の弟

587年2月13日-08:00|中国| ||陳・禎明1年1月|陳の陳叔宝が禎明(-589年正月)と改元
587年2月14日-08:00|中国| ||隋・開皇7年1月|隋の文帝が科挙を創始、諸州から毎年3人を推挙させる
587年5月13日-08:00|中国| ||西突厥・泥利1年4月|<死去>西突厥初代可汗「阿波可汗(大邏便、アパカハン)」東突厥に捕えられた
587年5月14日-09:00|日本|奈良県桜井市|用明2年4月2日|中臣勝海(不明)豪族、迹見赤橋に殺害された
587年5月21日-09:00|日本| ||用明2年4月9日|<死去>第31代天皇用明天皇/48歳(誕生: (欽明)1(540))
587年7月17日-09:00|日本| ||用明2年6月7日|大臣蘇我馬子、太后額田部皇女の命を奉じ佐伯丹経手・土師磐村・的眞嚙らに穴穗部皇子を殺害させる
587年7月18日-09:00|日本| ||用明2年6月8日|大臣蘇我馬子、佐伯丹経手・土師磐村・的眞嚙らに宅部皇子も殺害させる
587年8月16日-09:00|日本| ||用明2年7月7日|<丁未の役>蘇我馬子・聖徳太子ら、物部守屋を滅ぼす
587年9月8日-08:00|中国| ||隋・開皇7年; 後梁・広運2年8月|隋の文帝楊堅が後梁を平定
587年9月9日-09:00|日本| ||用明2年8月2日|<即位>第32代崇峻天皇(泊瀬部皇子) (~592年)
587年10月8日-08:00|中国| ||隋・開皇7年; 後梁・広運2年9月|<廃位>後梁第3代皇帝「後主(蕭琮)」隋の文帝が後梁国を廃止
587年10月11日-08:00|中国| ||隋・開皇7年9月4日|丙子、反乱をたくらんだ宇文忻、梁士彦、劉方が処刑された
587年11月6日-08:00|中国| ||隋・開皇7年10月|文帝は襄州へ山南行台を設置して、秦王俊を尚書令とした
588年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルバン「ワルティン」ホミスト4世によって指名されたイラン貴族 (~590年)
588年-04:00|ジョージア| ||<就任>イェリア公「ケラム1世」 (~590年)
588年 00:00|イギリス| ||<死去>デウ王「Alla Yffan sunu」
588年 00:00|イギリス| ||<即位>ゲウセ王「Geolric Cuthwulfes sunu」 (~594年死去)
588年 00:00|イギリス| ||<即位>デウ王「Aethelric Idan sunu」 (~592年死去)
588年11月24日-08:00|中国| ||突厥・都藍1年11月|<死去>突厥可汗国第6代可汗「沙鉢略可汗(イシュバラクハン、摂図)」西方の隣国を攻撃している最中、流れ矢に当たって
588年11月24日-08:00|中国| ||突厥・都藍1年11月|<即位>突厥可汗国第7代可汗「葉護可汗(ヤブグカハン、処羅侯)」摂図の弟(すぐに死去) => <即位>突厥可汗国第8代可汗「頡伽施多那都藍可汗(雍虞閭)」 (~開皇19年(599年)12月) 摂図の子
588年11月24日-08:00|中国| ||隋・開皇8年; 陳・禎明2年11月|隋軍、長江を渡り陳と開戦/陳の將軍戚昕、狼尾灘で隋の楊素軍に大敗
589年-01:00|フランス| ||<即位>アキニア王(メロヴィング朝)「Sereus」 (~592年)
589年 00:00|ホルガール/スウェーデン| ||西ゴート王国「カトリク」一世は、第三回トリート公会議にてアリウス派からカトリックに改宗し、アリウス派の反乱を鎮圧
589年1月22日-09:00|日本|京都府京都市東山区|崇峻2年|聖徳太子によって八坂氏の氏寺として法観寺(八坂の塔)創建
589年1月27日-08:00|中国| ||隋・開皇9年1月6日|庚午、賀若弼が京口を抜き、陳の南徐州刺史黃恪を捕らえた
589年1月28日-08:00|中国| ||隋・開皇9年1月7日|辛未、韓擒虎は姑孰へ進攻し、半日で抜いた/隋のキ州総管王世積は九江から水軍を出し、キ口にて陳の將軍紀真を斬った
589年2月2日-08:00|中国| ||隋・開皇9年1月12日|<死去>陳第5代皇帝「後主(陳叔宝)」隋が江南の王朝、陳を滅ぼし、天下を統一
589年2月10日-08:00|中国| ||隋・開皇9年1月20日|甲申、陳軍は総崩れとなり、五千人の死者を出した
590年-05:45|ネパール| ||<即位>リッチャビ朝国王「Shivadeva1世」 (~604年)
590年-05:30|インド| ||<即位>パントンヤ朝君主「カトゥンゴン」 (~620年)
590年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルバン「ミセル2世マムニアン」ビザンチンによって任命 (~591年)
590年-04:00|ジョージア| ||<就任>イェリア公「ステファン1世」 (~627年)
590年-03:00|イラク/イラン| ||<即位>ササン朝第27代シャハンシャー「ホスロ-2世」 => 第28代シャハンシャー「ハハラム6世」 (~591年死去)
590年-01:00|フランス| ||<即位>ブルターニュ君主「ユティカイル」ドゥムノアとブロワのブリトン人の王国を統一 (~640年退位)
590年 00:00|イギリス| ||<即位>ケント王「エゼルベルト1世」 (~06160224死去)
590年2月7日-01:00|バチカン| ||<死去>第63代ローマ教皇「ベネディクト2世」
590年2月10日-08:00|中国| ||隋・開皇10年|<即位>ホタン王「卑示閉練」 (~619年)
590年9月3日-01:00|バチカン| ||<就任>第64代ローマ教皇「グレゴリウス1世」 (~06040312死去)
590年9月5日-01:00|イタリア| ||<死去>イタリア王・ランゴバルド王「アウタリ」
590年9月5日-01:00|イタリア| ||<即位>イタリア王・ランゴバルド王「アギルフォ」クレフィの甥、アウタリの従兄弟 (~615年12月)
590年11月3日-09:00|朝鮮| ||高句麗・平原32年10月|<死去>高句麗王「平原王」 (~590年)
590年11月3日-09:00|朝鮮| ||高句麗・嬰陽1年10月|<即位>高句麗王「嬰陽王」 (~618年)
591年-03:00|イラク/イラン| ||<死去>ササン朝第28代シャハンシャー「ハハラム6世」
591年-03:00|イラク/イラン| ||<復位>ササン朝第29代シャハンシャー「ホスロ-2世」 (~06280225~2. 28死去); 第30代シャハンシャー「ガウスラム」 (~596年死去)
591年-01:00|イタリア| ||<就任>フリウリ領主「ギスルフ2世」ギスルフ1世の子 (~611年死去)
591年-01:00|ドイツ| ||<即位>バリエル公「タッシ1世」 (~610年死去)
591年-01:00|イタリア| ||<即位>ベネヴェント公「アレキ1世」 (~641年死去)
591年-01:00|チュニジア/トルコ| ||ビザンチンのマリキオスがカルタゴに総督府を設置

0600迄 (2180件)

591年1月30日-08:00|中国| ||吐谷渾・世伏1年|<死去>吐谷渾第17代可汗「夸呂」
591年1月30日-08:00|中国| ||吐谷渾・世伏1年|<即位>吐谷渾第18代可汗「世伏」第17代可汗「夸呂」の子(~597年死去)
591年1月31日-08:00|中国| ||吐谷渾・世伏1年;隋・開皇11年|吐谷渾は、隋へ入貢
591年3月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・建福8年2月|新羅、外交機関・倭典設置
592年-05:30|インド| ||<即位>チャール7朝国王「マンガレーシャ」(~610年)
592年-04:00|アルメニア| ||<就任>アルメニアのマルツパン「ヒンダトク」「ナクハ・ファゴン」「メラハ・ウト」「ヤズ・デン」「ブートマ」(~605年)
592年-01:00|イタリア| ||<死去>スホ・レート公「ファロアルト」1世
592年-01:00|フランス| ||<即位>アキタニ王(メロウ・イング朝)「Chlothar2世」(~6291018死去)
592年-01:00|イタリア| ||<即位>スホ・レート公「アリウル」(~602年死去)
592年 00:00|イギリス| ||<死去>テ・イラ王「Athelric Idan sunu」
592年 00:00|イギリス| ||<即位>ウェセックス王「チェル」(~597年)
592年 00:00|イギリス| ||<即位>テ・イラ王「Athelfrith Athelrices sunu」(~616年戦死)
592年1月28日-01:00|フランス| ||<死去>フランク王国(メロウ・イング朝)ブルグンデ・イア王グントラム→オルアンはアウストラシア王キルデ・ベルト世に渡る
592年12月12日-09:00|日本| ||崇峻5年11月3日|<死去>第32代「崇峻天皇」蘇我馬子の命で東漢直駒により暗殺される
593年 00:00|イギリス| ||<死去>マ・シア王「Creoda Cynewaldes sunu」
593年 00:00|イギリス| ||<即位>ハ・ニシア王「Athelfrith」Athelricの息子(~616年戦死)
593年 00:00|イギリス| ||<即位>マ・シア王「ヒュバ・Creodan sunu」(~606年死去)
593年1月15日-09:00|日本|奈良県高市郡明日香村|崇峻5年12月8日|大后額田部皇女、豊浦宮で33代:推古天皇として即位~06280307
593年2月7日-09:00|日本| ||推古1年|聖徳太子、四天王寺創建<和宗総本山/大阪府>【日本仏教の最初の寺】
593年2月7日-09:00|日本|広島県廿日市市|推古1年|厳島神社創建<市杵島姫命・田心姫命・湍津姫命を祀る>
593年5月15日-09:00|日本| ||推古1年4月10日|聖徳太子が推古天皇の摂政に就任/国政総理の職掌を皇室に取り戻す
594年-01:00|フランス| ||<グロ・リウスの「フランク史」が完結
594年 00:00|イギリス| ||<死去>ゲ・ウイセ王「Geolric Cuthwulfes sunu」
594年 00:00|イギリス| ||<即位>ゲ・ウイセ王「チェルウルフ・Cuthwulfes sunu」(~611年死去)
594年1月27日-09:00|日本|京都府京都市左京区|推古2年|聖徳太子、用明天皇の菩提を弔うために寂光院創建<天台宗>
594年1月27日-08:00|中国| ||隋・開皇14年|関中で旱害が起こり大勢の民が餓死
594年1月27日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||新羅・建福11年;隋・開皇14年|新羅が初めて随に遣使、楽浪郡公を授けられる
595年-05:45|ネパール| ||<即位>リッチャビ朝国王「Amshuvarma」(~621年)
595年-01:00|フランス/ベルギー-ド・イツ/ルクセンブルグ/オランダ| ||<死去>フランク王国(メロウ・イング朝)ブルグンデ・イア・アウストラシア王キルデ・ベルト2世
595年-01:00|ド・イツ/オーストリア| ||<即位>ハ・イェル公タッシン1世(~610年)
595年-01:00|フランス/ベルギー-ド・イツ/ルクセンブルグ/オランダ| ||<即位>ブルグンデ・イア王テウデ・リク2世(~613年),アウストラシア王テウデ・ベルト2世(~612年)
595年 00:00|イギリス| ||<死去>ヒ・クツ王「Gartnait2世」
595年 00:00|イギリス| ||<即位>ケレ・イ・オン王「ア・スルイス」(~630年)
595年 00:00|イギリス| ||<即位>タ・イフト王「Arthur map Petr」(~615年)
595年 00:00|イギリス| ||<即位>ヒ・クツ王「Nechtan nepos Uerb」(~616年)
595年2月15日-08:00|中国| ||隋・開皇15年|隋が州県の下僚も中央からの任命制にし、官僚制の中央集権化を図る
596年-03:30|イラン/イラク| ||<死去>ササン朝第30代シャ・ハンシャー「ウ・イスタム」
596年11月26日-09:00|日本|奈良県高市郡明日香村|推古4年11月|蘇我馬子、飛鳥寺(法興寺)建立終了
597年 00:00|イギリス| ||<死去>エセックス王「Sledda Ascwines sunu」
597年 00:00|イギリス| ||<即位>エセックス王「Saebert Sleddan sunu」(~616年死去)
597年1月24日-08:00|中国| ||吐谷渾・伏允1年|<死去>吐谷渾第18代可汗「世伏」大乱が勃発、国人に殺される
597年1月24日-08:00|中国| ||吐谷渾・伏允1年|<即位>吐谷渾第19代可汗「伏允」第18代可汗「世伏」の弟(~635年死去)
597年1月24日-08:00|中国| ||隋・開皇17年|桂州の俚帥李光仕が造反、周法尚が単独で討伐に向かった/李光仕は敗戦、追撃を受けて斬り殺された
597年2月22日-08:00|中国| ||隋・開皇17年2月|太平公史万歳が南寧のキョウを撃ち、平定
597年8月18日-08:00|中国| ||隋・開皇17年7月|桂州の李世賢が造反/虞慶則を桂州道行軍総管として李世賢を討伐させた
597年12月15日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||新羅・建福14年;推古5年11月|難波吉土磐金を新羅に遣わす
598年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌラダプーラ王国王「Aggabodhi2世」Aggabodhi1世の甥で義理の息子(~608年)
598年 00:00|アイルランド| ||<即位>アイルランド上王「アエド・スレイン・マック・デ・イアマト」「コルク・マック・ト・ムネイル」(~604年)
598年2月12日-09:00|日本|千葉県君津市|推古6年|聖徳太子、鹿野山神野寺創建<真言宗智山派>

0600迄 (2180件)

598年4月12日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||隋・開皇18年;高句麗・平原王40年3月|隋の文帝が高句麗に遠征軍30万人を派遣、高句麗王が謝罪し矛を納める

599年-01:00|アフリカ| |||このころ、アフリカのサハラ地域にラクダが普及

599年 00:00|イギリス| |||<死去>イーストアングリア王「Tytila」

599年 00:00|イギリス| |||<死去>ゲウイット王「Beli ap Rhun」

599年 00:00|イギリス| |||<即位>イーストアングリア王「Radwald」Tytilaの息子(~624年死去)

599年 00:00|イギリス| |||<即位>ゲウイット王「Iago ap Beli」(~616年死去)

599年1月2日-09:00|韓国| ||百済・恵王1年12月|<死去>百済王「威徳王」

599年1月2日-09:00|韓国| ||百済・恵王1年12月|<即位>百済王「恵王」(~599年)

599年2月1日-09:00|韓国| ||百済・法王1年|<死去>百済王「恵王」

599年2月1日-09:00|韓国| ||百済・法王1年|<即位>百済王「法王」(~600年)

599年2月1日-08:00|中国/モンゴル| ||突厥・都藍12年;東突厥・突利13年|都藍可汗は達頭可汗と連合して突利可汗を攻撃/両軍は長城の下で戦い、突利可汗は大敗し長安に逃れた

599年5月1日-08:00|中国/モンゴル| ||隋・開皇19年;突厥・都藍12年4月|隋の高潁は上国柱趙仲卿軍を派遣し突厥と交戦大破

599年5月26日-09:00|日本| ||推古7年4月27日|<推古地震>大和で倒潰家屋を生じた地震/地震による被害の記述としてはわが国最古/舎屋(殿舎や家屋)がことごとく破壊された

599年10月25日-08:00|中国/モンゴル| ||隋・開皇19年;突厥・都藍12年10月|達頭可汗が来寇して隋の韓洪の軍は大敗/趙仲卿は楽寧鎮からこれを攻撃し千余の首級を挙げた

599年10月25日-08:00|中国/モンゴル| ||東突厥・啓民13年10月|突利可汗を意利珍豆啓民可汗と改称させた

599年12月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・法王1年12月|殺生禁止令を出す

599年12月23日-08:00|中国| ||突厥・都藍12年12月|<死去>突厥可汗国第8代可汗「頡伽施多那都藍可汗(雍虞閭)」自分の麾下に殺された

600年-12:00|フィジー/ニュージールランド/ホーリネシア| |||ホーリネシア人がソシエ諸島からニュージールランド方面へ移住

600年-07:00|カンボジア| |||<即位>扶南王「メンテラクトガアルマン1世」(~615年)

600年-07:00|カンボジア| |||<即位>チェンラ王「モヘントラガアルマン」(~616年)

600年-05:30|インド| |||<即位>ハーラガ朝君主「マヘントラガアルマン1世」(~630年)

600年 05:00|ペルー| |||アンデス地方でティアワコ文化がひろがる

600年 10:00|ホーリネシア/アメリカ| |||ホーリネシア人がハワイ諸島へ進出

600年1月21日-09:00|日本|大阪府大阪市浪速区|推古8年|今宮戎神社創建

600年1月21日-08:00|中国/日本| ||推古8年;隋・開皇20年|第1回遣隋使を派遣

600年1月21日-08:00|中国/ペルー| ||隋・開皇20年|チベット仏教がペルー経由で中国へ伝来

600年3月20日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||推古8年;新羅・眞平王21年2月|任那が新羅の5城を攻め、新羅が降伏(倭国は任那を救援に出兵)

600年5月18日-08:00|中国/モンゴル| ||隋・開皇20年;東突厥・啓民14年4月|達頭可汗が辺境を荒らし、晋王、楊素、秦王、史万歳が出撃/達頭可汗は逃げ出した

600年6月17日-09:00|韓国| ||百済・法王2年5月|<死去>百済王「法王」

600年6月17日-09:00|韓国| ||百済・法王2年5月|<即位>百済王「武王」(~641年)